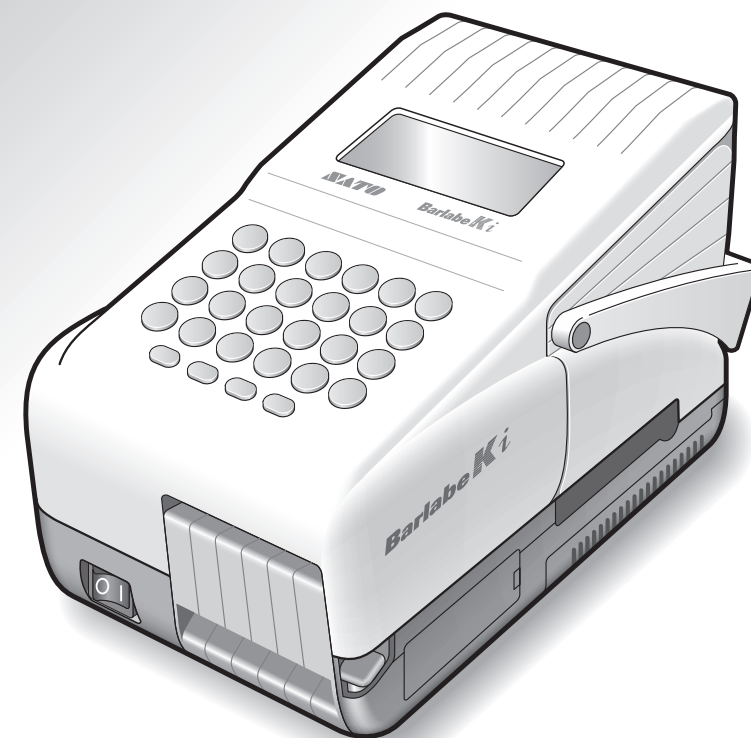


2インチラベルプリンタ

BarlabeKi

取扱説明書

DATO
DCS & Labeling Worldwide



このたびは、弊社移動型2インチラベルプリンタ〈BarlabeKi〉をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。ぜひ本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社 サトー



Q01801001

取扱説明書

はじめに

このたびは、当社バーコードラベルプリンタBarlabeKi（バーラベKi）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に理解され、正しく効率的にご利用いただくために、「取扱説明書」を用意いたしました。次にご紹介いたします「マニュアルの内容」をお読みになり、ご活用ください。

マニュアルの内容

取扱説明書

- 設置のしかた、電源の入れかた、用紙のセットのしかたなど、本機の基本的な使いかたを説明しています。
- 固定モードを利用されるとき操作方法、各機能を詳しく説明しています。
- かんたん操作編**
 - 「バーコードを印字するのははじめて」という方は、ここをお読みください。
 - バーコードを印字するまでを順を追って説明しています。
 - 初心者のかたにご利用いただけるようにわかりやすく説明しています。



Bluetooth 仕様または無線 LAN 仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく認証を受けた無線機器が搭載されています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解／改造すること
- ・本製品に貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。



Bluetooth

“Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。

弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店へご連絡ください。
- (4) 電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- (5) 本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

第2版 2007年7月2日 Q01801001

© 2007 株式会社サトー

目 次

| | | | |
|---------|---|----------------|----|
| はじめに | 1 | 設置および取り扱い上のご注意 | 14 |
| 安全上のご注意 | 5 | この取扱説明書の見かた | 16 |

第1章 知っておいていただきたいこと

| | |
|----------------|----|
| 箱の中身を確認する | 18 |
| 本体と同梱の付属品 | 18 |
| オプション（別売）品のご紹介 | 19 |
| 本機を使ってできること | 20 |
| 操作のおおまかな流れ | 22 |
| 各部の名称 | 24 |
| キーのはたらき | 26 |

第2章 本機のセッティング

| | |
|---------------------------|----|
| セッティングをはじめる前に | 36 |
| 壁コンセントに接続して使うには（電源ユニット） | 37 |
| 壁コンセントのない所で使うには（バッテリーパック） | 38 |
| バッテリーパックを取り付ける | 38 |
| バッテリーパックを充電する | 39 |
| バッテリー残量を表す画面 | 39 |
| バッテリーパックをリフレッシュさせる | 40 |
| 用紙をセットする（連続・剥離） | 41 |
| 本機をはじめて使うときは（データクリア） | 44 |

第3章 ラベルの印字

| | |
|--------------------|----|
| 印字するまでのおおまかな流れ | 46 |
| ラベルのスタイルを決める（初期設定） | 47 |
| 価格総額表示を設定する | 52 |
| データを入力する | 58 |
| 印字するときに便利な機能 | 60 |
| 印字を途中で停止する | 61 |

第4章 データの登録と呼出し（プリセット機能）

| | |
|-------------------------|----|
| プリセット機能とは | 64 |
| プリセットデータとは | 65 |
| データを登録する | 66 |
| PCカードを使うときは | 66 |
| 登録したデータを変更するときは | 69 |
| 登録したデータと呼び出す | 70 |
| 登録したデータを印字して確認する（ダンプ発行） | 72 |

第5章 オプション機能を使う

| | |
|---------------------------------|-----|
| 本機の変える（ユーザーメンテナンスモード） | 76 |
| 標準ヘッドチェックとバーコードヘッドチェックについて | 80 |
| 無線LANインタフェースを設定する | 82 |
| Bluetoothインタフェースを設定する | 89 |
| PCカードを使う | 92 |
| PCカードのセットのしかた | 92 |
| PCカードを取り出す | 92 |
| PCカードをクリアする | 93 |
| 他の機器とデータをやりとりする（データ通信） | 94 |
| プリンタどうしてデータをやりとりする（プリセットデータの転送） | 95 |
| プリンタ本体のプリセットデータをPCカードを使ってコピーする | 104 |
| プリンタとPC登録ツールの間でデータをやりとりする | 106 |
| スキャナを使う | 110 |

第6章 かんたん操作編

| | |
|--------------------|-----|
| バーコードを簡単に印字しよう | 114 |
| 用紙をセットしましょう | 116 |
| 印字してみましょう | 118 |
| データを登録してみましょう | 135 |
| データを呼び出して印字してみましょう | 138 |

第7章 オンライン発行

| | |
|----------------------|-----|
| オンラインで発行する | 142 |
| コマンドについて | 143 |
| オンラインフォーマット一覧表 | 147 |
| シリアルインタフェースについて | 149 |
| 無線LANインタフェースについて | 155 |
| Bluetoothインタフェースについて | 161 |

第8章 付録

| | |
|----------------------------------|-----|
| 画面にエラー表示がでたら | 168 |
| 故障かな？と思ったら | 170 |
| 本機の状態をチェックする（サービスマaintenanceモード） | 172 |
| 本機のお手入れをする | 175 |
| アフターフォローについて | 177 |
| ラベルとバーコードの種類を確認する | 180 |
| 基本仕様 | 186 |
| その他の機器の仕様 | 188 |
| リサイクルマークテーブル | 191 |
| 原産地テーブル | 193 |

安全上のご注意

この取扱説明書には、プリンタのご使用時における安全について記載しております。

プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

| | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| | 誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。 | | 安全のために加熱や火の近くに置いたり、火の中にいれてはいけないことを示しています。 |
| | 誤った取り扱いによって、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。 | | 安全のために必ず電源コードのプラグをコンセントから抜くように指示するものです。 |
| | 安全のためにしてはいけないことを示しています。 | | 安全のために必ずアースを取るように指示するものです。 |
| | 安全のために分解してはいけないことを示しています。 | | 高温による傷害の可能性が想定されることを示しています。 |










警 告

| | |
|----------|--|
| | 不安定な場所に置かない： <ul style="list-style-type: none">ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となります。 |
| | 水などの入った容器を置かない： <ul style="list-style-type: none">プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |
| | 内部に異物を入れない： <ul style="list-style-type: none">プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモ리카ード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |
| | 指定以外の電圧は使用しない： <ul style="list-style-type: none">指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | 電源コードの取り扱いについて： <ul style="list-style-type: none">電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |



警 告

| | |
|---|---|
|    | <p>落としたり、破損したときは：</p> <ul style="list-style-type: none">• プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |
|   | <p>異常な状態で使用しない：</p> <ul style="list-style-type: none">• 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 |
|   | <p>分解しないでください：</p> <ul style="list-style-type: none">• プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。 |



警告



PCカードのリチウム電池の取り扱いについて：

- 電池を重ね合わせたり、金属片などに接触させることは、絶対に行わないでください。発熱・破裂・発火による、火災の原因となります。
- 電池を加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。発熱・破裂・発火による、火災の原因となります。
- 電池を分解したり、加圧変形させないでください。分解するとガスが発生して、鼻や喉を痛める原因となります。また、加圧変形させると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱・破裂・発火による、火災の原因となります。
- 電池に直接ハンダ付けしないでください。液漏れによる周囲の汚損や、発熱・破裂・発火による、火災の原因となります。
- 電池を充電しないでください。また、種類の異なる電池を混ぜて使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用したりしないでください。発熱・破裂・発火による、火災の原因となります。
- 電池の極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れてください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

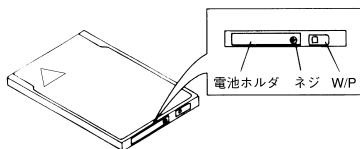
PCカードの電池の取り付け／交換について

ここでは当社製PCカード（推奨品）を例にとって説明しています。PCカードに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。また、推奨品以外のカードを使用した場合、内部のデータが消える場合もありますのでご注意ください。

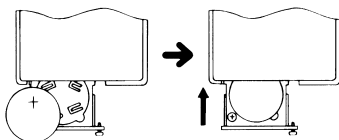
- ①電池ホルダのネジをドライバで左に2～3回まわし、電池ホルダを軽く手前に引き出します（電池ホルダは途中までしか引き抜けません）。

- ②電池の＋面を上にして、電池ホルダにセットします。このとき素手で電池に触れないでください。接触不良の原因となります。

- ③電池ホルダを押し込み、ネジをドライバで締めます。



- PCカードの電池は定期的に交換してください。
- 電池を交換するときは、「メモリーカード電池の交換方法」をご覧ください。
- 新しいPCカードをご使用の場合は、必ず初期化（カードクリア）を行ってください。
- 推奨品のカードには、電池をはずしても一時的であれば、データを保持できるバックアップ機能を保持しております（万一のため、お客様で予め別途保存されることをお勧めします）。

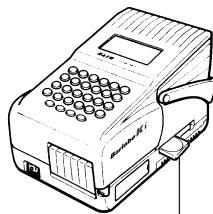


メモ리카ード電池の交換方法

メモ리카ードには、電池が内蔵されています。
約2年を目安に電池を交換してください。

電池は以下の手順で、交換してください。操作を間違えると、メモ리카ードのデータが消える恐れがあります。注意して、操作してください。

- ①メモ리카ードを本体に差し込み、電源スイッチをONにします。
- ②メモ리카ードから、電池ホルダを取り外します。
電池ホルダを取り出すときは、カードが本体から抜けないように注意してください。
- ③新しい電池を「+」と「-」を確認して電池ホルダにはめて、ホルダごとメモ리카ードに差し込みます。



メモ리카ード



- 電池は、素手で直接触れないでください。
- 電池を電池ホルダにはめるときは、「+」と「-」を間違えないように注意してください。



警 告



ヘッド清掃液の取り扱いについて：

- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様の間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



オプションケーブルやスキャナの接続について：

- オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源をOFFにしてから行ってください。
電源をONにしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電する恐れがあります。



バッテリーパックや電源ユニットについて：

- バッテリーパックや電源ユニットを分解しないでください。バッテリーパックや電源ユニットに直接ハンダ付けを行うような改造もしないでください。
- バッテリーパックや電源ユニットを加熱したり、火の中へ投入しないでください。又、ショートのあることはしないでください。
- バッテリーパックへの充電は指定された充電器で行ってください。
- バッテリーパックや電源ユニットを水や海水などにつけたり、端子部分を濡らさないでください。電池を発熱させたり、端子などのサビの原因となります。



電源ユニットや充電器について：

- 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 充電器は、指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。バッテリーの破裂、液漏れや火災・感電の原因となります。
- DCコードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、DCコードが破損し、火災・感電の原因となります。
- DCコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- DCコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注 意



湿度が高い場所に置かない：

- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。



持ち運び：

- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因となります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。



電源：

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- 電源ユニットは熱くなることがありますので、注意してください。



電源コード：

- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線の露出や断線し、火災・感電の原因となることがあります。
- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。



カバー：

- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。



注 意

| | |
|------|--|
| | サーマルヘッド： <ul style="list-style-type: none">• 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃を行うときには、火傷をしないように注意して行ってください。• サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙を交換するときや清掃を行うときには、ケガをしないように注意して行ってください。• お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。 |
| | サーマルヘッドの開閉： <ul style="list-style-type: none">• サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因となることがあります。 |
| | 用紙のセット： <ul style="list-style-type: none">• ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。• 外部供給口のカバーを外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。 |
| | 長期間ご使用にならないとき： <ul style="list-style-type: none">• プリンタを長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。 |
| | お手入れ・清掃のとき： <ul style="list-style-type: none">• プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。 |

PCカードに関するお願い

- 使用済みのリチウム 1 次電池は、＋／－の両極をテープでシールする等の絶縁処理を行い、産業廃棄物業者に委託してください。

バッテリーパックに関するお願い

- 使用済みのバッテリーパックは、希少資源の有効利用のために、接点にテープでシールする等の絶縁処理を行ってから、処分方法を当社の営業又はサービス員へご相談ください。
- 乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。



注 意



PCカードの取り扱い：

- カードを使用する前に、必ず電池を取り付けてください。電池がセットされていないと、カードの内容が保持されませんのでご注意ください。
- カードを落したり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われる恐れがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずソフトケースに入れてください。



バッテリーパックの交換：

- 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
- 交換時は、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおり正しく入れてください。間違いますとバッテリーの破損、液漏れによるケガや周囲を破損する原因となる場合があります。
- 交換したバッテリーパックを廃棄する場合は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。
- バッテリーパックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- バッテリーパックを直射日光の強いところや、炎天下の車内やストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池を液漏れさせたり、電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- バッテリーパックをはじめてご使用になる場合や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。
- バッテリーパックを使用しない場合には、電池の液漏れやサビをさけるため湿気の少ない場所で保管してください。
- バッテリーパックの端子が汚れると、機器との接触が悪くなり電池が切れたり、充電されなくなりますので、乾いた布などでふき、端子をきれいにしてからご使用ください。

設置および取り扱い上のご注意

水平な場所に設置してください

凹凸があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。



振動のある場所に設置しないでください

振動のある場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。



高温・多湿な場所に設置しないでください

温度や湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度や湿度が高い場所は、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。



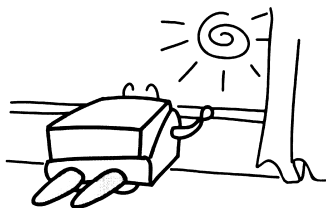
ほこりを避けてください

ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。また、故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。



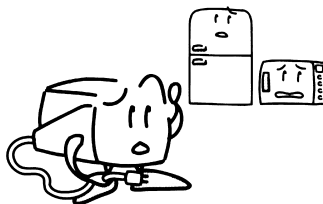
直射日光の当たる場所を避けてください

本機は光学センサを内蔵していますので、直射日光に当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。また、印字のときは必ずカバーを閉じてください。



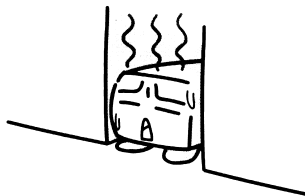
ヒーターや冷蔵庫などのそばから電源を供給しないでください

消費電力の大きい電気製品の近辺にある電源から、電源を供給しないでください。電圧低下による誤動作や故障の原因となります。



側面をふさぐ場所に設置しないでください

本機を設置するときは、本機側面と壁などの間に15cm以上のすき間を開けてください。発熱による故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。



本機を横または逆さまにしないでください

本機に用紙をセットしたまま、電源ユニットやバッテリーパックの取り付け等により、本機を横にしたり逆さまにすると、用紙ホルダから用紙が外れ用紙詰まりの原因となります。また、用紙が破れたり傷が付いて、きれいな印字ができない場合があります。



この取扱説明書の見かた



知っておくと役に立つ情報などが紹介されていることを示します。



操作を進める上で欠かせない、注意や制限事項などが記載されていることを示します。

データを入力する

ラベルに印字する内容を入力します。

まず、フォーマット番号を入力します。フォーマット番号によって、バーコードの内容や桁数が違ってくるので、作りたいバーコードのフォーマットを一覧表で確認してください。（→「第8章 ラベルとバーコードの連携を確認する」）

●ここでは、下のような内容を入力します。

レイアウトパターン：フォーマット番号34

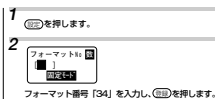
①アイテムデータ：12345

②部門データ：E50

③価格：980



ラベルのサイズを変えたい、価格の印字サイズを大きくしたいなどといった変更があるときは、初期設定から始めます。



フォーマット番号「34」を入力し、[F4]を押します。

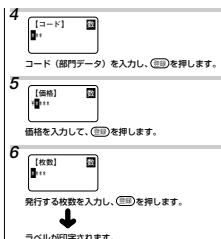
次からはバーコードデータを入力する画面です（手順3～5）。データ入力の画面は手順2で選んだフォーマット番号によって異なります。正しい桁数（※の数字）を入力してください。正しい桁数が入力されていないと、次の画面に進めません。



アイテムを入力し、[F5]を押します。

●レイアウトパターン
印字するラベルのサイズ、バーコードのデータの桁数（PLU）または「NON-PLU」などがあらかじめ設定されています。お気に入りのバーコードの機能に合わせて、フォーマット番号を選びます。

●初期設定→「第3章 ラベルのスタイルを決める」



コード（部門データ）を入力し、[F6]を押します。

価格を入力して、[F7]を押します。

発行する枚数を入力し、[F8]を押します。
↓
ラベルが印字されます。

●「初期設定」で「連続印字」と設定したときは、手摺の連続印字になります。
「連続印字」と設定してあるときは、印字が止まります。

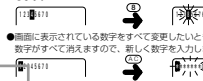
価格印字のとき
指定した枚数分ラベルが印字されます。
初期設定で「チェックラベル あり」としたときは、最後のラベルが印字されたあとにチェックラベルが印字されます。

前画面印字のとき
初期設定で「リアルタイム印字 OFF」、[「前画面発行機能 なし」]としたときは、印字されたラベルをはずすと、次のラベルが印字されます。
初期設定で「リアルタイム印字 ON」又は「リアルタイム印字 OFF」、[「前画面発行機能 あり」]としたときは、最初から印字されたラベルをはがし、2枚目からは[F8]を押す毎にラベルが印字されます。

●ラベルの印字を終了させるときは、[F9]を押します。

データの修正のしかた

●1文字ずつ修正するときは、修正したい文字にカーソルを合わせ、新たに数字を入力します。



●画面に表示されている数字をすべて変更したいときは、[F10]を押します。数字がすべて消えますので、新しく数字を入力します。

操作で使うキー

その操作中で、主に使用するキーの位置を示します。

キーの表示

本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を、

[発行/停止] [登録]
[セット] (カナ/数) ① (ア)
② (A/a)

などのように表記しています。

コラム

●ページ下部のコラムでは、参照する項目を示したり、文中に出てくる専門用語を解説しています。

●操作手順の中で、「[↑][↓][←][→]を押して…」と表記されているときは、[↑][↓][←][→]のどれかを押してください。[↑][↓][←][→]の全てを押す必要はありません。

第1章

知っておいていただきたいこと

本機をお使いになる前に知っておいていただきたいことや、本機の概要について説明します。

箱の中身を確認する

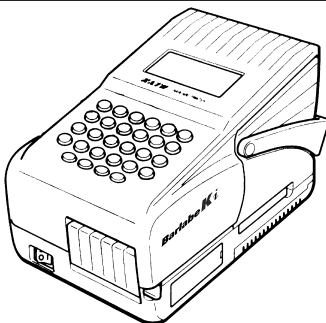
箱を開けたら、次の付属品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店又はディーラーまでお問い合わせください。

第1章

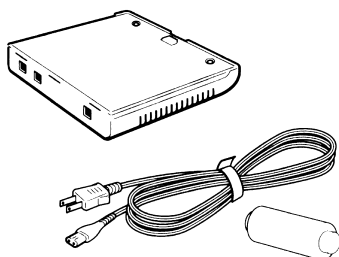
箱の中身を確認する

本体と同梱の付属品

BarlabeKi本体



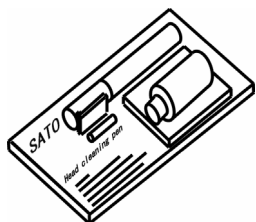
電源ユニット／ガイドコア



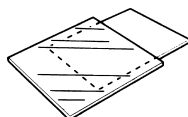
取扱説明書



クリーニングセット



ラッピングシート



保証書（ケース付き）

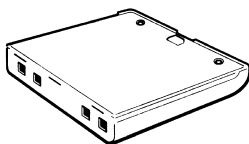


注意

本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

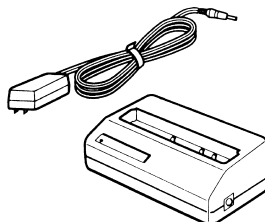
オプション（別売）品のご紹介

バッテリーパック



バッテリーを使用して電源を取ることができます。

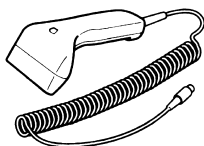
バッテリーチャージャ（充電器）



バッテリーパックを、充電したいときに使用します。

スキャナ

タッチスキャナ



バーコードに当てて、バーコードデータを
読み取るときに使用します。

データ転送ケーブル



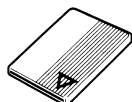
プリンタどうしでデータを転送するときに
使用します。

オンラインケーブル

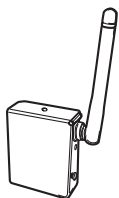


ホスト（パソコンなど）と接続するときに
使用します。

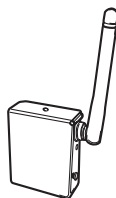
PCカード



無線LANインタフェース



Bluetoothインタフェース



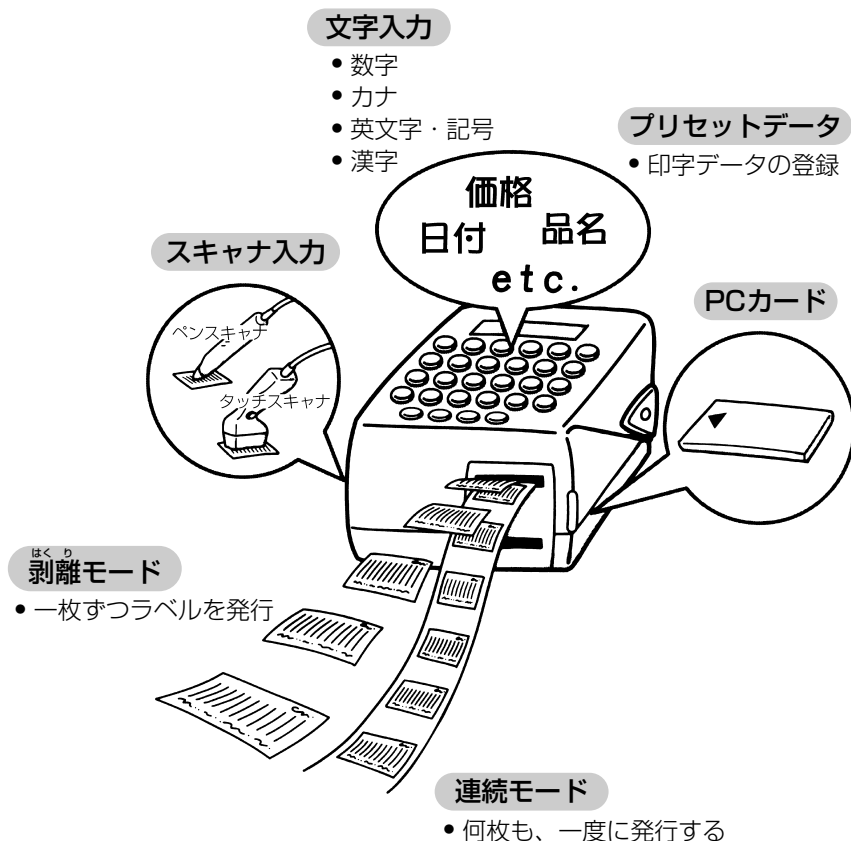
本機を使ってできること

第1章

本機を使ってできること

フォーマットを選んで、データを入力する

本機に用意されている25種類のフォーマットから、使いたいパターンを選びます。あとは、画面に合わせてデータを入力するだけです。



どこでも持ち運んで使えます。

バッテリーパックを使えば、コンセントのない場所へも持ち運んで使うことができます。

数字・漢字・カタカナ・英文字が使えます。

モードを切り替えることで、数字の他に漢字・カタカナや英文字を使って、品名などを入れることができます。

既存のバーコードを読み込んで使うことができます。

ペンスキャナ・タッチスキャナを使ってバーコードを読み込み、発行することができます。

よく使うデータを登録しておくことができます。

よく使うデータやたくさんのデータを、プリセット番号をつけて登録しておくことができます。

最大2500件まで、登録件数を増やすことができます。

本体には2500件のデータを登録することができます。
PCカードを使えば、さらに最大2500件のデータを登録することができます。

操作のおおまかな流れ

第1章

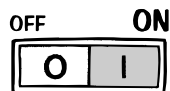
操作のおおまかな流れ

ラベルを印字します

1

電源を入れます。

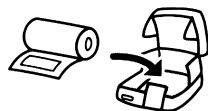
- 電源ユニット／バッテリーパックどちらかをセットして、電源スイッチをONにします。



2

用紙をセットします。

- ラベル印字面を上にしてください。
- 本体のカバーを開けて、用紙ホルダにセットします。



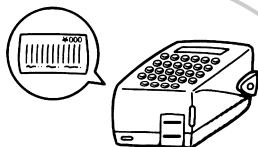
3

印字に関する初期設定やデータの入力をします。

- 初期設定をします。
(ラベルを印字するための準備です)
- 印字したいデータを入力します。
(バーコードデータ・品名・価格・枚数などをを入力します)



ラベルに印字する内容を登録することもできます。



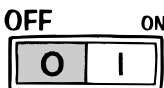
4

ラベルを発行します。



5

操作を終えるときは、電源を切ります。



印字内容を登録して、管理します

- 印字内容を登録し、管理することができます。

○データを登録します。

何度も使いたい印字データは、登録しておきます。

1. フォーマット番号を選びます。



2. 印字データに登録番号をつけます。



3. 印字データを入力します。



4. 登録します。

○データを呼び出します。

登録したデータを呼び出して、印字します。

1. 登録番号を入力して印字データを呼び出します。



2. ラベルを発行します。

○データを転送します。

登録したデータは、もう1台のプリンタに転送することができます。

1. 転送ケーブルで、2台のプリンタをつなげます。



2. 転送したいデータを呼び出します。



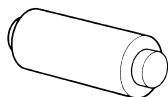
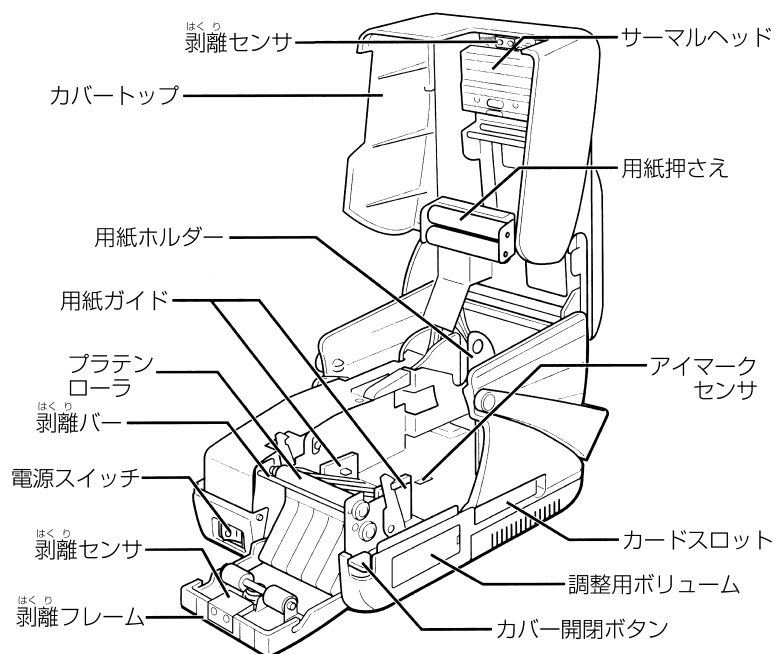
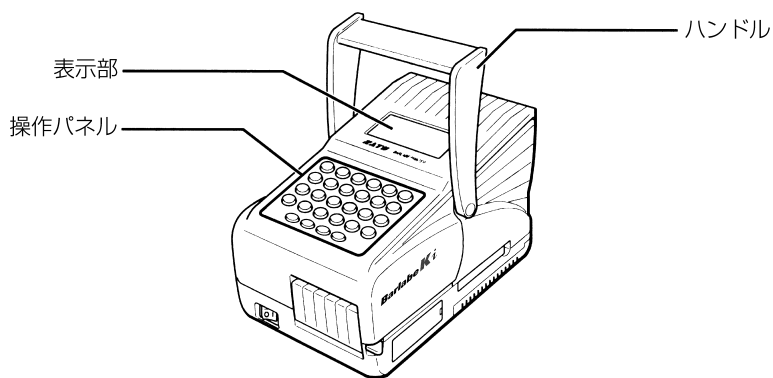
3. 転送します。

各部の名称

各部の名称

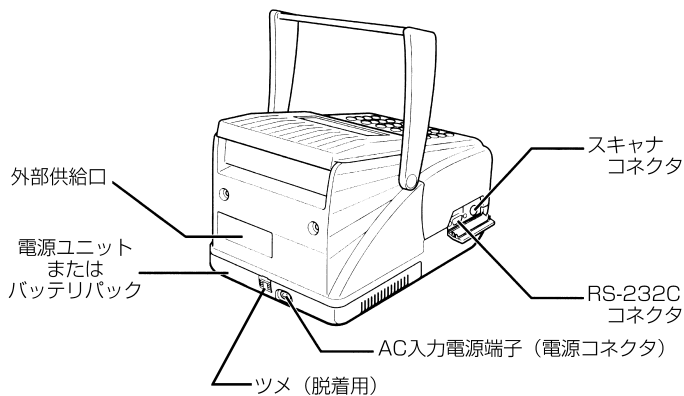
第1章

各部の名称

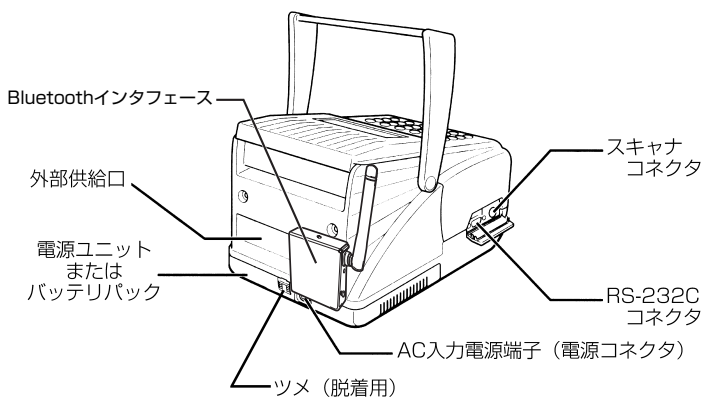


ガイドコア

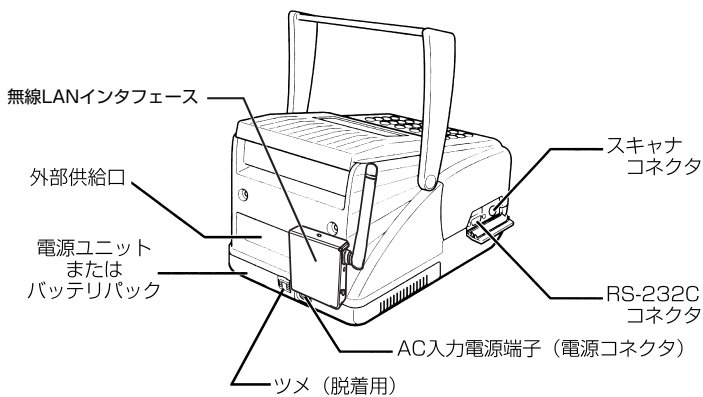
【標準仕様】



【Bluetooth仕様】



【無線LAN仕様】



キーのはたらき

本機を操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。



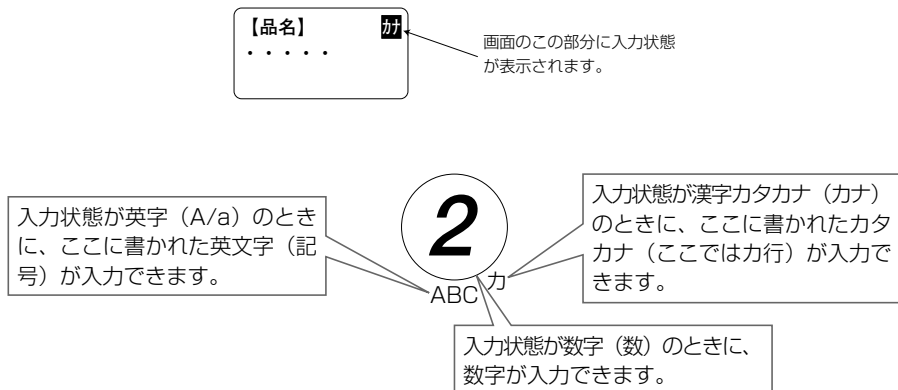
| | 本書での表現 | はたらき |
|---|---------|---|
| ① | 〔設定〕 | 操作の途中で、はじめの画面に戻るときに押します。 |
| ② | 〔呼出〕 | <ul style="list-style-type: none"> データを登録したり呼び出したりするときに押します。 【参考】 「第4章 データの登録と呼出し」 |
| ③ | 〔登録〕 | 入力したデータを確定したり、操作を進めたりするときに押します。 |
| ④ | 〔方向キー〕 | <ul style="list-style-type: none"> 項目を選ぶ画面では■(カーソル)が表示されます。〔上〕〔下〕〔左〕〔右〕を押して、カーソルを目的の項目に合わせます。 バーコードデータなどを入力するときは、カーソルがある位置に文字が入ります。 |
| ⑤ | 〔数字キー〕 | <ul style="list-style-type: none"> 数字キー・バーコードデータを入力するときに押します。 プリセット機能の品名入力のときは、カタカナ・英文字が入力できます。 |
| ⑥ | 〔セット〕 | 品名入力で、入力状態を切り替えるときに押します。 |
| ⑦ | 〔シフト〕 | 品名入力で、小さい文字(拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 かな漢字変換中(変換候補の漢字表示中)に押すと、漢字変換がキャンセルされます。 |
| ⑧ | 〔発行/停止〕 | バーコードが印字されている途中で印字を停止したり、また印字を再開させたりするときに押します。 |
| ⑨ | 〔前画面〕 | 操作の途中で、前の画面に戻りたいときに押します。 |
| ⑩ | 〔AC〕 | データを入力している画面で、入力した文字をすべて消したいときに押します。 |
| ⑪ | 〔紙送〕 | 用紙を送りたいときに押します。 |
| ⑫ | 〔機能1〕 | 漢字変換をするとき〔機能1〕を押すと、変換する漢字を順次表示します。 |
| ⑬ | 〔機能2〕 | 漢字変換をするとき、変換する漢字の決定するときに押します。 |
| ⑭ | 〔日付〕 | カレンダーを一時変更するときに押します。 |
| ⑮ | 〔削除〕 | データを入力している画面で、カーソルがある位置の文字を削除します。 |

文字を入力する

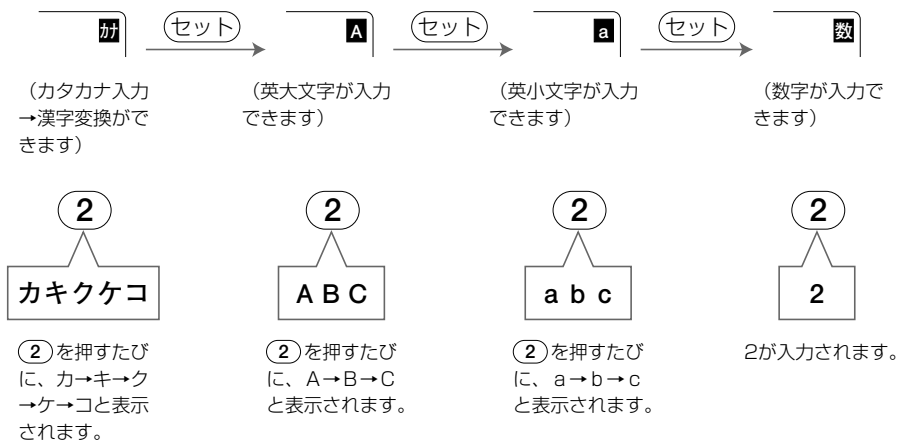
漢字・カタカナ・英文字・数字・記号を入力することができます。

重要 漢字・カタカナ・英文字・記号を入力することができるのは、プリセット機能の品名入力だけです。品名以外は数字しか入力できません。

■漢字・カタカナ・英文字・数字・記号の使い分け



スタート



(注) 漢字の場合は最大6文字まで登録可能です。

カタカナ・英文字・数字・記号は最大12文字まで登録可能です。

■いろいろな文字の入力のしかた

【カタカナ】

(セット)を押して**カナ**モードにする

| 種 類 | 例 | 入力方法 |
|-------------|--------|---|
| 清 音 | ア | ① (ア) |
| 拗 音 (促音) | ア | ① (ア) + (シフト) ※ (シフト)を押すと、小文字が入力できます |
| 濁 音 半濁音 | バ パ | ⑥ (ハ) + (ー) (°) ⑥ (ハ) + (ー) (ー) (°) ※濁音 (°) 半濁音 (°) は清音を入力したあとに(ー)を押します |

【英文字・記号】

(セット)を押して**A**または**a**モードにする

| 種 類 | 例 | 入力方法 |
|----------|---|---|
| 大文字 | A | A の場合 ② (A B C) a の場合 (※(シフト)を押すと、大文字が入力できます。) ② (a b c) + (シフト) |
| 小文字 | a | A の場合 (※(シフト)を押すと、小文字が入力できます。) ② (A B C) + (シフト) a の場合 ② (a b c) |
| 記 号 | # | ① (特殊1) ※ ① (特殊1)と(ー) (特殊2)を押すと、記号を入力することができます。 |
| 空白(スペース) | | ⑦ (ゼロ)を2回押す、又は(シフト)を押すと、スペースを入力することができます。 |

■文字一覧

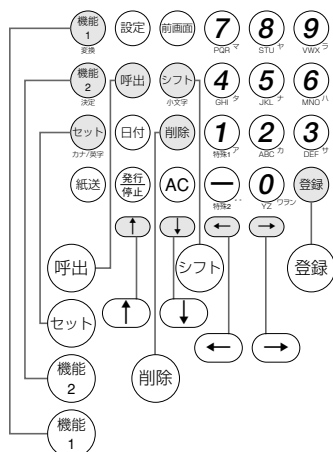
| 各入力状態への 切り替えかた | 電源ON時 | (セット) | (セット) | (セット) | (シフト) |
|-------------------|-------|----------|------------------------|------------|------------------|
| キー | 数字 | カナ(漢字入力) | 英大文字 記号 | 英小文字 記号 | 英大小文字 カナ小文字 |
| (ー) | — | 〃—スペース | () <>, . : ; ' " | | |
| (0) | 0 | ワロン、 | YZスペース | yzスペース | yz (YZ) |
| (1) | 1 | アイウエオ | # * + ! & % \$ = / ? @ | | アイウエオ |
| (2) | 2 | カキクケコ | ABC | abc | abc (ABC) |
| (3) | 3 | サシスセソ | DEF | def | def (DEF) |
| (4) | 4 | タチツテト | GHI | ghi | ghi (GHI) |
| (5) | 5 | ナニヌネノ | JKL | jkl | jkl (JKL) |
| (6) | 6 | ハヒフヘホ | MNO | mno | mno (MNO) |
| (7) | 7 | マミムメモ | PQR | pqr | pqr (PQR) |
| (8) | 8 | ヤユヨ | STU | stu | ヤユヨ stu (STU) |
| (9) | 9 | ラリルレロ | VWX | vwx | vwx (VWX) |

かな漢字を入力する画面では

カナ(漢字)－(セット)→英大文字・記号－(セット)→英小文字・記号－(セット)→数字となります。

文字の入力方法

①漢字編



かな漢字変換機能を利用して、漢字が入力できます。漢字の入力方法を、例（高原野菜）にもとづいて説明します。この例では、「高原野菜」を「高原」と「野菜」に分けて、漢字変換を行っています。

例 高原野菜・・・・・・・・・・・・・・・・

1

01 固定データ漢字
■.....

はじめに「コウゲン」を入力し、「高原」に変換します。(2) (力) を5回押すと、「コ」が表示されます。

2

01 固定データ漢字
■.....

(1) (ア) を3回押すと、「ウ」が表示されます。

3

01 固定データ漢字
コ.....

(2) (力) を4回押すと、「ケ」が表示されます。

4

01 固定データ漢字
コケ.....

(ー) (°) を1回押すと、「°」が表示されます。

5

01 固定データ漢字
コケ°.....

(0) (ワラン) を3回押すと、「ン」が表示されます。

6

01 固定データ漢字
コケ°ン.....

(機能1) を押すと、「コウゲン」が漢字に変換され、表示されます。「高原」が表示されるまで、(機能1) を押してください。



変換中の漢字を確定する場合は、
(登録)を押すか、又は次の文字
を入力しても確定できます。

第1章

キーのはたらき

7

01 固定データ漢字
高原 ■ . . .

(機能2)を押すと、「高原」が品名として確定されます。

8

01 固定データ漢字
高原 ■ . . .

続いて、「ヤサイ」を入力し、「野菜」に変換します。
(8) (ヤ)を1回押すと、「ヤ」が表示されます。

9

01 固定データ漢字
高原 ■ . . .

(3) (サ)を1回押すと、「サ」が表示されます。

10

01 固定データ漢字
高原 ヤ ■ . . .

(1) (ア)を2回押すと、「イ」が表示されます。

11

01 固定データ漢字
高原 ヤ ■ . . .

(機能1)を押すと、「ヤサイ」が漢字に変換され、表示されます。「野菜」が表示されるまで(機能1)を押してください。

12

01 固定データ漢字
高原 野菜 ■ .

(機能2)を押すと、「野菜」が品名として確定されます。
(登録)を押すと、プリセット登録が終了します。

漢字の挿入について

かな漢字変換の入力画面では、カーソル位置に文字が挿入できます。

(例) 「高原野菜」の野菜の前に「新鮮」を挿入する場合

【品名】 **か**
高原**野**菜・

画面2段目の「野」にカーソルを移動します。

【品名】 **か**
高原**シ**野菜・
.

カタカナで「シ」「ン」「セ」「ン」と入力し、
(機能1)を押します。

【品名】 **か**
高原**新鮮**野菜

(機能2)を押すと、“新鮮”を確定し、挿入されます。

漢字の削除について

挿入と同じように、画面2段目のカーソル位置の文字が削除できます。

(例)

【品名】 **か**
高原**新**鮮野菜

(←)を2回押して「新」にカーソルを移動します。

【品名】 **か**
高原**鮮**野菜

(削除)を押すと、「新」が削除されます。
(もう一度(削除)を押すと、次の文字(鮮)も削除されます。)

漢字の追加について

漢字を確定したあと、続けて入力します。

漢字変換のキャンセルについて

変換する文字をかな入力し、(機能1)を押して変換する際、カナ入力を間違えたときは、
(シフト)を押して変換をキャンセルすることができます。
(変換候補を表示中のときに有効となります。)

漢字の変換順序（例）

「タイ」という読みに対して、漢字の変換順序は、「他意」、「鯛」、「対」…「たい」、「タイ」のように、漢字→ひらがな→カタカナの順になります。

英文字、数字、記号の変換

漢字変換を使って、品名に英文字、数字、記号を入力することもできます。

「オオモジ」と入力「大文字」→「A」→「B」→「C」→…

「Z」→「おおもじ」→「オオモジ」の順に変換。

「コモジ」と入力「小文字」→「a」→「b」→「c」→…

「z」→「こもじ」→「コモジ」の順に変換。

「スウジ」と入力「数字」→「数次」→「1」→「2」→「3」→…

「O」→「すうじ」→「スウジ」の順に変換。

「キゴウ」と入力「記号」…「々」→「メ」→「>」→「ズ」→…

「//」→「きごう」→「キゴウ」の順に変換。

漢字変換の際に用いるキーのはたらき

- 削除**
 - 漢字変換の画面で、漢字を1文字ずつ削除したいときに押します。
- セット**
 - 品名入力で、入力状態を切り替えるときに押します。
- シフト**
 - 品名入力で、小さい文字（拗音・促音・小文字など）を入力するときに押します。
 - かな漢字変換中（変換候補の漢字表示中）に押すと、漢字変換がキャンセルされます。
 - かな漢字変換中でない場合はスペースの入力となります。
- 機能1**
 - 漢字変換をするときに押すと、変換する漢字を順次表示します。
- 機能2**
 - 漢字変換中に、変換した漢字を決定するときに押します。

JIS漢字コード入力

JIS漢字コードを使用して漢字入力をします。

（例）「高原野菜」の「高原」と「野菜」の間に「新鮮」を入力します。

①（呼出）を1回押します。

| | |
|-------|---|
| 【品名】 | 加 |
| 高原野菜・ | |



② JISコード3F37（新）を入力します。

| | |
|--------|-------|
| 【品名】 | 数 |
| [*A*A] | JIS入力 |



③（機能1）で変換し、（機能2）で変換を決定します。

| | |
|--------|-------|
| 【品名】 | 数 |
| 新 | JIS入力 |
| [3F37] | |

④ JISコード412F（鮮）を入力します。

| | |
|--------|-------|
| 【品名】 | 数 |
| 新 | JIS入力 |
| [*A*A] | |



⑤（機能1）で変換し、（機能2）で変換を決定します。（呼出）を押すとJISコード入力を終了します。

| | |
|--------|-------|
| 【品名】 | 数 |
| 新鮮 | JIS入力 |
| [412F] | |

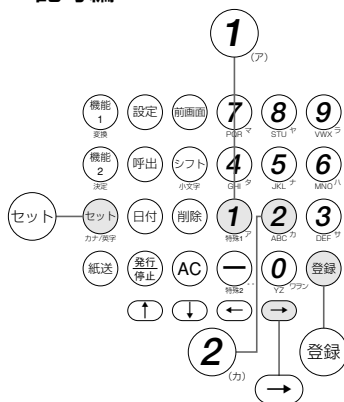


| | |
|--------|---|
| 【品名】 | 加 |
| 高原新鮮野菜 | |

JIS漢字コードでA～Fを入力する可能性のある2、4桁目には最初に表示しています。

①②③④⑤を押してA→B→C→D→E→Fを選び、（セット）を押して決定します。

②カタカナ・英文字・数字・記号編



参考 画面上に表示される■をカーソルと呼びます。カーソルがある位置に文字が入力されます。

例 イカ

1

【品名】 カ

1

画面の右上に、「カナ」が表示されているのを確かめます。

- ① (ア) を2回押します。
「イ」が表示されます。

2

【品名】 カ

イ

- ② (力) を1回押すと、カーソルが1つ右にずれて、「カ」が表示されます。
(登録) を押すと、「イカ」が登録されます。

同じ文字キーを続けて使用するとき

続けて同じ文字キーを使用しない文字の場合は、(→)を押してカーソルをとなりに移動させる必要はありませんが、「カキ」など、同じ文字キーを続けて使うときは、(→)を押してカーソルを隣に移動させてから、次の文字を入力してください。

例 カキ

- ① (2) (力) を1回押します。

【品名】 カ

カ



- ② そのまま(→)を1回押して、
カーソルを隣に移動させます。

【品名】 カ

カ

- ③ (2) (力) を2回押します。

【品名】 カ

カ



「イカ サシミ」というように、文字と文字の間をあげたいときは、(シフト)を押して、間隔をあげたい文字分カーソルをとばします。

カレンダーを一時変更する

(日付)を押すと、カレンダー一時変更画面を表示します。この機能は出荷する製品に貼るラベルを前もって（生産日又は出荷日前に）作成するときに便利です。

第1章

キーのはたらき

フォーマットNo 数
[]
固定モード

フォーマットNo入力画面、又は発行プリセットNo入力画面で、(日付)を押すとカレンダー一時変更画面になります。

発行プリセットNo 数
[]
2001/01/01 03:15

カレンダー一時変更 数
2001/01/31 11:07

変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動しカレンダーを一時的に変更します。

(登録)を押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

元の画面に戻ります。

重要

カレンダー一時変更の有効範囲（カレンダー一時変更が継続される範囲）は、「1アイテムのみ」か「電源を切るまで」です。有効範囲はユーザメンテナンスモードで設定できます。

- 1 アイテムのみ…カレンダー一時変更を行った後に印字される最初の1アイテムのみ有効となります。印字後、カレンダー一時変更を行うと、再度最初の1アイテムのみ一時変更が有効となります。

電源を切るまで…カレンダー一時変更を行った後、電源を切るまで一時変更が有効となります。

→「第5章 本機の環境を変える」参照

第2章

本機のセッティング

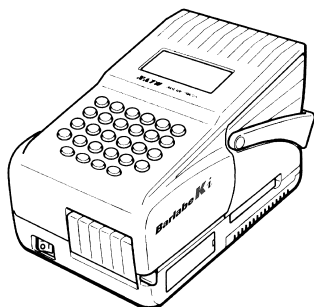
ここでは、本機の設置や用紙のセットといった、バーコードを印字する前の準備について説明しています。実際に印字する前に、必ず目を通しておいてください。

セッティングをはじめる前に

本機を箱から取り出したら、「設置（電源の確保）→用紙のセット→データのクリア」の順に進めていきます。このページでは、これらの作業のおおまかな流れについて簡単に説明しています。

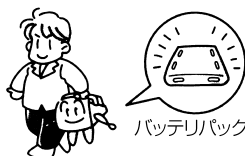
設置する

壁コンセントに直接つないで使うときは…



付属の電源ユニットを取り付けます。

壁コンセントのないところで使うときは…



設置する前に「設置および取り扱い上のご注意」を、必ずご覧ください。

オプション（別売）のバッテリーパックを取り付けます。

用紙をセットする

連続印字のときと剥離^{はくり}印字のときでは、用紙のセットのしかたが多少異なります。



連続印字



剥離^{はくり}印字

データクリア

この操作は本機をはじめて使うときのみ行ってください。

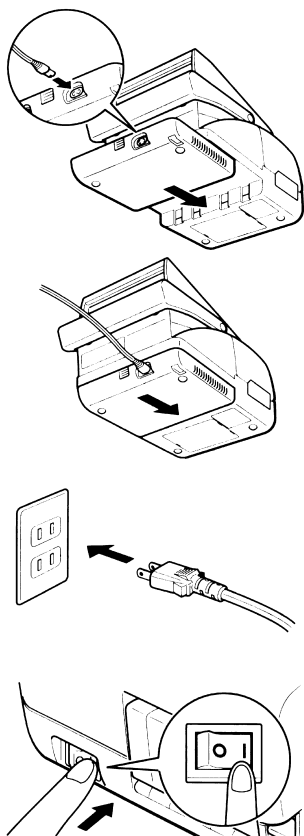
↓
セッティング完了

- 連続印字、剥離印字→「第2章 用紙をセットする」
- データクリア→「第2章 本機をはじめて使うときは」

壁コンセントに接続して使うには

本機を、壁コンセントのある場所で使用するときには、付属の電源ユニットを接続します。

電源ユニットを取り付ける



本体側の接続・・・・・・・・・・・・・・・・

1

電源ユニットを本体の溝に合わせます。

2

そのまま前方へスライドさせるようにはめ込みます。
カチッと音がするまで押し込んでください。



参考 取り外すときは、電源ユニットのツメの部分を押し、1～2を逆の手順で行ってください。

壁コンセント側の接続・・・・・・・・・・・・・・・・

3

壁コンセントに、電源ユニットのプラグを差し込みます。

プラグは、コンセントにしっかりと差し込んでください。

電源スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・

4

電源スイッチを入れます。

電源ユニットについてのご注意

電源ユニットは、長時間コンセントに差ししておくと熱くなりますのでご注意ください。（但し、故障ではありません。）また、電源ユニットを使用して続けて発行するときは、ラベル5～6巻程度を目安にしてください。



注意

本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

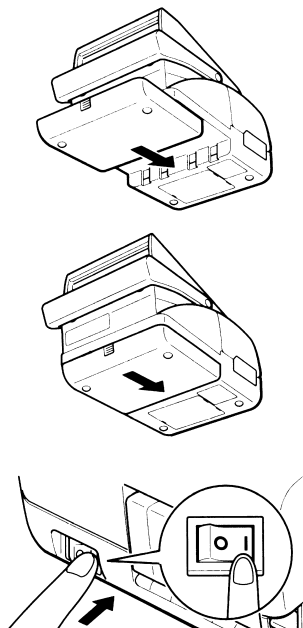
壁コンセントのない所で使うには

本機を、壁コンセントのない所で使用するときには、オプション（別売）のバッテリーパックを接続します。

バッテリーパックを取り付ける

第2章

壁コンセントのない所で使うには



1

バッテリーパックを本体の溝に合わせます。

重要

バッテリーパックをはじめてご使用になる場合は、充電してからご使用ください。

2

そのまま前方へスライドさせるようにはめ込みます。

カチッと音がするまで押し込んでください。

参考

取り外すときは、バッテリーパックのツメの部分を押して、1～2を逆の手順で行ってください。

3

電源スイッチを入れます。

参考

電源スイッチを入れたあと、5分以上操作を行わないと自動的に電源が切れる機能があります（オートパワーオフ機能）。

バッテリーの消耗を防ぐために設定してください。

→「第5章 本機の環境を変える」

バッテリーパックについてのご注意

- 長期間本機を使用しないときでも、3カ月に1～2度充電を行ってください。バッテリーの消耗を防ぐことができます
- 本機を使用しないときは必ず電源スイッチをOFFにしてください。バッテリーの消耗を防ぐことができます。
- バッテリーは常温使用時約300回、充電を繰り返して使えます。300回を過ぎると、充電されなくなったり発行枚数が少なくなったりしますので、新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーは、充電状態や温度変化によって発行枚数が変わってきますのでご注意ください。発行枚数は常温使用での連続発行時、縦25mm×横32mmのラベルで約4000枚（5巻）程度を目安にしてください。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックは、使用するにつれて出力電圧が低くなります。出力電圧が低くなると、ラベルの発行枚数が少なくなったり、または発行できなくなります。

本機の電源を入れたときや、発行中に以下のような画面が表示されたら、バッテリーパックの充電を行ってください。

バッテリー残量を表す画面

バッテリー F U L L

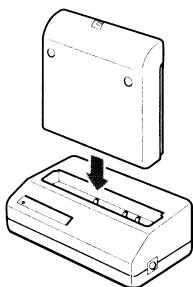
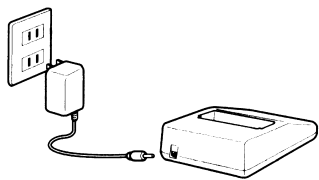
●バッテリーが十分充電されています。

バッテリー
E M P T Y

●バッテリーが少なくなってきましたので充電してください。

充電してください

●バッテリーを充電しないと印字できません。
(数秒間ブザーが鳴り、数分後に自動的に電源が切れます。)



1

本体の電源を切ります。

2

バッテリーパックを本体から取り外します。



取り外すときは、バッテリーパックのツメの部分を押して、手前にスライドさせます。

3

バッテリーチャージャ（オプション）の準備をします。

- バッテリーチャージャのDCプラグを、バッテリーチャージャ本体に差し込みます。
- バッテリーチャージャの電源プラグをコンセントに差し込みます。

4

バッテリーパックをバッテリーチャージャにセットします。

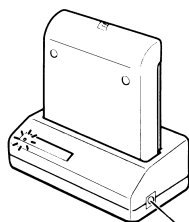
- バッテリーパックをセットすると、バッテリーチャージャのランプが赤く点灯します。
- 充電時間はバッテリーの状態により異なりますが、標準バッテリーチャージャの場合フル充電は約150分、容量アップバッテリーチャージャの場合フル充電は約225分となります。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。

重要

充電中にバッテリーチャージャのランプが赤く点滅した場合は、バッテリーパックに異常がありますので、充電を中止して新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックをリフレッシュさせる

バッテリーパックを続けて使用していると、だんだん充電できる量が低下してきます。約20回充電するごとに、バッテリーパックのリフレッシュを行ってください。充電できる量が回復しますので、プリンタを長く使用することができます。



リフレッシュボタン

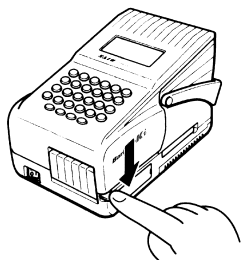
1

「第2章 バッテリーパックを充電する」の手順1～4を行った後、バッテリーチャージャのリフレッシュボタンを押します。

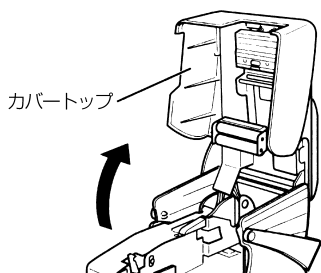
- リフレッシュボタンを押すと、バッテリーチャージャのランプが緑色に点滅（放電 標準バッテリーチャージャの場合約8.5時間、容量アップバッテリーチャージャの場合約12.5時間）し、その後赤く点灯（充電 標準バッテリーチャージャの場合約2.5時間、容量アップバッテリーチャージャの場合約3.75時間）します。
- バッテリーの状態により異なりますが、標準バッテリーチャージャの場合最大約11時間、容量アップバッテリーチャージャの場合最大約16.25時間で充電が完了します。
- 充電が完了すると、バッテリーチャージャのランプが緑色に点灯します。

用紙をセットする

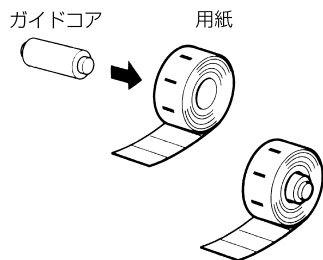
本機は「連続」と「^{はくり}剥離」、という2つのモードでラベルを印字することができます。用紙セットの手順は、途中までは共通になっています。また、用紙は当社純正品を必ずお使いください。



1 本体側面のカバー開閉ボタンを押します。



2 カバートップを引き上げるようにして開けます。

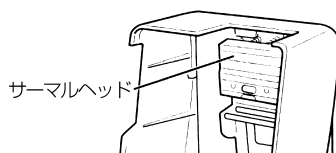


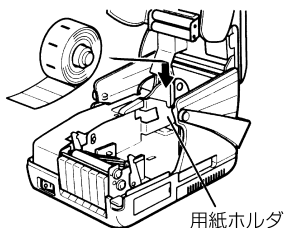
3 ガイドコアを用紙に通します。



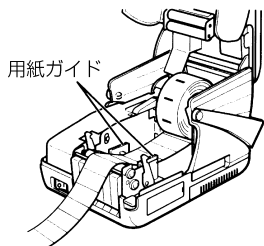
注意

- 印字直後は、カバートップ側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように充分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをする恐れがありますのでご注意ください。

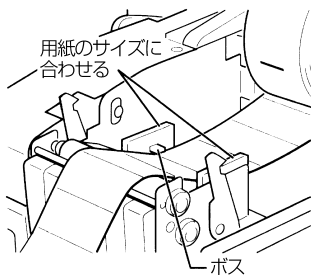




用紙ホルダ



用紙ガイド

用紙のサイズに
合わせる

ボス

4

用紙を用紙ホルダにセットします。

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

5

用紙ガイドの上に用紙を通します。

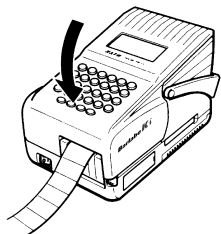
用紙の上にボスがかかるように注意してください。

6

用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドを閉じます。

はくり
剥離モードのときは…
次ページへ！

連続モードのときは…

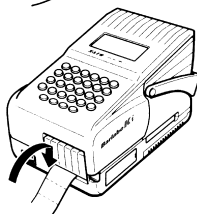
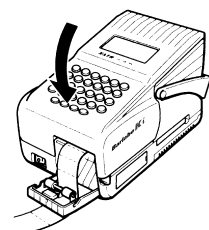
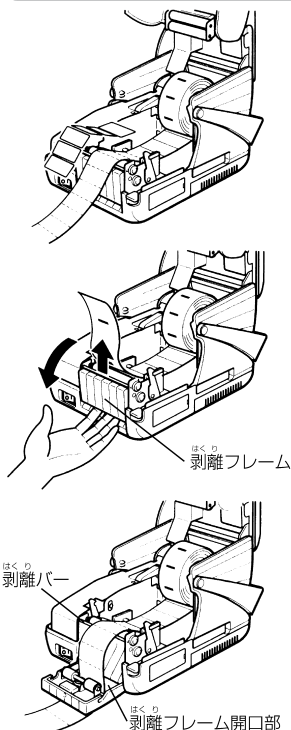


7

用紙の先端からラベルを5～6枚くらいだして、カバートップを閉じます。

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

はくり 剥離モードのときは…



重要 ラベル交換時の注意

台紙を抜き取る際は、必ず、剥離フレームを開け、台紙を切り取り、矢印方向に引き抜いてください。
剥離フレームを閉めた状態で、無理に台紙を引き抜きますと、故障の原因となる場合があります。

8 手順1～6が終わっていることを確認してください。

9 ラベルを台紙から5～6枚はがします。

10 本体前面の剥離フレームを、押し上げます。

押し上げたあと、軽く手前に倒して、剥離フレームを開けます。

重要 必ず剥離フレームを押し上げてから開けてください。
剥離フレームを押し上げないで無理に手前に引くと、壊れる恐れがあります。

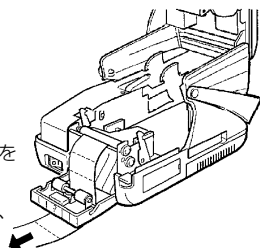
11 台紙を、剥離バーの上から、剥離フレームの開口部に通します。

剥離バーとプラテンローラの間には通さないでください。

12 カバートップを閉じます。

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

13 剥離フレームを閉じる際は、剥離フレームを持ち上げながら閉じ、押し下げてロックしてください。



本機をはじめて使うときは

はじめて本機を使用するときは、必ず「メモリクリア」という操作を行います。この処理を行わないと、正しく動作しないことがありますので、必ず行ってください。また、登録されているデータを全て消去して、新しく設定し直すときにもメモリクリアを行います。

重要すでにデータが登録されているときは、登録済みのデータが全て抹消されますのでご注意ください。

データクリアをする



1 (AC)を押しながら、電源スイッチをONにします。

2

メモリクリア?
Yes No
全て消去します

←を押して、カーソルを「Yes」に合わせます。
データクリアを中止したいときは、「No」にカーソルを合わせて(登録)を押します。
(登録)を押します。

3

価格総額表示設定
を再設定してください

メモリクリア後、価格総額表示設定確認メッセージを表示しますので、電源を切ります。

4

価格総額表示を設定します。
「第3章 価格総額表示を設定する」をご覧ください。

5

電源スイッチをONにします。

6

フォーマットNo 数
[]
固定モード

フォーマットNo入力画面を表示します。

第3章

ラベルの印字

バーコードを印字するときは、まずラベルのレイアウトパターン（フォーマット）を選び、そこから印字内容を入力します。

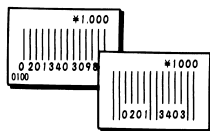
ここでは、スタイルの設定方法（初期設定）、印字内容の入力方法、入力に便利な機能を説明しています。

印字するまでのおおまかな流れ

バーコードを印字するには、まず、ラベルをどのようなスタイル（書式）で印字するかを決めます（初期設定）。スタイルを設定したら、あとは本機に用意されている25種類のフォーマットを選び、画面にしたがってデータを入力していただくだけです。

初期設定 ラベルの印字スタイルを決めます

- ①ラベルのサイズは？
- ②プリセットの登録先？
- ③リサイクルマークはどうしますか？（ラベルサイズ35mm選択時）
- ④原産地はどうしますか？（ラベルサイズ35mm選択時）
- ⑤日付を印字しますか？
- ⑥日付を手入力しますか？
- ⑦日付をコードフリー入力しますか？
- ⑧価格の位置はどうしますか？
- ⑨価格の大きさはどうしますか？
- ⑩価格に¥マークはつけますか？
- ⑪価格のカンマ（,）をつけますか？
- ⑫プリセット番号を印字しますか？
- ⑬ガードバーの長さはどうしますか？
- ⑭印字方法は どうしますか？（連続印字？ 剥離印字？）
- ⑮リアルタイム印字はしますか？
- ⑯都度発行はしますか？
- ⑰チェックラベルを印字しますか？
- ⑱印字方向はどうしますか？
- ⑲印字位置の調整は必要ですか？



一度設定したら、電源を切っても設定内容は残ります。
変更がないかぎり、次からは初期設定の必要はありません。

用紙をセットする（第2章）

連続印字と剥離印字とでは用紙のセットのしかたが変わります。

フォーマット番号を選ぶ 25種類の中から選んでください

- 用意されているフォーマットと番号は「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」をご覧ください。
- フォーマットによって、使用できないラベルサイズがあります。「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」をご覧ください、あらかじめご確認ください。

データを入力する

- 画面にしたがって、バーコードデータなどを入力します。

↓
ラベルの完成

■プリセット番号

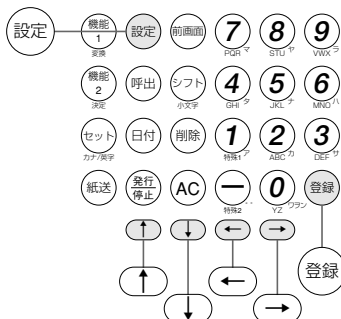
バーコード・価格などといった印字データを本機に保存しておくことができます。保存したデータはプリセットデータと呼び、保存データを整理するためにつけた名前をプリセット番号と呼びます。

ラベルのスタイルを決める(初期設定)

第3章

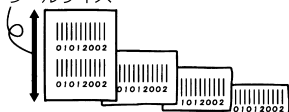
ラベルのスタイルを決める(初期設定)

ラベルのサイズ、価格の印字位置など、ラベルをどのようなスタイルで印字するのかを決めます。初期設定の内容は電源を切っても残りますので、次にラベルを印字するときはデータの入力から始めます。ただし、ラベルサイズを変えたい、価格の印字サイズを大きくしたいなどといった変更があるときは、初期設定から始めます。



ラベルサイズ

ラベルサイズ



重要 ここで設定した同じラベルサイズの用紙をセットしてください。

リサイクルマーク

なし

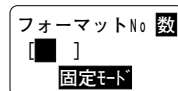
あり



重要 用紙サイズ35mmを選択した場合のみリサイクルマークの設定(印字)が可能になります。他の用紙サイズでは設定(印字)できません。

1

設定を押します。



「00」を入力し、登録を押します。
初期設定を行うときは、「00」を入力します。

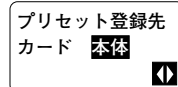
2



ラベルサイズは ← → ↑ ↓ を押して選びます。カーソル (■) を目的の数字に合わせます。

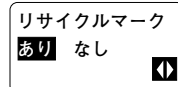
登録を押します。

3



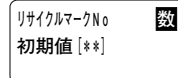
← → を押してプリセットデータの登録先を選び、登録を押します。

4



← → を押してリサイクルマークをつけるかどうかを選び、登録を押します。

5



参考 手順4で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「なし」を選んだときは、この画面は表示されません。

リサイクルマークテーブルNo.の初期値 (01~13, 20) を入力し登録を押します。

リサイクルマークテーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

原産地

なし



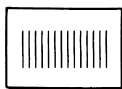
あり



用紙サイズ35mmを選択した場合のみ原産地の設定(印字)が可能になります。他の用紙サイズでは設定(印字)できません。

日付

なし



あり



日付手入力

フォーマット印字、プリセット呼び出し印字で日付入力画面を表示し、日付を手入力します。

6

原産地
あり なし

↑ ↓

← → を押して原産地をつけるかつけないかを選び、登録を押します。

7

原産地テーブルNo. 数
初期値 [***]



手順6で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「なし」を選んだときは、この画面は表示されません。

原産地テーブルNo.の初期値(001~047、101~156)を入力し登録を押します。

原産地テーブル番号の初期値は未入力でも可能です。

8

日付の印字
なし あり

↑ ↓

← → を押して日付をつけるかつけないかを選び、登録を押します。

ラベルサイズが25mmのときだけ、日付を印字することができます。

9

日付の手入力
なし あり

↑ ↓



手順8で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「なし」を選んだときは、この画面は表示されません。

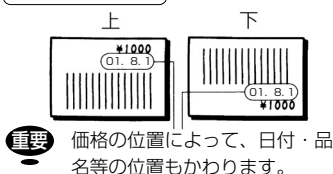
← → を押して日付を手入力するかしないかを選び、登録を押します。

コードフリー入力

フォーマット印字、プリセット呼び出し印字で8桁のデータ入力画面を表示し、8桁以内でフリーにデータを入力します。

(←)を押すと「.」が入力できます。

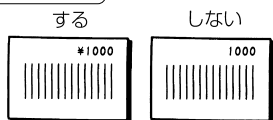
価格の位置



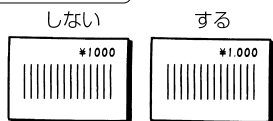
価格の大きさ



¥マーク



価格カンマ



10

コードフリー入力

なし あり



手順9で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「なし」を選んだときは、この画面は表示されません。

(←)(→)を押してコードフリー入力するかしないかを選び、(登録)を押します。

11

価格の印字位置

上 下



(←)(→)を押して価格の位置を選び、(登録)を押します。

12

価格文字の大きさ

標準 拡大



日付「あり」に設定したときやプリセット発行時は、ラベルサイズによっては、拡大印字できません。

(←)(→)を押して価格の大きさを選び、(登録)を押します。

13

¥マークの付加

する しない



(←)(→)を押して「¥」をつけるかつけないかを選び、(登録)を押します。

14

価格カンマの付加

しない する



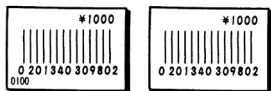
(←)(→)を押して価格にカンマ(,)をつけるかつけないかを選び、(登録)を押します。

■カーソル

画面上の文字に重なった■を「カーソル」と呼びます。カーソルは「なし あり」などといった選択肢の画面で表示されます。(←)(→)を押して、選びたい方にカーソルを合わせます。

プリセットNo印字

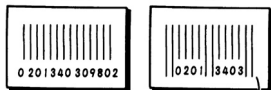
する しない



■プリセット番号→「第4章 データの登録と呼出し」

ガードバー

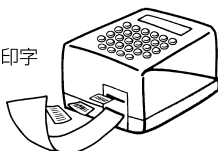
普通 長い



ガードバー

発行

連続印字

はくり
剥離印字

リアルタイム印字

発行毎にカレンダー印字の更新をします。
(発行時のカレンダーに従って、カレンダー印字を行います。)

参考 ラベルを発行する際は(発行/停止)を押します。

都度発行機能

(発行/停止)を押す毎に、ラベルを1枚印字します。

15

プリセット No 印字

する しない



← →を押してプリセット番号を印字するかどうかを選び、(登録)を押します。

参考 プリセットデータの確認をするときは「する」を選びます。

16

ガードバー長さ

普通 長い



← →を押してガードバーを長く印字するかしないかを選び、(登録)を押します。

17

発行形態

連続 剥離



← →を押して印字方法を選び、(登録)を押します。

- 連続……必要な枚数のラベルを、連続して印字することができます (連続印字)。
- 剥離……必要な枚数のラベルを、1枚ずつ印字することができます (剥離印字)。

参考 ラベルサイズが25mm、35mm、38mmのときに、剥離印字ができます。

18

リアルタイム印字

ON OFF



参考 手順17で「剥離」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「連続」を選んだときは、この画面は表示されません。(手順20参照)

← →を押してリアルタイム印字をするかどうかを選び、(登録)を押します。

19

都度発行機能

あり なし



参考 手順18で「OFF」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「ON」を選んだときは、この画面は表示されません。

← →を押して都度発行をするかどうかを選び、(登録)を押します。

こんなときは

■ひとつ前の画面にもどるには…(前画面)を押します。

■はじめてからやりなおすには…(設定)を押します。

チェックラベル

あり



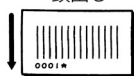
なし



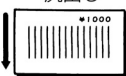
「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用出来ます。→「第8章 故障かな? と思ったら」

印字方向

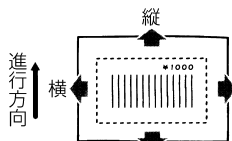
頭出し



尻出し



印字位置調整



20

チェックラベル

あり なし



手順17で「連続」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「剥離はくり」を選んだときは、この画面は表示されません。

← → を押してチェックラベルを印字するかどうかを選び、登録を押します。

21

印字方向

頭出し 尻出し



← → を押して印字方向を選び、登録を押します。

22

印字位置調整

数

縦 [↓00] ドット

横 [→00] ドット



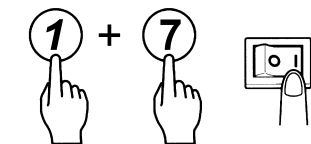
シフトを押して、縦方向(↓↑)／横方向(→←)を切り換えます。

↑ ↓ を押して、縦方向／横方向それぞれの印字位置を選び、登録を押します。

価格総額表示を設定する

第3章

価格総額表示を設定する



重要 00.0%に設定した場合は、消費税運用なしとなり“価格税込み印字”以外の設定は全て無効となり計算及び印字はされません。

プリンタに入力する価格やバーコード内にコピーされる価格（NON-PLU時）を『税抜き』にするか『税込み』にするかを決めます。
これらの設定をするときは、電源を切ってから行います。

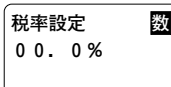
1

電源を切ります。

2

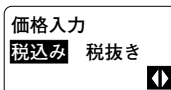
①と⑦を押しながら、電源スイッチをONにします。

3



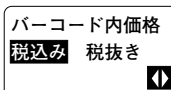
税率を00.0～99.9間で入力し、**登録**を押します。

4



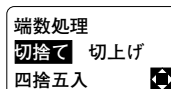
←→を押して価格入力方法を選び、**登録**を押します。

5



←→を押してバーコード内価格入力方法を選び、**登録**を押します。

6



↑↓←→を押して消費税の端数処理を選び、**登録**を押します。



“なし”の場合：¥1,980
 “前”の場合：税込¥1,980
 “後”の場合：¥1,980税込



「なし」および税率00.0%以外を選んだ場合、日付印字はできません。



価格総額設定の変更は手順9で「はい」を選んだ場合のみ有効です。



印字する条件は、設定を変更しなかった場合と手順9で「はい」を選び、設定変更されている場合に限りです。

7

価格税込み印字

なし 前 後



← → を押して価格前後の印字をするか、前か後かを選び、登録を押します。

8

総額表示テーブル

なし

(税込)



↑ ↓ を押して総額表示テーブルを選び、登録を押します。

「なし」⇒「(税込)」⇒「本体」⇒「消費税」⇒「本体＋消費税」の順に選べます。

9

設定変更しますか

いいえ はい



← → を押して設定変更するかどうかを選び、登録を押します。

10

設定変更印字

しない する



← → を押して設定内容を印字するかどうかを選び、登録を押します。

「する」を選んだ場合、設定内容を印字します。



メモリクリアをした場合、価格総額表示設定は初期値に戻ります。



価格総額表示の設定は、フォーマット毎に設定できません。また、オンライン発行は、未対応になります。

税込み価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について

価格入力を“税込み”で行い“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

例) 消費税率を5%設定時に、税込みで50000円を入力した場合
(指定: 端数処理は切捨て)

- ① 税込み価格として50000円を入力し、消費税と本体価格を求めます。
税込み価格 $\times 100 / (100 + \text{消費税率}) \times (\text{消費税率} / 100)$
 $50000 \times (100 / 105) \times 0.05 = 2380.95\cdots$

消費税は $\Rightarrow 2380$ 円
 $50000 - 2380 = 47620$
本体価格は $\Rightarrow 47620$ 円



- ② ①の計算で求められた本体価格47620円から税込み価格を再計算してみます。

本体価格 $\times (\text{消費税率} / 100)$
 $47620 \times 5 / 100 = 2381$
消費税は $\Rightarrow 2381$ 円
 $47620 + 2381 = 50001$
税込み価格は $\Rightarrow 50001$ 円

以上のように、①で入力した税込み価格と②で算出した税込み価格に誤差が生じます。

税込み固定印字設定について

価格総額表示設定メニュー内の“価格税込み印字”では、“税込”印字位置の設定を「なし」「前」「後」にすることができます。

- ①「なし」の場合: ¥1000
②「前」の場合: 税込¥1000
③「後」の場合: ¥1000税込



“税込”印字は定位置になります。



“税込”印字設定されている場合の価格拡大設定は無効になります。

任意税率設定について

価格総額表示設定メニュー内の“税率設定”では、“00.0%～99.9%”の範囲で税率の設定ができます。また、税率を“00.0%”に設定した場合、“価格税込み印字”以外の設定は全て無効となり計算及び印字はされません。

初期値の税率は00.0%になります。

入力価格の計算について

消費税の計算方法

消費税率5.0%の設定での例を下記に説明します。

(例1) 税抜価格110円で入力し、消費税と総額を求める場合

$$110\text{円 (本体価格)} \times 0.05 \text{ (消費税率)} = 5.5\text{円 (消費税)}$$

| 項 目 方 法 | 消費税 | 税込価格(総額) |
|------------|-----|----------|
| 切捨て | 5円 | 115円 |
| 切上げ | 6円 | 116円 |
| 四捨五入 | 6円 | 116円 |

(例2) 税込価格1618円で入力し、消費税と本体価格を求める場合

$$1618\text{円 (本体価格)} \times 100 \div (100 + 5 \text{ (消費税率)}) \times 0.05 = 77.0476 \dots \text{円 (消費税)}$$

| 項 目 方 法 | 消費税 | 税抜価格(本体価格) |
|------------|-----|------------|
| 切捨て | 77円 | 1541円 |
| 切上げ | 78円 | 1540円 |
| 四捨五入 | 77円 | 1541円 |

重要

- 求められた消費税の小数点第3位まで計算対象とします。

例：消費税10.001円を「切上げ」した場合は、11円となります。

ただし、「切捨て」、「四捨五入」は小数点第1位を計算対象とします。

- 価格入力を“税込み”で行い“本体価格”及び“税価格”を計算して求める場合に関して、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合があります。注意してください。

価格総額表示設定に於ける価格入力項目の表示について

<設定：デフォルト>（税率00.0%設定の場合）

| | |
|------|---|
| 【価格】 | 数 |
| ¥ | |

<設定：税抜き>

| | |
|---------|---|
| 【税抜き価格】 | 数 |
| ¥ | |

<設定：税込み>

| | |
|---------|---|
| 【税込み価格】 | 数 |
| ¥ | |

印字内容について

対応用紙サイズは、P16×W32mm、P20×W32mm、P25.4×W32mm、P35×W32mm、P38×W32mmです。対応フォーマットNo.は、01、02、03、04、07、08、11、12、13、14、21、22、31、32、33、34、35、36、38、39、41、42、43、45、55です。また、フォーマットNo.20は、P25.4×W32mmサイズラベルに関して総額表示印字対応します。ただし、フォーマットNo.41、42、45、55及びP20サイズラベルに関しては、“税込”印字のみ対応します。総額表示印字対応は行ないません。

<印字レイアウト例1>

ラベルサイズ P25.4mm×W32mm バー天地：7mm

| | |
|---|----------|
| アイウエオ | |
|  | |
| 1 234567 890128 | |
| 123税込 | ¥105,000 |
| (本体¥100000消費税¥5000) | |

- ①価格税込み印字
- ②総額表示印字

<内容>

| | |
|----------|-----|
| 品 | 名 |
| JANコード | |
| コード | 価 格 |
| 総額表示テーブル | |

①価格税込み印字

総額表示メニューの設定に従い、価格の前又は後ろに“税込”を印字します。

<印字サイズ>

価格印字サイズ：価格文字（16×24ドット）

税込印字サイズ：漢字（16×16ドット）

②総額表示印字

総額表示メニューの総額表示テーブルで設定された表示方法にて印字します。

<印字サイズ>

総額表示価格サイズ：×2文字（8×20ドット）

総額表示テーブル漢字サイズ：漢字（16×16ドット）

<価格印字位置>

総額表示の価格印字は左寄せとなります。

例：（本体¥1000 消費税¥50）

重要

- 総額表示テーブル内の価格は総額表示用漢字に対して左寄せになります。
- 価格総額表示設定メニュー内の“税込印字”で「なし」を選択した場合、バー天地は11mmになります。それ以外は、7mmです。

価格総額表示設定内容の印字について

<設定内容>

税率設定 : 00.0%
価格入力 : 税込み
バーコード内価格: 税込み
端数処理 : 切捨て
価格税込み印字 : なし
総額表示テーブル: なし



<印字内容>

税率設定 : 00.0%
価格入力 : 税抜き
バーコード内価格: 税込み
端数処理 : 切捨て
価格税込み印字 : なし
総額表示テーブル: なし
日付 : 2003/11/12
ROM-VER : 1Jxxxx



- 本印字は、ラベルピッチを無視した印字になります。P35×W32mmのラベルを使用してください。
また、P35未満のラベルピッチを使用した場合は、ラベルサイズを無視して次のラベルに印字します。
- プリンタ本体の日付を印字しますので、印字を行う前に必ずカレンダーの設定を行ってください。

価格総額表示に関するエラーについて

価格総額表示仕様では、入力された価格に対して価格総額表示設定に基づいた結果を印字する仕様になっています。本仕様によって矛盾が生じた場合、エラーとしています。

【価格入力時のエラー】

- 例えば本体価格フィールドの入力桁指定を4桁と指定し、価格入力で9900円と入力した場合、総額は10395円（税率5%時）になり、桁上がりします。この場合、ブザーが鳴動し再入力になります。
また、端数処理で「切上げ」、「四捨五入」を設定した場合に於ける桁上がりも同様になります。

価格総額表示設定確認メッセージについて

ACクリア実行や、価格総額表示設定メニュー変更後、正常終了しなかった場合に警告メッセージが表示され、再設定するまで電源投入毎に表示されます。

<メッセージ>

価格総額表示設定
を再設定してくだ
さい

【価格総額表示設定確認メッセージ表示条件】

- ACクリアを実行した時
- 価格総額表示に不定値が確認された時
- 価格総額表示設定メニューを変更し、正常終了しなかった時



- 本メッセージは、価格総額表示設定の再確認を促すものであり、電源起動時に前回の設定と現在の設定内容と比較し、相違チェックするものではありません。
- ファームウェア入替え時や内部設定を変更された際は、必ず価格総額表示設定の内容を確認してください。

データを入力する

ラベルに印字する内容を入力します。

まず、フォーマット番号を入力します。フォーマット番号によって、バーコードの内容や桁数が変わってきますので、作りたいバーコードのフォーマットを一覧表で確認してください。（→「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」）

●ここでは、下のような内容を入力します。

レイアウトパターン：フォーマット番号34

①アイテムデータ：12345

②部門データ：550

③価格：980



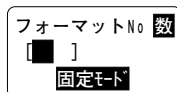
ラベルのサイズを変えたい、価格の印字サイズを大きくしたいなどといった変更があるときは、初期設定から始めます。



1

「設定」を押します。

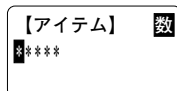
2



フォーマット番号「34」を入力し、「登録」を押します。

次からはバーコードデータを入力する画面です（手順3～5）。データ入力の画面は手順2で選んだフォーマット番号によって異なります。正しい桁数（*の数分）を入力してください。正しい桁数が入力されていないと、次の画面に進めません。

3



アイテムを入力し、「登録」を押します。

■レイアウトパターン

印字するラベルのサイズ・バーコードのデータの桁数・「PLU」または「NON-PLU」などがあらかじめ設定されています。お使いになるバーコードの種類に合わせて、フォーマット番号を選びます。

■初期設定→「第3章 ラベルのスタイルを決める」



「初期設定」で「連続印字」と設定したときだけ、手順6の画面が表示されます。
「剥離印字」と設定してあるときは、印字がはじまります。

4

コード（部門データ）を入力し、**登録**を押します。

5

価格を入力して、**登録**を押します。

6

発行する枚数を入力し、**登録**を押します。



ラベルが印字されます。

連続印字のとき

指定した枚数分ラベルが印字されます。

初期設定で「チェックラベル あり」としたときは、最後のラベルが印字されたあとにチェックラベルが印字されます。

剥離印字のとき

初期設定で「リアルタイム印字 OFF」、「都度発行機能 なし」としたときは、印字されたラベルをはがすと、次のラベルが印字されます。

初期設定で「リアルタイム印字 ON」又は「リアルタイム印字 OFF」、「都度発行機能 あり」としたときは、最初に印字されたラベルをはがし、2枚目からは**発行/停止**を押す毎にラベルが印字されます。



ラベルの印字を終了させるときは、**設定**を押します。

データの修正のしかた

- 1文字ずつ修正するときは、修正したい文字にカーソルを合わせ、新たに数字を入力します。

- 画面に表示されている数字をすべて変更したいときは、**AC**を押します。数字がすべて消えますので、新しく数字を入力します。

印字するときに便利な機能

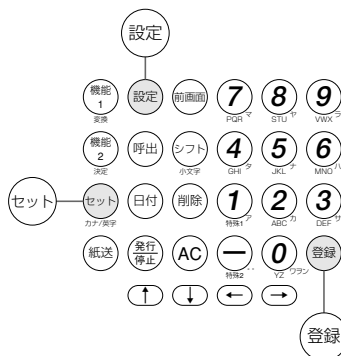
データ固定機能

変更しない印字データを固定させ、変更する部分だけを入力することができます。固定したデータは、次に印字データを入力するときにそのまま表示されます。いくつか同じようなラベルを印字するとき、一部分のみの印字データだけが異なる、というときに便利です。

固定したデータは、電源を切っても消去されません。

●固定できるデータは、バーコードデータ・部門データコード、アイテムコード、フラグのみです。

重要 データ固定は、同じフォーマット番号においてのみ有効です。例えばフォーマット番号34のフォーマットで固定した印字データは、フォーマット番号11のフォーマットのときは無効となります。



1 **設定**を押します。

2 フォーマットNo **数**
[]
固定モード

フォーマット番号を入力し、**登録**を押します。

次からはバーコードデータを入力する画面です。データ入力の画面はフォーマット番号によって異なります。

3 { JAN 8 } **数**
*****C

固定したい部分を入力します。

{ JAN 8 } **数**
01234*****C
↑ この部分を固定します

セットを押します。

ブザーが鳴り、入力したデータが記憶されます。

4 引き続き、データを入力します。

{ JAN 8 } **数**
01234*****C
↑ この部分は毎回変更するデータ

5 **登録**を押します。

次のデータが入力できます。必要に応じて手順3～4を繰り返してデータを固定しながら、データを入力していき、ラベルを印字します。

- 参考**
- 固定したデータを解除するときは、固定したデータが表示されているときに**設定**を押します。
 - **AC**を押して、表示されている入力データを全て削除しても、固定データだけは削除されません。
 - 指定桁数を全桁データ固定すると、次回のデータ入力時には表示されません。
 - プリセット登録時には、データ固定機能は使用出来ません。

印字を途中で停止する

バーコードが印字されている途中で、一時的に印字を停止することができます。
また、印字を再開することもできます。



1

【発行中】

0009/0010枚

停止キーで中断

ラベルが印字されているとき、**発行/停止**を押します。



一時的に印字が停止します。

2

【停止中】

残り枚数:0009枚

発行キーで再開

もう一度**発行/停止**を押すと、印字が再開されます。



一時停止中に**設定**を押すと、印字が完全に中止され、1つ前の画面に戻ります。

第4章

データの登録と 呼出し

フォーマット番号と印字内容を登録しておくことができます。登録しておけば、いつでも呼び出してラベルを印字することができます。

プリセット機能とは

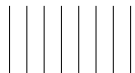
登録

| | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 品名 バーコード 価格 | 品名 バーコード 価格 | 品名 バーコード 価格 | 品名 バーコード 価格 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|

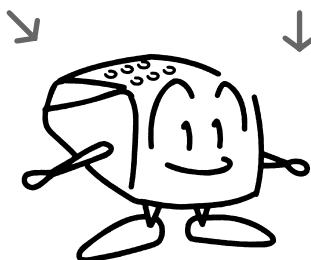
ラベルのフォーマットを、1種類決めます。

| | |
|------|-----------|
| 0010 | 0001~9999 |
|------|-----------|

プリセット番号（登録番号）を決めます。

| ジャガイモ  02xxxxxx ￥120 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>価格</th> <th>バーコードデータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャガイモ</td> <td>￥120</td> <td>02xxxxxx</td> </tr> <tr> <td>白菜</td> <td>￥250</td> <td>20xxxxxx</td> </tr> <tr> <td>大根</td> <td>￥340</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>⋮</td> <td>⋮</td> <td>⋮</td> </tr> <tr> <td>リンゴ</td> <td>￥520</td> <td>xxxxxxC</td> </tr> </tbody> </table> | 品名 | 価格 | バーコードデータ | ジャガイモ | ￥120 | 02xxxxxx | 白菜 | ￥250 | 20xxxxxx | 大根 | ￥340 | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | リンゴ | ￥520 | xxxxxxC |
|--|--|----------|----|----------|-------|------|----------|----|------|----------|----|------|---|---|---|---|-----|------|---------|
| 品名 | 価格 | バーコードデータ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ジャガイモ | ￥120 | 02xxxxxx | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 白菜 | ￥250 | 20xxxxxx | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大根 | ￥340 | ⋮ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リンゴ | ￥520 | xxxxxxC | | | | | | | | | | | | | | | | | |

フォーマットに合わせて、品名や価格、バーコードデータを入力後、**登録**を押します。



呼び出し・印字

| | |
|------------------|---|
| 発行プリセットNo | 数 |
| [■] | |
| 2001/01/01 12:00 | |

プリセット番号を入力します。

| | |
|-------|---|
| 【品名】 | 加 |
| 高原野菜■ | |

登録された内容を確認します。



発行する枚数を入力し、**登録**を押します。

プリセットデータとは

ラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。データを登録しておけば、いつでも呼び出してラベルに印字することができるので、入力の手間が省けます。また、登録することにより、商品の種類ごとにデータを管理することもできます。

どこに登録しますか？

本体の中に登録させておく



- フォーマット番号
- バーコードデータ
- 価格 ●品名

2500件のデータを登録
しておくことができます

PCカードに登録させておく



- フォーマット番号
- バーコードデータ
- 価格 ●品名

（256kb以上のカードが使用できます。
カードの容量を大きくしても登録件数は
変わりません。）

2500件のデータを登録
しておくことができます

重要 プリセットデータを登録する場所は、初期設定（フォーマット00）で選んでください。（出荷時は本体）

フォーマット番号と印字データを入力する→登録する

●登録できるのは、25mm、35mmサイズに対応したフォーマット番号だけです。
「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」をご覧ください。

●登録できる印字データ

- バーコードデータ
- コード
- 価格
- 品名

プリセット番号をつけます

データを分かりやすく管理するために、
それぞれのデータに名前（プリセット番
号）をつけておきます。プリセット番号
は1～9999間の番号でつけます。

登録したデータを呼び出すとき、は登録
したときにつけたプリセット番号を入力
します。

呼び出す→印字する

●必要に応じて、価格、品名を変更することができます。

重要 プリセットの呼び出しを行うまえに、プリセットデータの登録先（本体／カード）を初期設定（フォーマット00）で確認してください。

データを登録する

登録できるデータは、バーコードデータ・価格などの印字データと品名です。
ラベル全体のスタイル（初期設定）は登録の対象となりません。

重要 登録できるのは25mm、35mmサイズのラベルだけです。「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」をご覧ください。25mm、35mmに対応したフォーマット番号を確認してください。

■操作の流れ

フォーマット番号を入力する → プリセットNo (登録番号)を入力する →
印字データを入力する → 登録OK

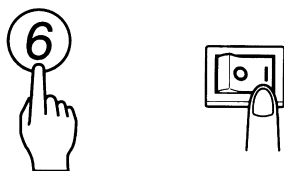
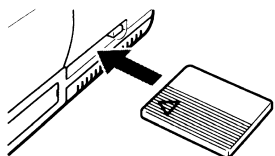
PCカードを使うときは

本体にデータを登録するときは、次のページの「登録できる状態にする」に進んでください。

■PCカードをクリアする

PCカードを購入後、はじめてデータを登録するときは、必ず「カードクリア」の処理をしま

重要 •すでに登録されているPCカードをクリアすると、登録されているデータはすべて消去されます。
必要のないときは、PCカードのクリアはしないでください。



1

電源を切ります。

2

PCカードをセットします。

左図のように、PCカードの「△」がある面を上にして、本体右側のカードスロットに差し込みます。

3

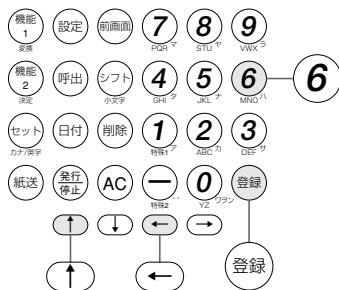
⑥を押しながら電源を入れます。

4

【カードクリア】

(1/1)

登録を押します。



5

カードの種類

登録用

バックアップ



↑ を押して「登録用」にカーソルを合わせ、登録を押します。

6

カードクリアOK?

はい

いいえ



← を押して「はい」にカーソルを合わせ、登録を押します。



操作を中止するときは、「いいえ」にカーソルを合わせ登録を押します。手順4の画面に戻ります。



カードクリア中

カードクリアが終了すると、ブザー音になり、手順4のはじめの画面に戻ります。
操作を終了するときは電源を切ってください。

■登録できる状態にする



重要

プリセットデータの登録先として、初期設定にて、「本体」または、「カード」を選択してください。
「第3章 ラベルのスタイルを決める（初期設定）」をご覧ください。

1

フォーマットNo 数

[]

固定モード

呼出を押します。

2

プリセット

発行

登録

変更

削除

ダンプ



→ キーを押します。

3

プリセット

発行

登録

変更

削除

ダンプ



登録を押します。

データを入力する

重要

25mm、35mmに対応したフォーマット番号のみが有効となります。



すでに使われているプリセット番号を入力すると、エラーが表示されます。

第4章

データを登録する

4

登録フォーマット No **数**
[■]

登録するデータのフォーマット番号を入力します。

登録を押します。

5

登録プリセット No **数**
[■]
コピーNo []

プリセット番号を入力します。

プリセット番号は、4桁以内で入力してください。

登録を押します。

6

バーコードデータを入力します。

「第3章 データを入力する」をご覧ください。バーコードデータを入力してください。手順4で入力したフォーマット番号によって、入力するデータは異なります。

登録を押します。

7

【価格】 **数**
¥ ■■■■

価格を入力し、**登録**を押します。

8

【品名】 **か**
■

品名を入力します。

品名は、漢字・カタカナ・英数字のいずれかを使用して入れます。

登録を押します。

●引き続きデータを登録するときは、手順5からの操作を繰り返します。前に登録したプリセット番号の次の番号が表示されますので、その番号で登録するときはそのまま**登録**を押して操作を進めます。

●登録の操作が終わるときは、**設定**を押します。

●なお、漢字と半角のカタカナ、英数字を品名に混在することはできません。



入力方法は、「第1章 キーのはたらき」をご覧ください。

重要

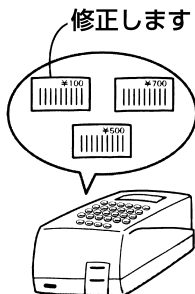
漢字・カタカナ・英文字・記号を入力することができるのは、プリセットデータの品名だけです。

登録したデータを変更するときは

一度登録したプリセットデータを変更することができます。

データを修正する

一度登録したプリセットデータの印字内容を修正することができます。



- ① **呼出**を押します。
- ② **→**を2回押します。

プリセット
発行 登録 **変更**
削除 ダンプ

- ③ **登録**を押します。

変更プリセットNo. **数**
[■]

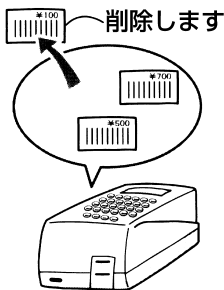
- ④ プリセットデータを修正する。
プリセット番号を入力して、**登録**を押します。

- ⑤ 入力データが表示されますので、必要に応じて修正します。
登録を押すと、次の項目が表示されます。必要な箇所を修正してください。修正が必要ないときは、そのまま**登録**を押します。

- すべての項目の修正が終了したら、引き続き別のプリセットデータを変更することができます。
別のプリセットデータを変更するときは、手順④からの操作を繰り返します。
- 操作を終えるときは、**設定**を押します。

データを消す

すでに登録してあるプリセットデータを削除します。



- ① **呼出**を押します。
- ② **→**を3回押します。又は**↓**を1回押します。

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

- ③ **登録**を押します。

削除プリセットNo. **数**
[■]

- ④ 削除するプリセット番号を入力して、**登録**を押します。

削除しますか？
はい **いいえ**

- ⑤ **←** **→** 押してカーソルを「はい」に合わせます。
削除しないときは「いいえ」を選びます。
- ⑥ **登録**を押します。

登録したデータを呼び出す

登録しておいたプリセットデータを呼び出して印字します。

- 重要**
- 必要に応じて、「初期設定」の変更を行います。
なお、初期設定のラベルサイズは「25mm」または「35mm」と設定してください。
 - 初期設定したサイズのラベルをセットしてください。

■操作の流れ

プリセット番号を入力する → 品名を確認する → *原産地名を確認する →
価格を確認する → *リサイクルマークを確認する → 印字OK

*の項目は用紙サイズ「35mm」
を設定した場合のみ有効となります。



参考 登録されていないプリセット番号を入力すると、「データが未登録です」と表示されます。

参考 初期設定で「あり」と設定したときだけ、手順6の画面が表示されます。「なし」と設定してあるときは、手順7が表示されます。

1

(設定) を押します。

2

フォーマットNo 数
[■]
固定モード

(呼出) を押します。

3

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

(登録) を押します。

4

発行プリセットNo 数
[■]

呼び出したいプリセット番号を入力します。

(登録) を押します。

5

【品名】 加
高原野菜・

品名が表示されます。確認して、(登録) を押します。

6

【原産地名】 数
【001】
愛知県産

原産地が表示されます。確認して、(登録) を押します。



「初期設定」で「あり」と設定したときだけ、手順8の画面が表示されます。「なし」と設定してあるときは、手順9が表示されます。



「初期設定」で「連続印字」と設定したときだけ、手順9の画面が表示されます。「剥離印字」と設定してあるときは、印字がはじまります。

7

| | |
|-------|---|
| 【価格】 | 数 |
| ¥20** | |

価格が表示されます。確認して、**登録**を押します。

8

| | |
|------------|---|
| 【リサイクルマーク】 | 数 |
| 【01】 | |
| ラ | ⬆ |

リサイクルマークが表示されます。確認して、**登録**を押します。

9

| | |
|------|---|
| 【枚数】 | 数 |
| *** | |

印字するラベルの枚数を入力し、**登録**を押します。

ラベルが印字されます。

連続印字のとき

指定した枚数分ラベルが印字されます。初期設定で「チェックラベル あり」としたときは、最後のラベルが印字されたあとにチェックラベルが印字されます。

10アイテム記憶発行について

「第5章 本機の環境を変える（ユーザーメンテナンスモード）」のモード設定で「モード2」を選択したときに使用することができます。

印字するラベルの枚数を入力後、**登録**の代わりに**セット**を押します。

01件登録しました

手順4から9の操作を繰り返し、最大10アイテムまで登録することができます。

手順4で **発行/停止** を押すと、記憶したアイテムを一括して発行することができます。

はくり

剥離印字のとき

初期設定で「リアルタイム印字 OFF」、「都度発行機能 なし」としたときは、印字されたラベルをはがすと、次のラベルが印字されます。

初期設定で「リアルタイム印字 ON」又は「リアルタイム印字 OFF」、「都度発行機能 あり」としたときは、最初に印字されたラベルをはがし、2枚目からは **発行/停止** を押す毎にラベルが印字されます。

登録したデータを印字して確認する

登録したプリセットデータの一部または全てをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

ダンプ発行を行うときは、あらかじめ初期設定で以下の設定を行ってください。

- ラベルサイズ：「25mm」または「35mm」
- 印字方法：「連続印字」

■操作の流れ

フォーマット番号を入力する → プリセットデータを指定する →
印字範囲を指定する → 印字OK



PCカードに登録されているデータをダンプ発行するときは、PCカードをセットしておきます。

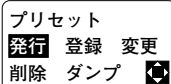
→「第5章 PCカードを使う」



1

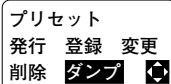
呼出を押します。

2



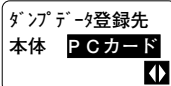
→ を4回押します。又は ↓ を1回、→ を1回押します。

3



登録を押します。

4



ダンプ発行するプリセットの登録先を ← → で選択します。

- プリンタ本体に登録されているデータのときは「本体」を選びます。
- PCカードに登録されているデータのときは「PCカード」を選びます。

登録を押します。

5



登録されているデータをすべて
ダンプ発行したいときは、「※
*・・」の状態のまま(登録)を押
します。ダンプ発行が開始され
ます。

ダンプデータNo 数
[※*・・]

ダンプするデータの範囲を指定します。

プリセットNoの先頭を1桁または、2桁で指定します。そ
の番号に該当するプリセットデータが検索され、印字され
ます。

(登録)を押します。

ダンプデータ 発行中

停止キーで中断

指定した範囲のプリセットデータが一枚ずつ印字されます。



ラベルの印字を終了させるときは、(設定)を押しま
す。

プリセット番号の部分指定について

プリセット番号は、0001～9999までの間でつけることができます。

例えば、0001～0099…野菜
0100～0199…乾物
0200～0299…菓子
1000～1999…冷凍食品

というように、データを種類ごとに分けて管理している場合、手順5で「02・・」と
入力すると、0200～0299の範囲のプリセットデータがダンプ発行されます。

[※*・・]
↑ ↑
100番台の指定
1000番台の指定

00指定時：00～99までのデータを検索して発行します。

第5章

オプション機能を使う

この章では、印字速度や印字濃度の変えかたなどを説明しています。

また、オプション機器の使いかたなども紹介していますので、本機のさらなる活用にお役立てください。

本機の環境を変える (ユーザーメンテナンスモード)

印字濃度や印字速度を変更したり、電源の切り忘れを防止するなど、本機の基本的な環境を変更することができます。

これらの設定をするときは、電源を切ってから行います。

【設定できる項目】

- 印字濃度
 - 印字速度 (電源ユニット使用時のみ有効)
 - オートパワーオフ (電源の切り忘れ防止)
 - 起動画面
 - 通信条件 (通信速度・パリティ・エラー通知)
 - フォーマット固定
 - カレンダー設定
 - カレンダー時変更の設定
 - ヘッドチェックの設定 (あり／なし、標準／バーコード)
 - キー入力音の設定
 - モード設定
 - 通信種別
 - LCD節電設定
- 目的の設定項目が表示されるまで、**(登録)**を押して画面を進めてください。
- **(設定)**を押すと、はじめの画面に戻ります。

第5章

本機の環境を変える



印字濃度を変更する

重要

印字濃度を一番濃く (濃度=5) しての、長時間の発行は行わないでください。(ヘッドの温度が異常に高くなることがあります。)

印字速度を変更する



バッテリーを使用している場合は、手順4の画面は表示されません。

オートパワーオフ

オートパワーオフを設定すると、5分間なにもキーを押さない状態が続くと自動的に電源が切れます。バッテリーを使うときは、バッテリーの消耗を防ぐため、オートパワーオフを「はい」に設定することをおすすめします。

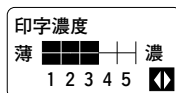
1

電源を切ります。

2

(3) を押しながら電源を入れます。

3

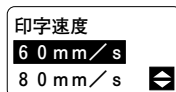


(←) (→) を押して、印字濃度を決めます。

左にいくほど薄く、右にいくほど濃くなります。

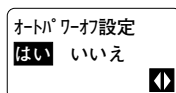
(登録) を押します。

4



(↑) (↓) を押して印字速度を選び、**(登録)** を押します。

5



(←) (→) を押して、オートパワーオフにするかしないかを選び、**(登録)** を押します。

起動画面を変更する

電源を入れた直後の画面を選ぶことができます。よく使う機能の初期画面を選んでください。

● マニュアル

通常のバーコード印字入力画面が表示されます。

● オンライン

オンライン受信の画面が表示されます。

通信速度設定

パソコンとシリアルインタフェースで通信するときに設定します。パソコン側の設定と合わせます。

パリティ設定

パソコンとシリアルインタフェースで通信するときに設定します。

発行通知

パソコンと通信するときに設定します。「あり」を選ぶと、エラー符号と1枚完了符号を送信します。

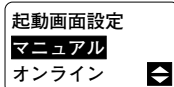


「第7章 プロトコル手順」を参照

フォーマット固定

常に使用するフォーマットだけ残して、他のフォーマットは使用できないようにすることができます。フォーマットを固定することによって、間違ったラベルを発行するなどという誤操作が防げます。

6



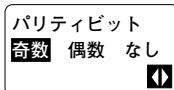
↑ ↓ を押して起動画面を選び、登録を押します。

7



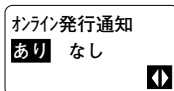
↑ ↓ ← → を押して通信速度を選び、登録を押します。

8



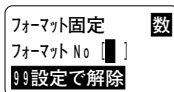
← → を押してパリティを選び、登録を押します。

9



← → を押して発行通知を送るかどうかを選び、登録を押します。

10



固定したいフォーマット番号を入力し、登録を押します。

- 何種類か固定するときは、繰り返しフォーマット番号を入力し、登録を押します。
- 「99」を入力するとフォーマット固定が解除され、すべてのフォーマットが選べるようになります。

次の画面に進むときは、[] の状態で登録を押します。

カレンダー設定

本機内蔵のカレンダー（日時）を直したいときに設定します。



3段目は和暦表示です。和暦の設定は年のみ設定可能です。カレンダー設定は「**日付**」を押しながら電源をONにしても行うことができます。

カレンダー一時変更

フォーマットNo/発行プリセットNo入力画面で、「**日付**」を押すとカレンダーを一時的に変更する事が可能です。その一時的に変更した内容が有効となる範囲を選択します。



「第1章 キーのはたらき カレンダーを一時変更する」でカレンダー一時変更方法を説明しています。

ヘッドチェック設定

ヘッド異常検出を行うかどうかを設定できます。

- **あり**
ヘッド異常となったとき、エラーメッセージを表示し、発行を停止します。
- **なし**
ヘッド異常検出を行いません

ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定できます。

- **標準**
印字領域のヘッドチェックを行います。
- **バーコード**
バーコード印字領域のみヘッドチェックを行います。



- 手順13で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「なし」を選んだときは、この画面は表示されません。
- 「第5章 標準ヘッドチェックとバーコードヘッドチェックについて」でヘッドチェックを行う範囲を説明しています。

11

カレンダー設定 **数**
2001/01/01 12:00
13/01/01

カレンダー（日時）を直すときは、「年」「月」「日」「時間」「分」の順に数字を入力し、「**登録**」を押します。

12

カレンダー一時変更
電源を切るまで
1 アイテムのみ **▶**

↑ ↓ を押して、カレンダー一時変更の有効範囲を電源を切るまでか1アイテムのみかを選び、「**登録**」を押します。

13

ヘッドチェック
あり なし **▶**

← → を押して、ヘッドチェックを行うかどうかを選び、「**登録**」を押します。

14

ヘッドチェック
標準 バーコード **▶**

← → を押して、ヘッドチェックを行う範囲を選び、「**登録**」を押します。

重要

ヘッドチェック機能について
ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。また、ヘッドに付着したゴミ等による印字の白抜けはチェックされません。）
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って確認してください。

キー入力音

キーを押したときに鳴る「ピッ」という音を、鳴らさないようにすることができます。

モード設定

ラベル発行時に10アイテム記憶発行を行うかどうかを設定できます。



「第4章 登録したデータを呼び出す 連続印字のとき」で10アイテム記憶発行を説明しています。

通信種別設定

パソコンと通信するインタフェースを設定します。パソコン側の設定と合わせます。

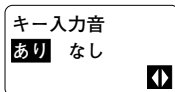


「第5章 無線LANインタフェースを設定する」または「第5章 Bluetoothインタフェースを設定する」で使用するインタフェース設定方法を説明しています。

LCD節電設定

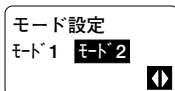
LCD節電時間を設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的にLCDのバックライトをオフします。プリンタを節電するために節電時間を設定することをおすすめします。

15



← → を押して、キー入力音を鳴らすか鳴らさないかを選び、登録を押します。

16



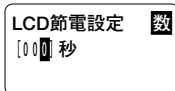
← → を押して、10アイテム記憶発行を行うか行わないかを選び、登録を押します。

17



↑ ↓ ← → を押して、通信種別を選び、登録を押します。

18



LCDの節電時間（秒）を入力し、登録を押します。

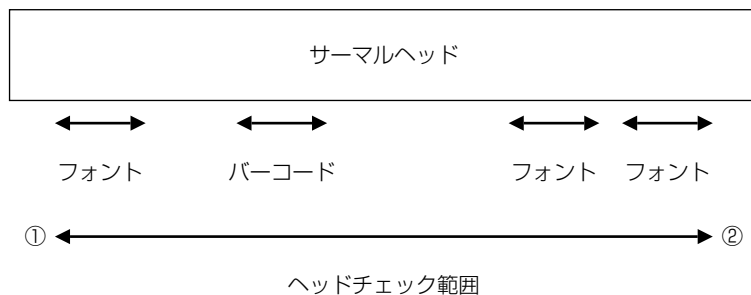
- LCDの節電時間（000～999）を入力し、登録を押します。
- 「000」を入力すると、LCDの節電は行いません。

設定が終了したら、電源を切ってください。

標準ヘッドチェックとバーコードヘッドチェックについて

標準ヘッドチェック

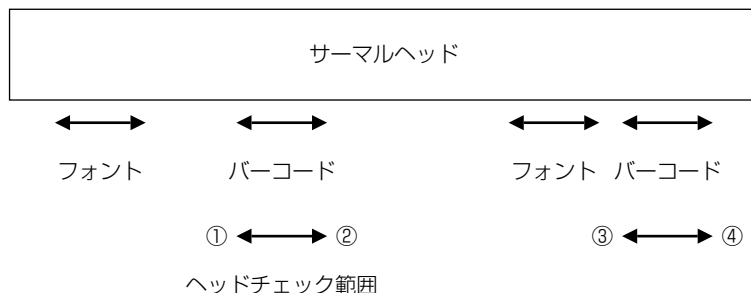
標準ヘッドチェックは、印字内容に関係なく（フォント、バーコードなど）最小の横印字位置と最大の横印字位置の範囲において、無条件にヘッドチェックを行います。



印字内容に関係なく最小の横印字位置（①）から最大の横印字位置（②）の範囲を無条件にヘッドチェックします。

バーコードヘッドチェック

バーコードヘッドチェックは、バーコードが印字されている範囲のみヘッドチェックを行います。

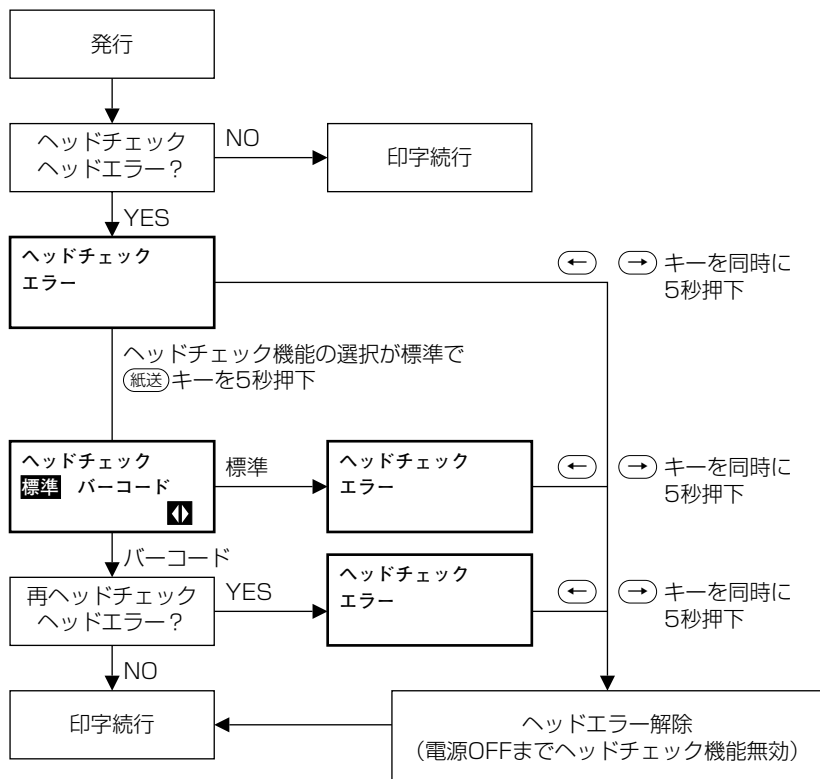


バーコードが印字されている範囲（①から②と③から④の範囲）のみをヘッドチェックします。

ヘッドエラー時の処理について

標準のヘッドチェック機能選択時にヘッドエラーが発生した場合、ヘッドチェック機能をバーコードヘッドチェック機能に切替えることができます。バーコードヘッドチェック機能に切替えた場合、再度バーコードの印字範囲のみヘッドチェックを行います。バーコードの印字範囲にヘッド断線がない場合、印字を続行します。

■動作処理フロー



標準のヘッドチェック機能選択時のみ、(紙送)キーを5秒押下することによりバーコードヘッドチェック機能に切替え可能となります。その際、設定した値は保持され、ユーザメンテナンスモードで設定した値も変化します。

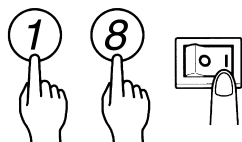


ヘッドチェックエラーに、← → キーを5秒押下することによりヘッドエラーを解除します。ただし、ヘッドチェック機能を無効にして印字を行った場合、バーコードが正常に読み取れない事がありますので、十分注意してください。

無線LANインタフェースを設定する

IPアドレスやサブネットマスクなど、本機の無線LANインタフェース（オプション）の設定をすることができます。

これらの設定をするときは、電源を切ってから行います。



ネットワークの設定をする

ネットワークの設定をする場合の操作方法は、次のページの「ネットワーク設定するときは」を参照してください。

無線LANの設定をする

無線LANの設定をする場合の操作方法は、85ページの「無線LAN設定するときは」を参照してください。

FTPの設定をする

FTPの設定をする場合の操作方法は、88ページの「FTP設定するときは」を参照してください。

無線LANインタフェースの設定を保存する

「ネットワーク設定」、「無線LAN設定」、「FTP設定」で設定した内容を保存します。

無線LANインタフェースの設定を印字する

現在の無線LANインタフェースの設定を印字します。

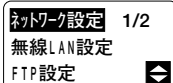
1

電源を切ります。

2

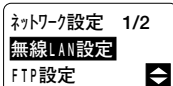
①と⑧を押しながら電源を入れます。

3



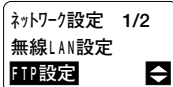
登録を押します。

4



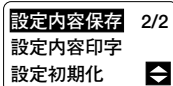
↓を1回押して、登録を押します。

5



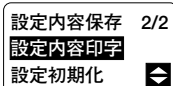
↓を2回押して、登録を押します。

6



↓を3回押して、登録を押します。

7



↓を4回押して、登録を押します。

無線LANインタフェースの 設定を初期化する

現在の無線LANインタフェースの設定を初期化します。

重要 はじめて無線LANインタフェースを使用するときは必ず「設定初期化」を行ってから無線LANインタフェースの設定をしてください。

8

設定内容保存 2/2
設定内容印字
設定初期化

↓ を5回押して、登録を押します。



設定初期化します
いいえ はい

← → を押して設定を初期化するかを選び、登録を押します。

ネットワーク設定するときは

- マニュアル：
IPアドレスを手動で設定します。
- DHCP：
IPアドレスがDHCPにより自動で割り振られます。

参考 WEB設定機能により、「2:BOOTP」、「3:Auto-IP」を設定することができます。
ただし、この画面では設定できません。

参考 手順2で「0:マニュアル」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「1:DHCP」を選んだときは、この画面は表示されません。

参考 手順2で「0:マニュアル」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「1:DHCP」を選んだときは、この画面は表示されません。

参考 手順2で「0:マニュアル」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「1:DHCP」を選んだときは、この画面は表示されません。

1

82ページ手順3のときに、登録を押します。

2

IP解決方法
0:マニュアル
1:DHCP

↑ ↓ を押して、IP解決方法を選び、登録を押します。

3

自IPアドレス
192.168.1.1

IPアドレスを入力し、登録を押します。

4

サブネットマスク
255.255.255.0

サブネットマスクを入力し、登録を押します。

5

ゲートウェイアドレス
0.0.0.0

ゲートウェイアドレスを入力し、登録を押します。

接続したSocketポートに設定した時間アクセスがないと、切断します。

無線LANインタフェースのMACアドレスを表示します

無線LANインタフェースのファームウェアバージョンを表示します

無線LANインタフェースのファームウェアの日付を表示します



ネットワーク設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

6

Socketポート番号 数

1024

Socket接続するポート番号（4桁）を入力し、**登録**を押します。

7

Socket接続 数

タイムアウト時間（秒）

600

Socket接続のタイムアウト時間（0～3600）を秒でを入力し、**登録**を押します。

8

MACアドレス

XX:XX:XX:XX:XX:X

X

登録を押します。

9

F/W Version:

X. X. X. X

登録を押します。

10

Build Date:

XXX XX XXXX

登録を押します。

11

82ページ手順3に戻ります。

無線LAN設定するとき



無線LANインタフェース設定の初期化を行った場合、「0: Infra(auto-join)」が表示します。

⬇️ を押して、「1:アドホック」または「2:インフラ(SSID)」を設定してください。

アクセスポイントまたはホストの接続先と同じ内容を設定します。



手順2で「1:アドホック」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「2:インフラ(SSID)」を選んだときは、この画面は表示されません。



手順2で「1:アドホック」を選んだときは、「2:WPA」を選ぶことはできません。



手順6で「1:WEP」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「2:WPA」を選んだときは、この画面は表示されません。



5文字の文字列または10桁の16進数で設定してください。

1

82ページ手順4のときに、(登録)を押します。

2

⬆️ ⬆️ を押して、無線LANモードを選び、(登録)を押します。

3

⬆️ ⬆️ を押して、無線LANモードの認証方式を選び、(登録)を押します。

4

ESS-ID (1～32桁) を英数字 (ハイフン、アンダーバーも含む) で入力し、(登録)を押します。

5

チャンネル番号 (1～14) を入力し、(登録)を押します。

6

⬆️ ⬆️ ⬅️ ➡️ を押して、セキュリティ機能を選び、(登録)を押します。

7

WEPキー1インデックスの示すエントリにWEPキーを入力し、(登録)を押します。WEPキー1は未入力でも可能です。設定値を入力している場合、「***」が表示します。



手順6で「1:WEP」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「2:WPA」を選んだときは、この画面は表示されません。



5文字の文字列または10桁の16進数で設定してください。



手順6で「1:WEP」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「2:WPA」を選んだときは、この画面は表示されません。



5文字の文字列または10桁の16進数で設定してください。



手順6で「1:WEP」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「2:WPA」を選んだときは、この画面は表示されません。



5文字または13文字の文字列、10桁または26桁の16進数で設定してください。



手順6で「1:WEP」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「2:WPA」を選んだときは、この画面は表示されません。



手順6で「2:WPA」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「1:WEP」を選んだときは、この画面は表示されません。

8

WEPキー2インデックスの示すエントリにWEPキーを入力し、**登録**を押します。WEPキー2は未入力でも可能です。設定値を入力している場合、「***」が表示します。

9

WEPキー3インデックスの示すエントリにWEPキーを入力し、**登録**を押します。WEPキー3は未入力でも可能です。設定値を入力している場合、「***」が表示します。

10

WEPキー4インデックスの示すエントリにWEPキーを入力し、**登録**を押します。WEPキー4は未入力でも可能です。設定値を入力している場合、「***」が表示します。

11

WEPキーとして使用するWEPキーNo. (1~4)を入力し、**登録**を押します。

12

↑ **↓** を押して、認証機能を選び、**登録**を押します。



手順6で「2:WPA」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「1:WEP」を選んだときは、この画面は表示されません。



手順6で「2:WPA」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:使用しない」または「1:WEP」を選んだときは、この画面は表示されません。



WEB設定機能により、「2:TLS」、「4:PEAP」を設定することができます。ただし、この画面では設定できません。



手順15で「1:MD5」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:not use」を選んだときは、この画面は表示されません。



手順15で「1:MD5」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:not use」を選んだときは、この画面は表示されません。



重要 無線LAN設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

13

WPA-PSK種別
0:TKIP
1:AES

↑ ↓ を押しして、WPA-PSK種別を選び、**登録**を押します。

14

事前共有キー

事前共有キー（8～63桁）を文字列で入力し、**登録**を押します。設定値を入力している場合、「***」が表示します。

15

EAP認証機能
0:not use
1:MD5

↑ ↓ を押しして、EAP認証機能を選び、**登録**を押します。

16

認証ユーザ名

認証ユーザ名（1～63桁）を文字列で入力し、**登録**を押します。

17

認証パスワード

認証パスワード（0～32桁）を文字列で入力し、**登録**を押します。認証パスワードが未入力の場合、パスワード削除になります。設定値を入力している場合、「****」が表示します。

18

82ページ手順4に戻ります。

FTP設定するときは



手順2で「1:ユーザ認証有効」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:ユーザ認証無効」を選んだときは、この画面は表示されません。



手順2で「1:ユーザ認証有効」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「0:ユーザ認証無効」を選んだときは、この画面は表示されません。



重要 FTP設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

■電界強度表示

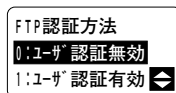
無線LANインタフェース使用時において、通常動作モード時及びデータメンテナンス機能時に受信電界強度を画面右上に表示します。3秒間隔で更新します。

| 表示 | 電界強度レベル |
|----|------------------|
| | 電界強度レベル3：強 |
| | 電界強度レベル2：中 |
| | 電界強度レベル1：弱 |
| | 電界強度レベルがゼロある事を示す |

1

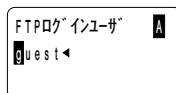
82ページ手順5のときに、**登録**を押します。

2



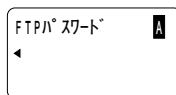
を押して、FTP認証方法を選び、**登録**を押します。

3



FTPログインユーザ名（1～32桁）を英数字（ハイフン、アンダーバーも含む）で入力し、**登録**を押します。

4



FTPログインパスワード（0～32桁）を英数字（ハイフン、アンダーバーも含む）で入力し、**登録**を押します。設定値を入力している場合、「****」が表示します。

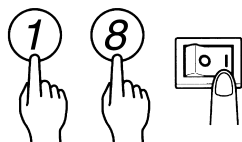
5

82ページ手順5に戻ります。

Bluetoothインタフェースを設定する

認証レベルモードやPINコードなど、本機のBluetoothインタフェース（オプション）の設定することができます。

これらの設定をするときは、電源を切ってから行います。



認証の設定をする

認証の設定をする場合の操作方法は、次のページの「認証設定するときは」を参照してください。

Bluetooth通信の設定をする

Bluetooth通信の設定をする場合の操作方法は、次のページの「Bluetooth通信設定するときは」を参照してください。

その他の設定をする

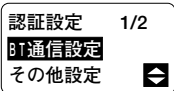
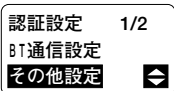
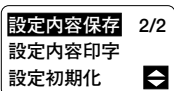
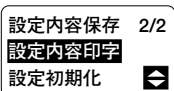
その他の設定をする場合の操作方法は、91ページの「その他設定するときは」を参照してください。

Bluetoothインタフェースの設定を保存する

「認証設定」、「Bluetooth通信設定」、「その他設定」で設定した内容を保存します。

Bluetoothインタフェースの設定を印字する

現在のBluetoothインタフェースの設定を印字します。

- 1 電源を切ります。
- 2 ①と⑧を押しながら電源を入れます。
- 3  **登録**を押します。
- 4  ↓を1回押して、**登録**を押します。
- 5  ↓を2回押して、**登録**を押します。
- 6  ↓を3回押して、**登録**を押します。
- 7  ↓を4回押して、**登録**を押します。

Bluetoothインタフェースの設定を初期化する

現在のBluetoothインタフェースの設定を初期化します。

重要 はじめてBluetoothインタフェースを使用するときは必ず「設定初期化」を行ってからBluetoothインタフェースの設定をしてください。

認証設定するときは

「Level 1」⇒「Level 2-1」⇒「Level 2-2」⇒「Level 3」の順に選ぶことができます。

参考 手順2で「Level 2-1」、「Level 2-2」または「Level 3」を選んだときだけ、この画面が表示されます。「Level 1」を選んだときは、この画面は表示されません。

重要 認証設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

Bluetooth通信設定するときは

8

設定内容保存 2/2
設定内容印字
設定初期化

↓ を5回押して、登録を押します。

設定初期化します
いいえ はい

← → を押して設定を初期化するかを選び、登録を押します。

1

89ページ手順3のときに、登録を押します。

2

認証レベルモード 1/2
Level 1
Level 2-1

↑ ↓ を押して、認証レベルモードを選び、登録を押します。

3

PIN設定 数
0000000000000000

PINコード設定（16桁）を数字で入力し、登録を押します。

4

89ページ手順3に戻ります。

1

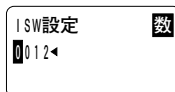
89ページ手順4のときに、登録を押します。

2

ISI設定 数
0000

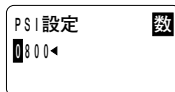
ISI値（0015～1000）を入力し、登録を押します。

3



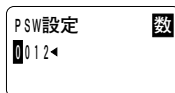
ISW値 (0012～0997) を入力し、**登録** を押します。

4



PSI値 (0015～1000) を入力し、**登録** を押します。

5



PSW値 (0012～0997) を入力し、**登録** を押します。

6

89ページ手順4に戻ります。

重要

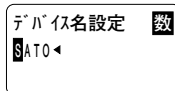
Bluetooth通信設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

その他設定するときは

1

89ページ手順5のときに、**登録** を押します。

2



デバイス名 (1～20桁) を英数字 (ハイフン、アンダーバー、スペースも含む) で入力し、**登録** を押します。

3

89ページ手順5に戻ります。

重要

その他設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

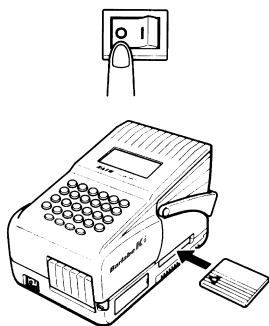
PCカードを使う

プリセットデータを登録するときに、PCカードを使用することができます。

PCカードを使用すると、本体とは別に2500件のデータを登録することができます。またPCカードを介して、もう1台のプリンタとデータをやりとりすることもできます。

PCカードのセットのしかた

重要 新しいPCカードを使用するときは、PCカードのクリアを行います。



PCカードを差し込んだとき、スロットの右にあるイジェクトボタンが少し飛び出てくるのを確認してください。

1

本体の電源を切ります。

2

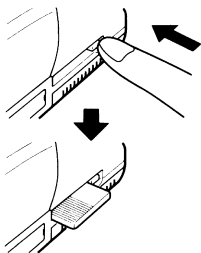
本体右側面のカードスロットのカバーを上を開け、PCカードを差し込みます。

PCカードの表面を上にして、イラストのような向きで差し込みます。

重要

向きを逆にして無理にカードを差し込むと、カード本体および本体コネクタ部の損傷の原因となりますので充分注意してください。

PCカードを取り出す



1

スロットの右にあるイジェクトボタンを押します。

2

PCカードが少し飛び出すので、PCカードを引き抜いてください。

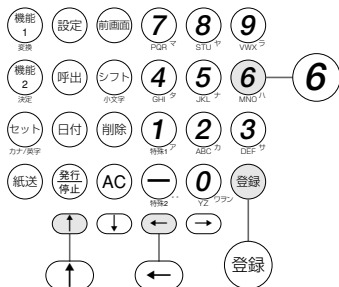
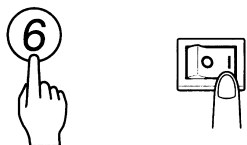
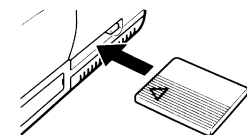
●PCカードの取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。PCカードや基盤、プリンタ本体を破損する恐れがあります。

●PCカードをセットしていないときは、異物混入防止のため、カードカバーを閉めておいてください。

PCカードをクリアする

PCカードを購入後はじめて使用するときは、必ずこの操作を行います。
また、使用済みカードを消去して、はじめの状態に戻すときに行います。カードクリア処理を行うときは、電源を切ってから行ってください。

- 重要** • すでに登録されているPCカードをクリアすると、登録されているデータはすべて消去されます。
必要のないときは、PCカードのクリアはしないでください。



カード種類

登録用：

プリセットデータの登録用
にカードを使うとき

バックアップ：

プリンタ本体に登録された
プリセットデータをカード
へバックアップし、他のプ
リンタへコピーするとき

1

電源を切ります。

2

PCカードをセットします。

3

⑥を押しながら電源を入れます。

【カードクリア】

(1/1) [↑]

[登録]を押します。

4

カードの種類

登録用

バックアップ [→]

[↑]を押して「登録用」にカーソルを合わせ、[登録]を押します。

カードクリアOK?

はい [いいえ]

[←]を押して「はい」にカーソルを合わせ、[登録]を押します。



操作を中止するときは、「いいえ」にカーソルを合わせ[登録]を押します。手順3の画面に戻ります。



カードクリア中

カードクリアが終了すると、ブザー音になり、手順3のはじめの画面に戻ります。

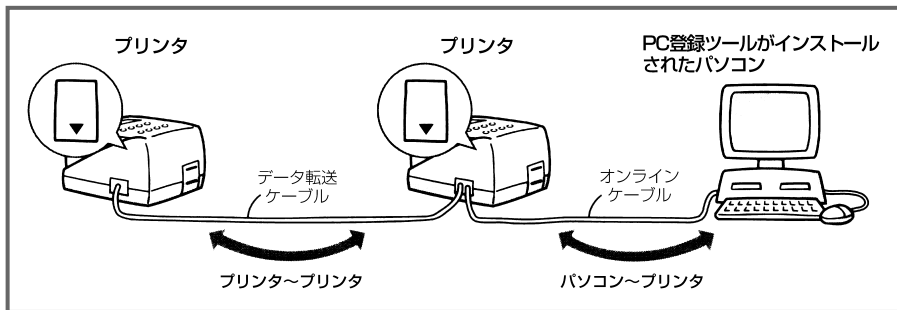
他の機器とデータをやりとりする

本体、またはPCカードに登録したプリセットデータを他の機器に転送して使用することができます。

重要 データ転送の対象となるのはプリセットデータだけです。初期設定などの設定情報は転送されません。



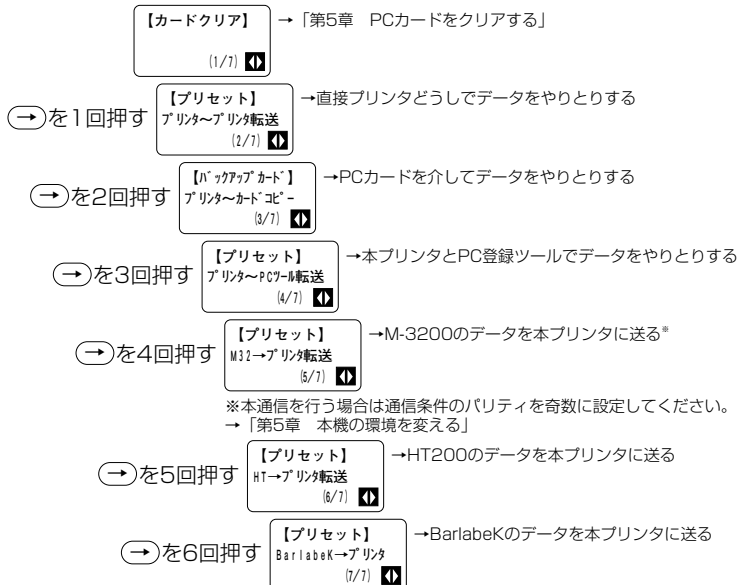
- データをコピーして他の機器に転送します。したがって、データを送った側の機器にはデータがそのまま残ります。
- 無線LANインタフェース、Bluetoothインタフェースで、データ転送する場合には、オンラインケーブルは必要ありません。



■データ通信の種類

⑥を押しながら電源を入れます。

データメンテナンスモードメニュー



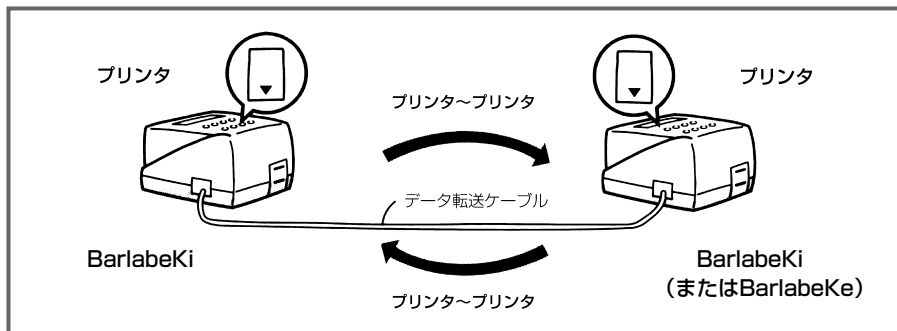
←を押すと、1つ前のメニュー画面に戻ります。

プリンタどうしてデータをやりとりする(プリセットデータの転送)

①BarlabeKi→BarlabeKi (またはBarlabeKe) の設定

プリンタ本体、またはプリンタにセットしたPCカードのプリセットデータを転送することができます。

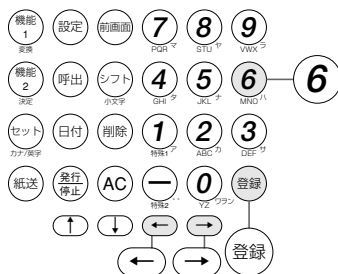
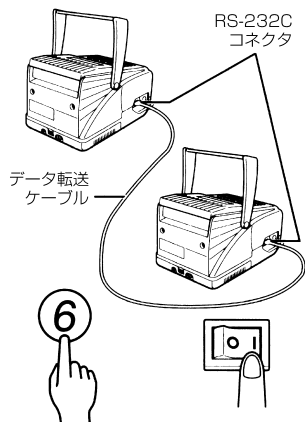
データ転送には、データ転送ケーブル (別売) が必要です。



- データを受ける側 (受信側) のプリセットデータはすべて消去されます。
- PCカードにデータ転送するときは、受信側のPCカードがすべてクリアされます。
- データ転送を開始する前に、両機のシリアルインターフェースの通信設定 (通信速度・パリティ) を合わせてください。



PCカードの転送の場合は、PCカードをセットします。



送信側・受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

1

電源を切り、本体どうしをデータ転送ケーブルで接続します。

受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

2

⑥を押しながら、電源を入れます。

3

【カードクリア】

(1/7) []

→ を1回押します。



操作を中止するときは「いいえ」を選び、**登録**を押します。
手順4の画面に戻ります。

4

【プリセット】
プ リンタへ プ リンタ 転送
(2/7)

登録を押します。

5

プ リンタへ プ リンタ 転送
送信 受信

→を押して「受信」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

6

プリセット登録先
本体 カード

プリセット登録先を **←** **→**を押して、「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

7

データ受信OK ?
はい **いいえ**

←を押して「はい」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

送信側

8

⑥を押しながら、電源を入れます。

9

【カードクリア】
(1/7)

→を1回押します。

10

【プリセット】
プ リンタへ プ リンタ 転送
(2/7)

登録を押します。

11

プ リンタへ プ リンタ 転送
送信 受信

←を押して「送信」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

12

プリセット登録先

本体
 カード

プリセット登録先を(←)(→)を押して「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、(登録)を押します。

プリンタ本体に登録されているときは「本体」、PCカードに登録されているときは「カード」を選んでください。

(登録)を押します。

13

データ送信OK？

はい
 いいえ

(←)を押して、「はい」にカーソルを合わせ、(登録)を押します。

プリセットデータの送信が開始されます。送信件数をカウントアップ表示します。

操作を中止するときは、「いいえ」を選び (登録)を押します。手順10の画面に戻ります。

送信側・受信側・・・・・・・・・・

14

【送信側】

【データ送信中】

[] 件

【受信側】

【データ受信中】

[] 件

転送が終了したら、ブザーが鳴ります。

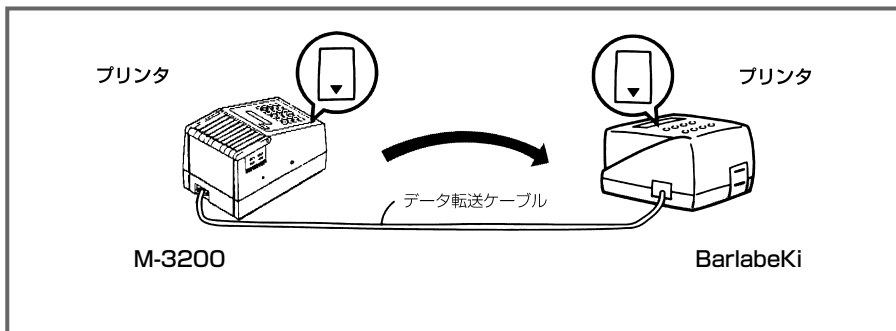
- 引き続きデータを転送するときは、手順1からの操作を繰り返します。
- 操作を終了するときは、電源を切ります。

データの転送が終了したら、データ転送ケーブルをはずしてください。

②M-3200（送信側）→BarlabeKi（受信側）の設定

M-3200で作成したプリセットデータ（登録先：本体又はPCカード）をBarlabeKi（登録先：本体又はPCカード）に転送することができます。

データ転送には、データ転送ケーブル（別売）が必要です。

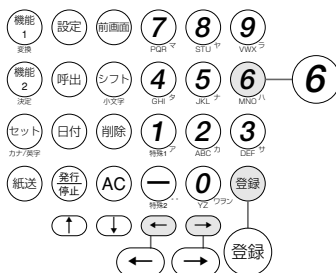
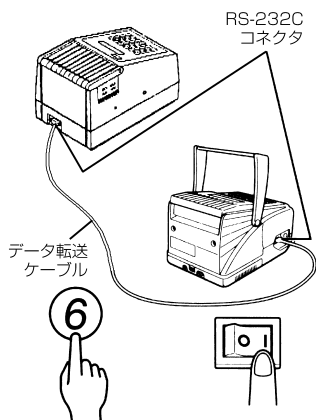


重要

- データを受ける側（受信側）のプリセットデータはすべて消去されます。
- PCカードにデータ転送するときは、受信側のPCカードがすべてクリアされます。
- データ転送を開始する前に、シリアルインタフェースの通信設定（通信速度・パリティ）を合わせてください。



PCカードの転送の場合は、PCカードをセットします。



送信側・受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

1

電源を切り、本体どうしをデータ転送ケーブルで接続します。

受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

2

⑥を押しながら、電源を入れます。


3


【カードクリア】

(1/7) []


→ を4回押します。

4

【プリセット】
M32→プリンタ転送
(5/7) 


を押します。

5


プリセット登録先
本体 カード




プリセット登録先を を押して「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、を押します。



操作を中止するときは「いいえ」を選び、を押します。
手順4の画面に戻ります。

6

データ受信OK？
はい いいえ 

を押して「はい」にカーソルを合わせ、を押します。



送信側 (M-3200)

7

M-3200の電源を入れます。

8

フォーマット No. 96
_

を押します。
フォーマットNo.「96」を入力し、を押します。




9

ホストCPU M-3200

を押して「ホストCPU」にカーソルを合わせ、を押します。


10

ソウシン ジェシン
_

 で「ソウシン」を選択し、を押します。




11

ソウシン ホンタイ カート
_

送信するプリセットデータの登録先を選択し を押します。

12

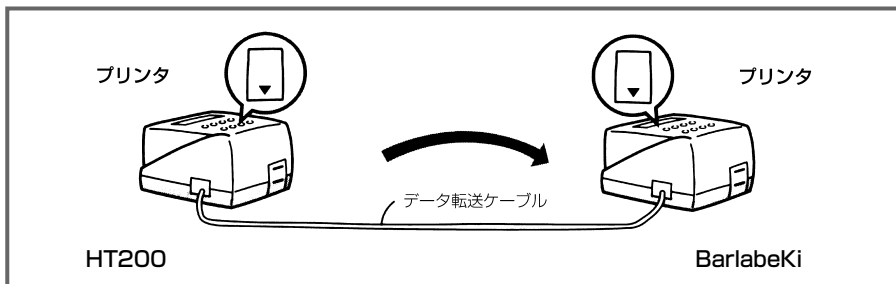
ソウシン ジェンビ OK N/Y
_

 でYにカーソルを合わせて、を押します。
→データ転送を開始します。

③HT200（送信側）→BarlabeKi（受信側）の設定

HT200で作成したプリセットデータ（登録先：本体又はPCカード）をBarlabeKi（登録先：本体又はPCカード）に転送することができます。

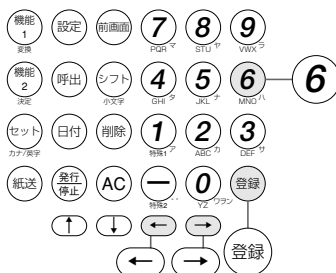
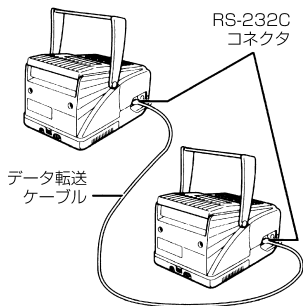
データ転送には、データ転送ケーブル（別売）が必要です。



- データを受ける側（受信側）のプリセットデータはすべて消去されます。
- PCカードにデータ転送するときは、受信側のPCカードがすべてクリアされます。
- データ転送を開始する前に、HT200とBarlabeKiのシリアルインタフェースの通信設定（通信速度・パリティ）を合わせてください。



PCカードの転送の場合は、PCカードをセットします。



送信側・受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

1

電源を切り、本体どうしをデータ転送ケーブルで接続します。

受信側・・・・・・・・・・・・・・・・

2

⑥を押しながら、電源を入れます。

3

【カードクリア】

(1/7) [右矢印]

→ を5回押します。



操作を中止するときは「いいえ」を選び、**登録**を押します。
手順4の画面に戻ります。

4

【プリセット】
HT→プリンタ転送
(6/7) **登録**

登録を押します。

5

プリセット登録先
本体 カード **登録**

プリセット登録先を**←****→**を押して「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

6

データ受信OK?
はい いいえ **登録**

←を押して「はい」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

送信側 (HT200)

7

6を押しながら、電源を入れます。

8

カードクリア

>を1回押します。

9

プリセット
プリンタ←→プリンタ

登録を押します。

10

ソウシン ジュシン

<を押して「ソウシン」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。

11

プリセット トロウガサ
タイ カード

←**→**で送信するプリセットデータの登録先を選択し、**登録**を押します。

12

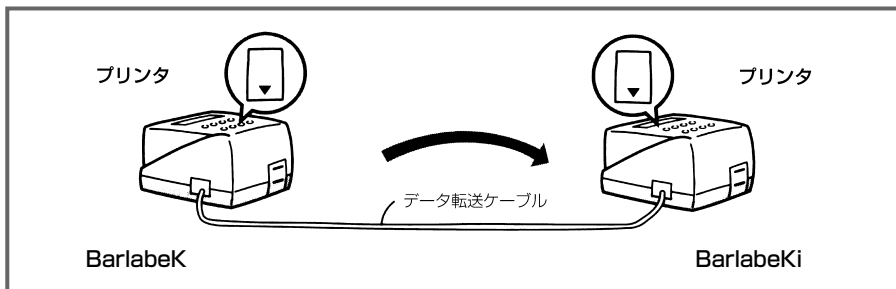
データソウシンOK?
Y/N **登録**

←を押して「Y」にカーソルを合わせ、**登録**を押します。→データ転送を開始します。

④BarlabeK（送信側）→BarlabeKi（受信側）の設定

BarlabeKで作成したプリセットデータ（登録先：本体又はPCカード）をBarlabeKi（登録先：本体又はPCカード）に転送することができます。

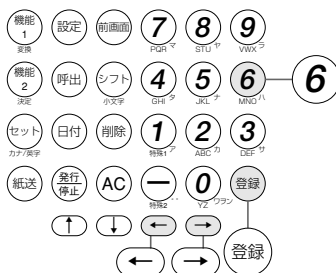
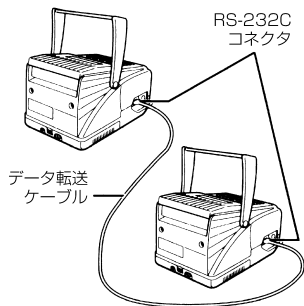
データ転送には、データ転送ケーブル（別売）が必要です。



- データを受ける側（受信側）のプリセットデータはすべて消去されます。
- PCカードにデータ転送するときは、受信側のPCカードがすべてクリアされます。
- データ転送を開始する前に、BarlabeKとBarlabeKiのシリアルインタフェースの通信設定（通信速度・パリティ）を合わせてください。



PCカードの転送の場合は、PCカードをセットします。



送信側・受信側・・・・・・・・・・

1

電源を切り、本体どうしをデータ転送ケーブルで接続します。

受信側・・・・・・・・・・

2

⑥を押しながら、電源を入れます。

3

【カードクリア】

(1/7)

→ を6回押します。

4

【プリセット】
BarlabeK→プリンタ
(7/7) ◀▶

登録を押します。

5

プリセット登録先
本体 カード ▶◀

プリセット登録先を◀▶を押して「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、登録を押します。



操作を中止するときは「いいえ」を選び、登録を押します。
手順4の画面に戻ります。

6

データ受信OK？
はい いいえ ▶◀

←を押して「はい」にカーソルを合わせ、登録を押します。

送信側 (BarlabeK)

7

6を押しながら、電源を入れます。

8

【カードクリア】
(1/6) ▶◀

→を1回押します。

9

【プリセット】
プリンタ→プリンタ転送
(2/6) ▶◀

登録を押します。

10

プリンタ→プリンタ転送
送信 受信 ▶◀

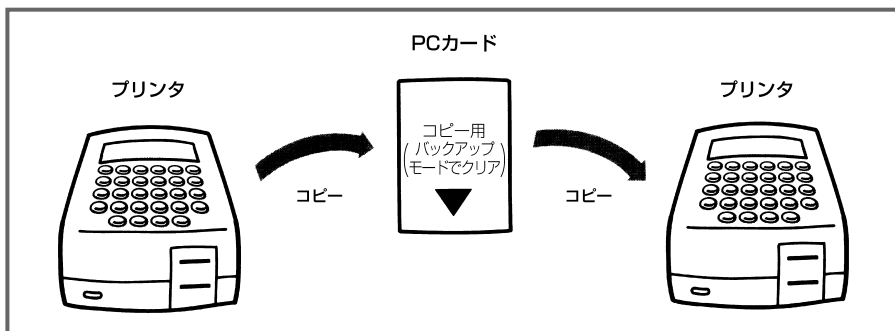
←を押して「送信」にカーソルを合わせ、登録を押します。

※これ以降の画面表示は①BarlabeKi→BarlabeKiの設定と同じです。

プリンタ本体のプリセットデータをPCカードを使ってコピーする

プリンタ本体に登録されているプリセットデータを、PCカードを使って他のプリンタにコピーするときに使用します。

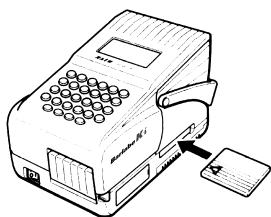
重要 PCカードに登録したプリセットデータをコピーするときは、データ転送用ケーブルを使って、プリンタからプリンタへ転送してください。詳しくは「プリンタどうしてデータのやりとりをする」をご覧ください。



コピー先のプリンタ本体のデータは、自動的にクリアされます。

第5章

他の機器とデータをやりとりする



1

電源を切ります。

2

PCカードをセットします。

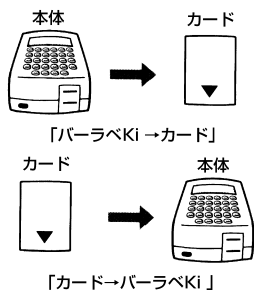
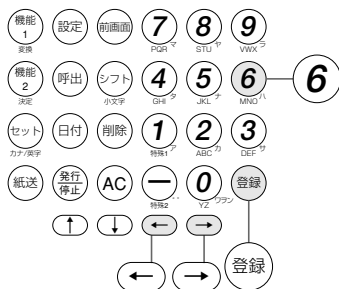
重要

はじめてPCカードをご使用になる場合は、PCカードをクリアしてください。→「第5章 PCカードを使う」

プリセットデータのコピー用としてカードをご使用になる場合は、カード種類の画面で「バックアップ」を選んでクリアしてください。

3

⑥を押しながら、電源を入れます。



4

【カードクリア】

(1/7) ⏮

→ を2回押します。

5

【バックアップカード】

プリンタ→カードコピー

(3/7) ⏮

登録を押します。

6

プリンタ→カード

カード→プリンタ



(↑)(↓)を押して、コピー先を選びます。

- 本体のプリセットデータをPCカードにコピーするときは、「プリンタ→カード」を選びます。
- PCカードのプリセットデータを本体にコピーするときは、「カード→プリンタ」を選びます。

登録を押します。

7

プリンタ→カード

コピーOK?

はい いいえ ⏮

← →を押して、「はい」にカーソルを合わせます。

操作を中止するときは「いいえ」を選び(登録)を押します。
手順5の画面になります。

登録を押します。

プリセットデータのコピーが開始されます。

コピー中

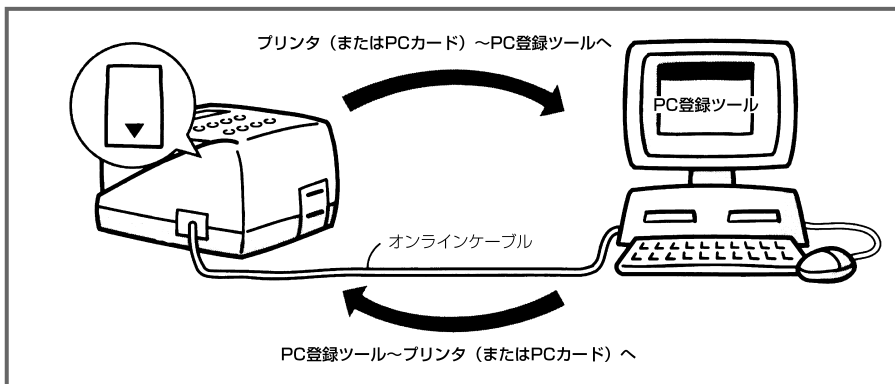
コピーが終了したら、ブザーが鳴ります。

- 引き続きデータを転送するときは、手順1からの操作を繰り返します。
- 操作を終了するときは、電源を切ります。

プリンタとPC登録ツールの間でデータをやりとりする

PC登録ツールをインストールしたパソコンで本機用に作ったプリセットデータを本機に転送することができます。また本機のプリセットデータをパソコン上のPC登録ツールに転送することもできます。

本機とPC登録ツールのデータ転送には、オンラインケーブル（別売）が必要です。ただし、無線LANインタフェース、Bluetoothインタフェースでデータ転送する場合には、オンラインケーブルは必要ありません。

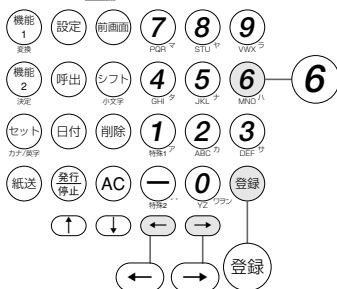
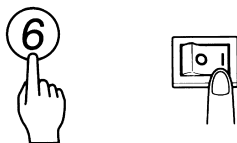


重要 PC登録ツールから本機にデータを転送すると、自動的に本機（またはPCカード）のプリセットデータがクリア（消去）されます。

■PC登録ツール→本機

参考 PCカードにデータを転送するときは、PCカードをセットします。

参考 必要に応じて、各インタフェースの通信設定を合わせます。

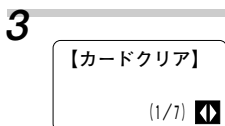


送信側（PC登録ツール）・受信側（本機）・・・

1 本機の電源を切ります。シリアルインタフェースの場合、本機とPC登録ツールをオンラインケーブルで接続します。

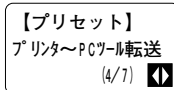
受信側（本機）・・・・・・・・・・・・・・・・

2 ⑥を押しながら、電源を入れます。



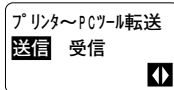
→ を3回押します。

4



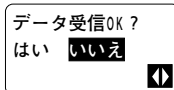
登録を押します。

5



→を押して「受信」にカーソルを合わせ、登録を押します。

6

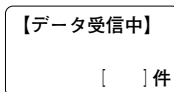


←を押して、「はい」にカーソルを合わせ、登録を押します。

操作を中止するときは、「いいえ」を選び登録を押します。
手順4の画面に戻ります。

7

この画面で、パソコン側のデータを送信してください。
プリセットデータの受信が開始されます。
受信件数をカウントアップ表示します。



転送が終了したら、ブザーが鳴ります。

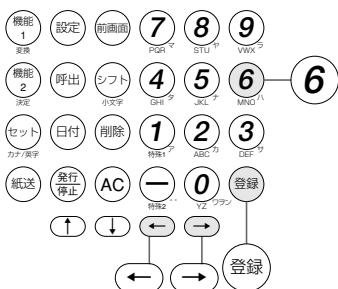
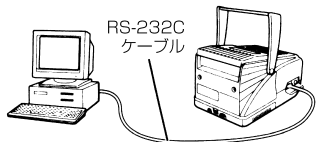
- 引き続きデータを転送するときは、手順1からの操作を繰り返します。
- 操作を終了するときは、電源を切ります。

シリアルインタフェースの場合、データの転送が終了したら、オンラインケーブルをはずしてください。

■本機→パソコン



- PCカードのデータを転送するとき、PCカードをセットします。
- 必要に応じて、各インタフェースの通信設定を合わせます。



送信するプリセットデータがプリンタ本体にある場合は、「本体」にカーソルを合わせ、「カード」にカーソルを合わせて(登録)を押します。

送信側（本機）・受信側（パソコン）・・・

1

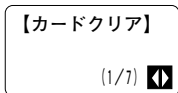
本機の電源を切ります。
シリアルインタフェースの場合、本機とパソコンをケーブル（RS-232C）で接続します。

送信側（本機）・・・・・・・・・・・・・・

2

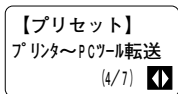
(6) を押しながら、電源を入れます。

3



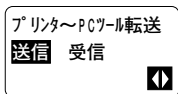
→ を3回押します。

4



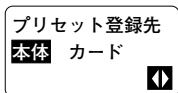
(登録) を押します。

5



← を押して「送信」にカーソルを合わせ、(登録) を押します。

6



プリセット登録先を(←)(→)を押して「本体」または「カード」にカーソルを合わせ、(登録) を押します。



操作を中止するときは、「いいえ」を選び〔登録〕を押します。
手順4の画面に戻ります。

7

データ送信OK？

はい いいえ



パソコンで受信が可能な状態であることを確認後、

←を押して、「はい」にカーソルを合わせ、〔登録〕

を押します。

プリセットデータの送信が開始されます。送信件数をカウントアップ表示します。

【データ送信中】

[] 件

転送が終了したら、ブザーが鳴ります。

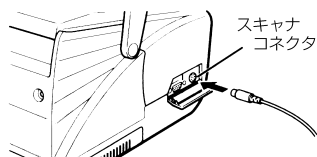
- 引き続きデータを転送するときは、手順1からの操作を繰り返します。
- 操作を終了するときは、電源を切ります。

シリアルインタフェースの場合、データの転送が終了したら、オンラインケーブルをはずしてください。

スキャナを使う

タッチスキャナは、キーボードでデータを入力するかわりに、印字されているラベルのバーコードを読み取って入力するものです（キー入力の一部不要になります）。

■スキャナの接続のしかた



- 1 プリンタ本体の電源を切ってから、スキャナのプラグを、スキャナ用コネクタに差し込みます。

重要

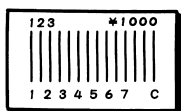
プラグを差し込むときは、コネクタの穴の位置を確認して上下を間違えないように差し込んでください（無理に差し込むと破損する恐れがあります）。プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。コネクタを頻繁に抜き差しすると故障の原因となります。

■スキャナを使ってデータを入力する

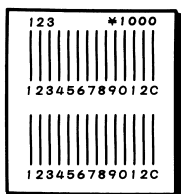
第5章

スキャナを使う

読み取るバーコードによって、次のフォーマット番号を入力します。

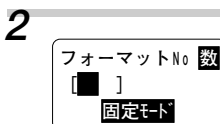


1段のとき：フォーマット番号20



2段のとき：フォーマット番号25

- 1 **設定**を押します。



「20」か「25」を入力します。

- 2 **登録**を押します。



フォーマットNo.20の対応用紙サイズは、P16×W32mm、P20×W32mm、P25.4×W32mmです。
フォーマットNo.25の対応用紙サイズは、P38×W32mmです。



NON-PLUを選んだときは、手順3のあとに「価格桁数」「プライスチェックデジット」の選択画面が表示されます。それぞれを選択してください。

価格桁数
4桁 5桁

← → を押して、価格桁数を選び、登録を押します。

プライスチェックデジット
あり なし

← → を押して、読み取るバーコードがプライスチェックデジット「あり」か「なし」かを選び、登録を押します。

フォーマット番号25を選択した場合の「2段読取バーコード」と「価格桁数」の画面表示は以下ようになります。

2段読取バーコード
PLU NON-PLU
固定モード

「PLU」が「NON-PLU」かを選び、登録を押します。

NON-PLUを選んだあとに、「価格桁数」「プライスチェックデジット」の選択画面が表示されます。それぞれを選択してください。

価格桁数
4桁 5桁 6桁

← → を押して、価格桁数を選び、登録を押します。

プライスチェックデジット
あり なし

← → を押して、読み取るバーコードがプライスチェックデジット「あり」か「なし」かを選び、登録を押します。

3

読取バーコード
PLU NON-PLU
固定モード

「PLU」か「NON-PLU」かを選び、登録を押します。

4

スキャナ読取数
*****C

スキャナを読み取るバーコードに当てます。

バーコードの読み取りが終了したら、次の画面が表示されます。

5

【コード】数
**

画面にしたがって、「コード（部門コード）」、「価格」「日付」「発行枚数」などを入力していきます。



- バーコードデータを読み取るとき、操作を途中で止めないでください。
- スキャナを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- コードを強く引っ張ったりしないでください。
- 太陽の下でラベルを読み取らないでください。
- 余白部分を含めて、汚れたバーコードラベルはデータを読み取ることができない場合があります。
- スキャナを抜き差しするときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってください。

第6章

かんたん操作編

バーコードを印字するまでの、例をあげて詳しく説明しています。

「バーコードを印字するのははじめて」という方は、ここからお読みください。

バーコードを簡単に印字しよう

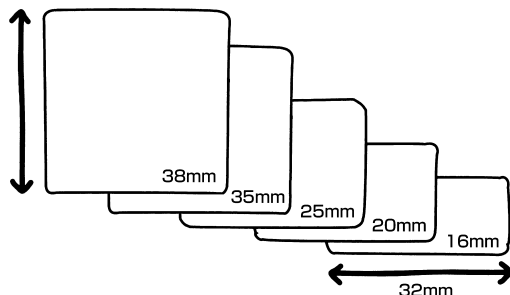
第6章

バーコードを簡単に印字しよう

ラベルとバーコードの種類を確認しましょう・180

バーコードを印字する前に、使用するラベルのサイズとバーコードの種類を確認します。ラベルのサイズとバーコードの種類を確認したら、それに適したフォーマットを選びます。なお、レイアウトパターンのことをフォーマットと呼びます。

ラベルのサイズは？



バーコードの種類は？

8桁？ 13桁？

フォーマット番号

25種類の
フォーマットが
用意されています。

25種類のフォーマットが用意されています。フォーマット番号を選んでデータを入力するだけで、手軽にバーコードを印字することができます。

用紙をセットしましょう・・・・・・・・・・116

印字する方法は、2種類あります。

連続印字



指定した枚数分ラベルが連続して印字されます。

はくり
剥離印字



台紙からラベルをはがしながら、1枚ずつ印字されます。

■連続印字と剥離印字とは用紙のセット方法が異なります。

印字してみましょう・・・・・・・・・・ 118

3つの例題をもとに、バーコードを印字するまでを説明しています。
いっしょに練習してみましょう。

初期設定

印字の位置や価格の大きさなど、
ラベル全体のスタイル（書式）を
選ぶことができます。



データの入力

本機に用意されている25種類のフ
ォーマットを選ぶだけで、あとは
画面にしたがってデータを入力し
ていくだけです。

データを登録してみましょう・・・・・・・・ 135 データ呼び出して印字してみましょう・・・ 138

印字する内容を登録しておくことができます。登録しておけば、いつでも呼び出してラ
ベルを印字することができます。ここでは、データを登録しそれを呼び出して印字する
方法を説明しています。

画面にエラー表示がでたら・・・・・・・・ 168

印字や操作の途中でエラーを知らせる画面が表示されることがあります。
このときはエラーメッセージの対処方法にそって直してください。

故障かな？と思ったら・・・・・・・・ 170

ラベルが印字されない、印字がかすれているなど、何か困ったことが起きたらまずこのペ
ージをご覧ください。

本機のお手入れをしましょう・・・・・・・・ 175

本機を末長くお使いいただくために、定期的に本機のお手入れをしましょう。

●用紙をセットしましょう●

ラベルを印字する方法には次の2種類があります。

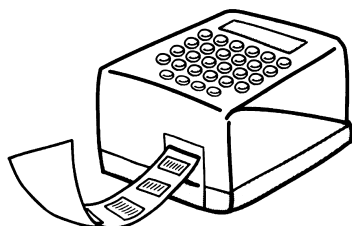
- 連続印字…枚数を指定して、その枚数を連続して印字する方法です。
- 剥離^{はくり}印字…台紙からラベルをはがしながら、1枚ずつ印字する方法です。

使いかたに合わせて、用紙をセットしましょう。

印字の方法を決めます

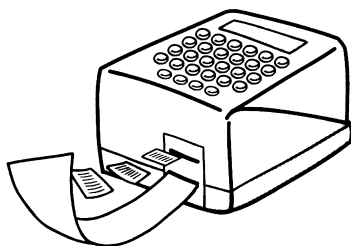
(→「第3章 ラベルのスタイルを決める(初期設定)」)

連続印字



- 指定枚数を連続して印字します

剥離^{はくり}印字



- 台紙からラベルをはがしながら印字します。

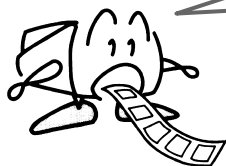
用紙を用意します

どのようなラベルを作るのかあらかじめ決めておきます。
作りたいラベルのサイズを確認します。(→「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」)

重要 用紙は、当社純正品を必ずお使いください。規定以外の製品は使わないでください。

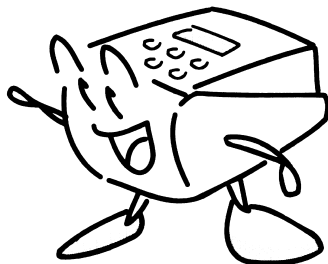
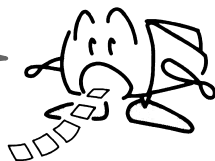
用紙をセットします

(→「第2章 用紙をセットする」)

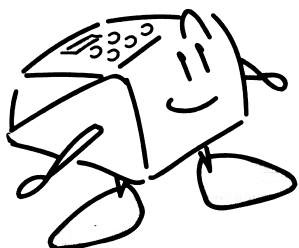


同じものがたくさん必要なときは
連続印字なんだね！

1枚1枚ラベルをはりたいときは
はくり
剥離印字なんだね！



用紙は正しくセットできましたか？
次のページから、実際に印字してみましょう



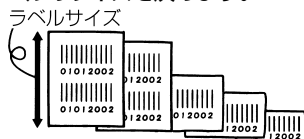
●印字してみましよう●

本機には、25種類のフォーマットが用意されています。

フォーマット番号を選び、あとは部門や値段・バーコードデータなどを入力するだけでかんたんにバーコードを印字することができます。

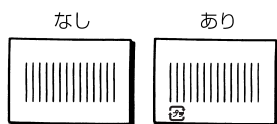
初期設定 (ラベルのサイズ・価格の印字位置など、ラベルをどのように印字するかを決めます) ※フォーマット番号00

①ラベルのサイズを決めます。

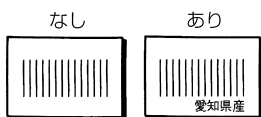


②プリセットデータの登録先を選びます。 カード? 本体?

③リサイクルマークを印字するかどうかを決めます。



④原産地を印字するかどうかを決めます。

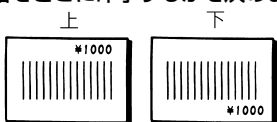


⑤日付を印字するかどうかを決めます。

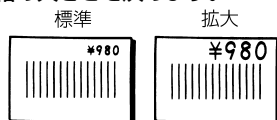


('あり' を選択すると、日付の手入力 (あり／なし)、コードフリー入力 (あり／なし) が選択できます。)

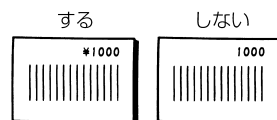
⑥価格をどこに印字するかを決めます。



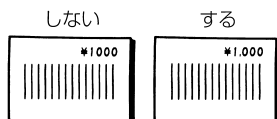
⑦価格の大きさを決めます。



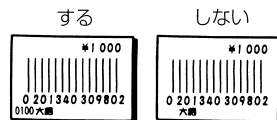
⑧価格に¥マークをつけるかどうかを決めます。



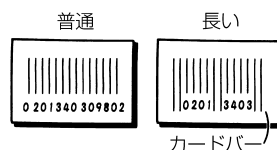
⑨価格のカンマ (,) をつけるかつけないかを決めます。



⑩プリセット番号を印字するかどうかを決めます。



⑪ガードバーの長さを決めます。



■リアルタイム印字と都度発行は、「剥離印字」を選択した場合に選ぶことができます。

■チェックラベル…ラベルを印字したあと、印字ヘッドの状態を確認することができるラベルです。「連続印字」を選択した場合に選ぶことができます。

■印字位置調整…印字位置を微調整することができます。

⑫印刷方法を選びます。

連続

はくり
剥離

⑬リアルタイム印字をするかどうかを選びます。

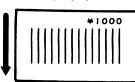
⑭都度発行をするかどうかを選びます。

⑮チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

⑯印字方向を選びます。

頭出し

尻出し



⑰印字位置を調整します。

初期設定がすでに済んでいるときは、ここからはじめます



フォーマット番号を選ぶ (あらかじめ用意されているフォーマットを選びます)

- バーコードの種類を確認して、適切なフォーマットを選んでください。
- 用意されているフォーマットと番号は180ページをご覧ください。
- フォーマットによって、使用できないラベルサイズがあります。

データを入力する (部門、価格、バーコードなどを入力します)

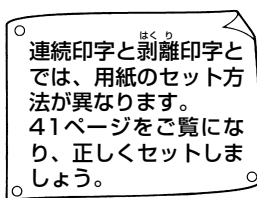


ラベルに印字する

連続印字のとき



はくり
剥離印字のとき
(台紙からラベルをはがして1枚1枚印刷するとき)



さあ、練習してみましょう

「フォーマット番号11番」のバーコードラベルを、1枚ずつ印字してみましよう

例

【初期設定】

- ラベルサイズ：25mm
- プリセット登録先：カード
- 日付：なし
- 価格の位置：上
- 価格の大きさ：標準
- ¥マーク：する
- 価格カンマ：しない
- ガードバーの印字：普通
- 印字の方法：1枚ずつ印字（剥離、リアルタイム印字：OFF、都度発行機能：なし）
- 印字の方向：頭出し

フォーマット番号：11

データ

- ①バーコードデータ：123456789012
- ②部門データ：456
- ③価格：2500

【バーコード構成】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 8

バーコード

チェックデジット



※チェックデジットの入力は必要ありません。

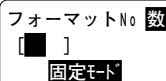
初期設定を行います

操作をはじめる前に

- 25mmのラベルを、「剥離」の方法でセットしましはくりよう
- 電源が入っているか確認しましはくりよう

1

〔登録〕を押します。



- 〔0〕〔0〕と押します。
初期設定をするときは、「0」「0」を入力します。
- 〔登録〕を押します。

2

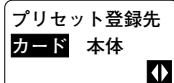
ラベルサイズを選びます。



- 〔↑〕〔↓〕〔←〕〔→〕を押して、「25mm」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

3

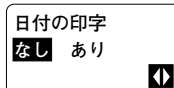
プリセットの登録先を選びます。



- 〔←〕〔→〕を押して、「カード」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

4

日付を印字するか、しないかを選びます。



- 〔←〕〔→〕を押して、「なし」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

■電源の入れかた→「第2章 本機のセッティング」

■用紙のセットのしかた→41ページ

■チェックデジット→「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」

■カーソル…画面上の文字に重なった■を「カーソル」と呼びます。カーソルは、「なし あり」などといった選択肢の画面で表示されます。〔↑〕〔↓〕〔←〕〔→〕を押して、選びたい方にカーソルを合わせます。

5 価格の位置を選びます。

価格の印字位置

上 下



- ← → を押して、カーソルを「上」に合わせます。
- (登録) を押します。

6 価格の文字の大きさを選びます。

価格文字の大きさ

標準 拡大



- ← → を押して、カーソルを「標準」に合わせます。
- (登録) を押します。

7 ¥マークを印字するかしないかを選びます。

¥マークの付加

する しない



- ← → を押して、カーソルを「する」に合わせます。
- (登録) を押します。

8 価格にカンマをつけるかどうかを選びます。

価格カンマの付加

しない する



- ← → を押して、カーソルを「しない」に合わせます。
- (登録) を押します。

9 プリセット番号を印字するかしないかを選びます。

プリセットNo印字

する しない



ここでは設定する必要のない項目です。

- (登録) を押します。

10 ガードバーの長さを選びます。

ガードバー長さ

普通 長い



- ← → を押して、カーソルを「普通」に合わせます。
- (登録) を押します。

11 印刷の方法を選びます。

発行形態

連続 剥離



- ← → を押して、カーソルを「剥離」に合わせます。
- (登録) を押します。
連続（連続印字）を選ぶと、このあとチェックラベルを印字するかどうかを選ぶ画面になります。

12 印字の方向を選びます。

印字方向

頭出し 尻出し



- ← → を押して、カーソルを「頭出し」に合わせます。
- (登録) を押します。
「印字位置調整」の画面が表示されます。
- このまま (登録) を押します。

■手順11で剥離を選べばリアルタイム印字をするかどうかを選ぶ画面になります。今回の例ではOFFを選択し(登録)を押します。次に都度発行機能をありにするかどうかを選ぶ画面となります。今回の例ではなしを選んで、(登録)を押します。

■プリセット番号…本機では、バーコード・価格といったデータを登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼び、登録データを整理するためにつけた番号をプリセット番号と呼びます。

■印字位置調整の画面については、「第3章 ラベルのスタイルを決める(初期設定)」で詳しく説明しています。

データを入力します

13 フォーマット番号を入力します。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

- 「11」を入力します。
① ②～⑨を使って、2桁で入力してください。
- 登録**を押します。

15 部門コードを入力します。

[コード] 数
**

- 「456」と入力します。
① ②～⑨を使って、部門コードデータを入力してください。
- 登録**を押します。

14 バーコードデータを入力します。

【JAN13】 数
*****C

- 「123456789012」と入力します。
① ②～⑨を使って、バーコードデータ12桁すべてを入力してください。データを正しく入力しないと、次の操作に進めません。
- 登録**を押します。

●入力とは…

- ①～⑨のキーを押して、数字を画面に表示させることを「入力」と呼びます。
- カーソルの位置に、数字が入力されます。

●入力を間違えたときは…

- ← → を押して、カーソルを間違えた数字に合わせ、正しい数字を入力します。

●数字をすべてを消したいときは…

- **AC** を押します。

こんな画面が表示されたら

ラベルサイズ
設定エラー

- ① **設定**を押して「00」と入力し、**登録**を押します。
- ② 初期設定の画面が表示されますので、正しいラベルのサイズを選んでください。

重要 フォーマットによって、ラベルサイズは異なってきます。180ページの表をご覧ください、フォーマットにあったサイズのラベルをセットしましょう。

■手順14の画面で、末尾に「C」と表示されている部分はチェックデジットです。自動的に計算される部分ですので、入力の必要はありません。

16 価格を入力します。

【価格】

数

Y

- 「2500」と入力します。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
①～⑨を使って、商品の価格を入力してください。

- 登録を押します。



- ラベルが印字されます。
- 印字されたラベルをはがすと、次のラベルが印字されます。
- ラベルの印字を終了させるときは、発行/停止を押します。
発行/停止を押すと、手順14の画面に戻ります。
- 印字が終わったら、電源を切ってください。

こんなときは

| | |
|---------------|-------------------------|
| ひとつ前の画面にもどるには | 前画面を押します。 |
| はじめからやりなおすには | 設定を押します。操作のはじめの画面に戻ります。 |

操作の流れはわかりましたか？

ひきつづき、違うフォーマットで練習してみましょう。

入力するデータが違っただけで、操作方法は120～123ページと同じです。

「フォーマット番号11番」のバーコードラベルを、1枚ずつ印字してみましよう

例

【初期設定】

- ラベルサイズ：35mm
- プリセット登録先：カード
- 日付：なし
- リサイクルマーク：あり
- 原産地：あり
- 価格の位置：上
- 価格の大きさ：標準
- ¥マーク：する
- 価格カンマ：しない
- ガードバーの印字：普通
- 印字の方法：1枚ずつ印字（剥離、リアルタイム印字：OFF、都度発行機能：なし）
- 印字の方向：頭出し

フォーマット番号：11

データ

- ①バーコードデータ：1234567890128
- ②部門データ：123
- ③価格：123456

【バーコード構成】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 8

バーコード

チェックデジット



※チェックデジットの入力は必要ありません。

初期設定を行います

操作をはじめる前に

- 35mmのラベルを、「剥離」の方法でセットしましよう
- 電源が入っているか確認しましよう

1

〔登録〕を押します。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

- 〔0〕〔0〕と押します。
初期設定をするときには、「0」「0」を入力します。
- 〔登録〕を押します。

2

ラベルサイズを選びます。

用紙サイズ
25mm 35mm 38mm
16mm 20mm

- 〔↑〕〔↓〕〔←〕〔→〕を押して、「35mm」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

3

プリセットの登録先を選びます。

プリセット登録先
カード 本体

- 〔←〕〔→〕を押して、「カード」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

4

リサイクルマークを印字するか、しないかを選びます。

リサイクルマーク
あり なし

- 〔←〕〔→〕を押して、「あり」にカーソルを合わせます。
- 〔登録〕を押します。

■電源の入れかた→「第2章 本機のセッティング」

■用紙のセットのしかた→41ページ

■チェックデジット→「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」

■カーソル…画面上の文字に重なった■を「カーソル」と呼びます。カーソルは、「なし あり」などといった選択肢の画面で表示されます。〔↑〕〔↓〕〔←〕〔→〕を押して、選びたい方にカーソルを合わせます。

5 リサイクルマークテーブルNo.を入力します。

リサイクルマークNo. **数**
初期値 [01]

- [0] [1] と押します。
- **登録**を押します。

6 原産地を印字するか、しないかを選びます。

原産地
あり なし

- **← →**を押して、「あり」にカーソルを合わせます。
- **登録**を押します。

7 原産地テーブルNo.を入力します。

原産地テーブルNo. **数**
初期値 [001]

- [0] [0] [1] と押します。
- **登録**を押します。

8 日付を印字するか、しないかを選びます。

日付の印字
なし あり

- **← →**を押して、「なし」にカーソルを合わせます。
- **登録**を押します。

9 価格の位置を選びます。

価格の印字位置
上 下

- **← →**を押して、カーソルを「上」に合わせます。
- **登録**を押します。

10 価格の文字の大きさを選びます。

価格文字の大きさ
標準 拡大

- **← →**を押して、カーソルを「標準」に合わせます。
- **登録**を押します。

11 ¥マークを印字するかしないかを選びます。

¥マークの付加
する しない

- **← →**を押して、カーソルを「する」に合わせます。
- **登録**を押します。

12 価格にカンマをつけるかどうかを選びます。

価格カンマの付加
しない する

- **← →**を押して、カーソルを「しない」に合わせます。
- **登録**を押します。

13 プリセット番号を印字するかしないかを選びます。

プリセットNo印字
☒ する ☐ しない

ここでは設定する必要のない項目です。

- **登録**を押します。

14 ガードバーの長さを選びます。

ガードバー長さ
☒ 普通 ☐ 長い

- **← →**を押して、カーソルを「普通」に合わせます。
- **登録**を押します。

15 印刷の方法を選びます。

発行形態
 連続 ☒ 剥離

- **← →**を押して、カーソルを「はくり剥離」に合わせます。

- **登録**を押します。

連続（連続印字）を選ぶと、このあとチェックラベルを印字するかどうかを選ぶ画面になります。

16 印字の方向を選びます。

印字方向
☒ 頭出し ☐ 尻出し

- **← →**を押して、カーソルを「頭出し」に合わせます。
- **登録**を押します。
 「印字位置調整」の画面が表示されます。
- このまま **登録**を押します。

■手順15で剥離を選ぶとリアルタイム印字をするかどうかを選ぶ画面になります。今回の例ではOFFを選択し**登録**を押します。次に都度発行機能をありにするかどうかを選ぶ画面となります。今回の例ではなしを選んで**登録**を押します。

■プリセット番号…本機では、バーコード・価格といったデータを登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼び、登録データを整理するためにつけた番号をプリセット番号と呼びます。

■印字位置調整の画面については、「第3章 ラベルのスタイルを決める（初期設定）」で詳しく説明しています。

データを入力します

17 フォーマット番号を入力します。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

- 「11」を入力します。
①②～⑨を使って、2桁で入力してください。
- 登録**を押します。

19 部門コードを入力します。

【コード】 数
[]

- 「456」を入力します。
①②～⑨を使って、部門コードデータを入力してください。
- 登録**を押します。

18 バーコードデータを入力します。

【JAN13】 数
[]

- 「123456789012」と入力します。
①②～⑨を使って、バーコードデータ12桁すべてを入力してください。データを正しく入力しないと、次の操作に進めません。
- 登録**を押します。

●入力とは…

- ①②～⑨のキーを押して、数字を画面に表示させることを「入力」と呼びます。
- カーソルの位置に、数字が入力されます。

●入力を間違えたときは…

- ←** **→**を押して、カーソルを間違えた数字に合わせ、正しい数字を入力します。

●数字をすべてを消したいときは…

- AC**を押します。

こんな画面が表示されたら

ラベルサイズ
設定エラー

- ①**設定**を押して「00」と入力し、**登録**を押します。
- ②初期設定の画面が表示されますので、正しいラベルのサイズを選んでください。

重要

フォーマットによって、ラベルサイズは異なってきます。180ページの表をご覧ください、フォーマットにあったサイズのラベルをセットしましょう。

- 手順18の画面で、末尾に「C」と表示されている部分はチェックデジットです。自動的に計算される部分ですので、入力の必要はありません。

20 原産地を確認します。

【原産地名】 数
[001]
愛知県産

●(登録)を押します。

●変更したい場合や初期値が設定されていない場合は…

- (0)～(9)を使って、原産地テーブルNo.を入力してください。
- (呼出)を押すと原産地を表示します。

●入力を間違えたときは…

- (←)(→)を押して、カーソルを間違えた数字に合わせ、正しい数字を入力します。

●原産地テーブルNo.などを消したいときは…

- (AC)を押します。

●原産地テーブルNO.を検索するときは

【原産地名】 数
[010]
岡山県産

①(↑)(↓)(←)(→)を押して、検索してください。

No.と原産地名が表示されます。

②確定したら(登録)を押します。

■(↑)(↓)(←)(→)の動きについて

- (↑)(↓)はNo.が10ずつ移動します。
- (←)(→)はNo.が1ずつ移動します。

■原産地テーブルNo.の欠番について

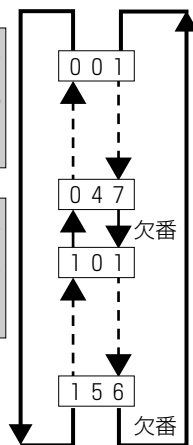
- 048～100は欠番ですので、047の次が101になります。
- 157～175も欠番になりますので、156の次が001になります。

(←)を押すとNo.が1つ減ります。

(↓)を押すとNo.が10減ります。

(→)を押すとNo.が1つ増えます。

(↑)を押すとNo.が10増えます。



■手順20の画面で、初期値が入力されていない状態で(登録)を押すと手順21の画面に移ります。その場合は原産地名は印字しません。

21 価格を入力します。

| | |
|--------|---|
| 【価格】 | 数 |
| ¥***** | |

- 「123456」と入力します。

① ～ ⑨ を使って、商品の価格を入力してください。

- (登録) を押します。

22 リサイクルマークを確認します。

| | |
|------------|---|
| 【リサイクルマーク】 | 数 |
| [01] | |
| プラ | ⬆ |

- (登録) を押します。



- ラベルが印字されます。
- 印字されたラベルをはがすと、次のラベルが印字されます。
- ラベルの印字を終了させるときは、(発行/停止) を押します。
(発行/停止) を押すと、手順18の画面に戻ります。
- 印字が終わったら、電源を切ってください。

- 変更したい場合や初期値が設定されていない場合は…

- ① ～ ⑨ を使って、リサイクルマークテーブルNo.を入力してください。
- (呼出) を押すとリサイクルマークテーブル名称を表示します。

- 入力を間違えたときは…

- (←) (→) を押して、カーソルを間違えた数字に合わせ、正しい数字を入力します。

- リサイクルマークテーブルNo.などを消したいときは…

- (AC) を押します。

■ 手順22の画面で、初期値が入力されていない状態で(登録)を押すと印字開始します。その場合はリサイクルマークは印字しません。

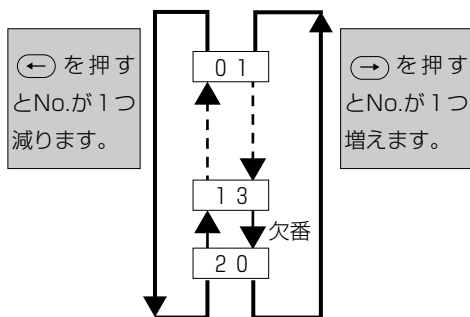
●リサイクルマークテーブルNo.を検索するときは

| | |
|------------|---|
| 【リサイクルマーク】 | 数 |
| [10] | |
| プラPP | ↓ |

- ① (←) (→) を押して、検索してください。
No.と名称が表示されます。
- ②確定したら(登録)を押します。

- (←) (→) の動きについて
- ・ (←) (→) はNo.が1つずつ移動します。

- リサイクルマークテーブルNo.の欠番について
- ・ 14～19は欠番ですので、13の次が20になります。
 - ・ 20の次が01になります。



「フォーマット番号34番」のバーコードラベルを1枚ずつ印字してみましよう

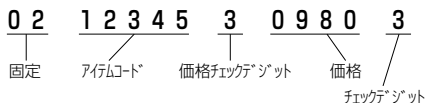
例

フォーマット番号：34

データ

- ①アイテムデータ：12345
- ②部門データ：550
- ③価格：980

【バーコード構成】



※価格チェックデジットとチェックデジットの入力は必要ありません。

操作をはじめる前に

- 電源が入っているか確認しましろう

1

(設定)を押します。

2

フォーマット番号を入力します。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

- 「34」を入力します。
①～⑨を使って、2桁で入力してください。
- (登録)を押します。

3

アイテムを入力します。

【アイテム】 数
[]

- 「12345」と入力します。
①～⑨を使って、アイテム5桁を入力してください。
データを正しく入力しないと、次の操作に進めません。
- (登録)を押します。

こんな画面が表示されたら

ラベルサイズ
設定エラー

- ①(設定)を押して「00」と入力し、(登録)を押します。
- ②初期設定の画面が表示されますので、正しいラベルのサイズを選んでください。

重要

フォーマットによって、ラベルサイズは異なってきます。180ページの表をご覧ください、フォーマットにあったサイズのラベルをセットしましろう。

4 部門コードを入力します。

| | |
|-------|---|
| 【コード】 | 数 |
| 0000 | |

- 「550」と入力します。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ を使って、部門コードデータを入力してください。
- 登録**を押します。

5 価格を入力します。

| | |
|------|---|
| 【価格】 | 数 |
| ¥980 | |

- 「980」と入力します。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ を使って、商品の価格を入力してください。
- 登録**を押します。



印字例



- ラベルが印字されます。
- 印字されたラベルをはがすと、次のラベルが印字されます。
- ラベルの印字を終了させるときは、**発行/停止**を押します。
発行/停止を押すと、手順3の画面に戻ります。
- 印字が終わったら、電源を切ってください。

初期設定

- ラベルサイズ25mm
- 日付：なし
- 価格の位置：上 ●価格の大きさ：標準
- ¥マーク：する
- 価格カンマ：しない
- ガードバーの印字：普通

「フォーマット番号42番」のバーコードラベルを3枚連続で印字してみましょう

例

フォーマット番号：42

データ

①フラグ：04

②アイテムデータ：1234

③部門データ：230

④価格：1980

【バーコード構成】

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---------|---|---|---|----|---|---|---|---|---|----------|
| 0 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 9 | 8 | 0 | 0 |
| フラグ | | アイテムコード | | | | 価格 | | | | | | チェックデジット |

※チェックデジットの入力は必要ありません

操作をはじめる前に

- 16mmのラベルを、「連続印字」の方法でセットしましょう
- 電源が入っているか確認しましょう

1

初期設定を変更します。

- 必要に応じて初期設定を変更してください。
- ここでは、ラベルのサイズを変更しますので、「ラベルサイズ 16mm」と設定します。
「連続印字」しますので、「発行形態 連続」と設定します。

初期設定の変更がないときは、**〔設定〕**を押し、手順2のフォーマット番号を入力するところから始めます。

2

フォーマット番号を入力します。

フォーマットNo 数
[]
固定モード

- 「42」を入力します。
①～⑨を使って、2桁で入力してください。
- 〔登録〕**を押します。

3

フラグデータを入力します。

【フラグ】 数
[]

- 「04」と入力します。
①～⑨を使って、フラグ2桁を入力してください。
データを正しく入力しないと、次の操作に進めません。
- 〔登録〕**を押します。

こんな画面が表示されたら

ラベルサイズ
設定エラー

- ①**〔設定〕**を押して「00」と入力し、**〔登録〕**を押します。
- ②初期設定の画面が表示されますので、正しいラベルのサイズを選んでください。

重要

フォーマットによって、ラベルサイズは異なってきます。180ページの表をご覧ください、フォーマットにあったサイズのラベルをセットしましょう。

4 アイテムを入力します。

| 【アイテム】 | 数 |
|--------|---|
| ■**** | |

- 「1234」と入力します。
①～⑨を使って、アイテム4桁を入力してください。
- 登録**を押します。

5 部門コードを入力します。

| 【コード】 | 数 |
|-------|---|
| ■** | |

- 「230」と入力します。
①～⑨を使って、部門コードデータを入力してください。
- 登録**を押します。

6 価格を入力します。

| 【価格】 | 数 |
|---------|---|
| ¥■***** | |

- 「1980」と入力します。
①～⑨を使って、商品の価格を入力してください。
- 登録**を押します。

7 印字するラベルの枚数を指定します。

| 【枚数】 | 数 |
|------|---|
| ■*** | |

- 「3」と入力します。
①～⑨を使って、印字するラベルの枚数を入力してください。
- 登録**を押します。



印字例



- 3枚連続してラベルが印字されます。
- 初期設定で「チェックラベル あり」としていると、印字の最後にチェックラベルが印字されます。
- 設定**を押すと、フォーマット番号を入力する画面に戻ります。
- 印字が終わったら、電源を切ってください。

初期設定

- ラベルサイズ 16mm
- 日付：なし
- 価格の位置：上 ●価格の大きさ：標準
- ¥マーク：する ●価格のカンマ：しない
- ガードバーの印字：普通

■初期設定で発行形態を「はくろ剥離」としていると、手順7の画面は表示されません。

●データを登録してみよう●

ラベルに印字する固定データ（品名・コード・バーコード・価格など）を登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。データを登録しておけば、いつでも呼び出してラベルを印字できるので、入力の手間が省けます。

登録

| | | |
|----|-------|----|
| 品名 | バーコード | 価格 |
|----|-------|----|

| | | | | | | | | |
|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|
| 品名 | バーコード | 価格 | 品名 | バーコード | 価格 | 品名 | バーコード | 価格 |
|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|

ラベルのフォーマットを、1種類決めます。

0010

0001~9999

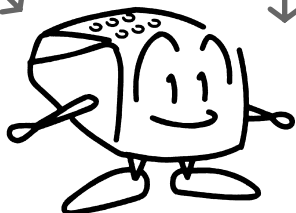
プリセット番号（登録番号）を決めます。

ジャガイモ

| | |
|---------|------|
| 02xxxxx | ¥120 |
|---------|------|

| 品名 | 価格 | バーコードデータ |
|-------|------|----------|
| ジャガイモ | ¥120 | 02xxxxx |
| 白菜 | ¥250 | 20xxxxx |
| 大根 | ¥340 | : |
| : | : | : |
| リンゴ | ¥520 | xxxxxxC |

フォーマットに合わせて、品名や価格、バーコードデータを入力後、**登録**を押します。



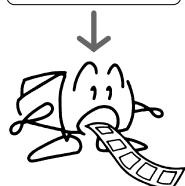
呼び出し・印字

| | | |
|------------|--------|---|
| 発行プ | リセットNo | 数 |
| 2001/01/01 | 12:00 | |

プリセット番号を入力します。

| | |
|------|---|
| 【品名】 | 加 |
| 高原野菜 | |

登録された内容を確認します。



発行する枚数を入力し、**登録**を押します。



- 登録できるのは25mmと35mmサイズのラベルだけです。180～185ページをご覧ください、25mmと35mm対応のフォーマットを確認してください。
- プリセット番号はデータごとに別々につけてください。すでに登録されているプリセット番号を入力しようとすると、「データ登録済み」と表示されます。

例

【整理するための番号】

プリセット番号：100

【登録するデータ】

フォーマット番号：01

データ

①アイテムデータ：1234567

②部門データ：550

③価格：980

④品名：高原野菜

1

登録できる状態にします。

- ①(呼出)を押します。

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

- ②(→)を1回押して「登録」にします。

- ③(登録)を押します。

2

登録するデータのフォーマット番号を入力します。

登録フォーマットNo 数
[]

- 「01」を入力します。

(0)～(9)を使って、2桁以内で入力してください。

- (登録)を押します。

3

プリセット番号を入力します。

登録プリセットNo 数
[]
コピーNo []

- 「100」を入力します。

(0)～(9)を使って、4桁以内で入力してください。

- (登録)を押します。

4 バーコードを入力します。

| | |
|---------|---|
| 【JAN 8】 | 数 |
| ■*****C | |

- 「1234567」と入力します。
①～⑨を使って、バーコード7桁を入力してください。
データを正しく入力しないと、次の操作に進めません。
- 登録を押します。

5 部門コードを入力します。

| | |
|-------|---|
| 【コード】 | 数 |
| ■** | |

- 「550」を入力します。
①～⑨を使って部門コードデータを入力してください。
- 登録を押します。

6 価格を入力します。

| | |
|--------|---|
| 【価格】 | 数 |
| ■***** | |

- 「980」と入力します。
①～⑨を使って、商品の価格を入力してください。
価格は、データを読み出すときに変更することができます。
- 登録を押します。

7 品名を入力します。

| | |
|--------|---|
| 【品名】 | 加 |
| ■..... | |

- 「高原野菜」と入力します。
- 登録を押します。



- これで、データが登録されました。
- ひきつづきデータを登録するときは、手順3からの操作を繰り返します。
- 登録の操作を終わるときは、設定を押します。



次のページでデータを読み出して
みましょう

- 漢字の入力については「第1章 キーのはたらき」の文字入力方法で詳しく説明しています。
- 登録データの変更・削除などについては、「第4章 データを登録する」で詳しく説明しています。
- カタカナ・英文字・数字・記号の入力については、「第1章 キーのはたらき」で詳しく説明しています。

●データを呼び出して印字してみましょう●

登録してあるデータを呼び出して、印字してみましょう。

呼び出したときに、価格を修正することができます。

操作をはじめる前に

- データは登録されていますか？
- 25mmサイズのラベルをセットしましょう。
- 必要に応じて、「初期設定」の変更を行います。

例

【呼び出すデータ】

プリセット番号：100

フォーマット番号：01

データ

- ①品名：高原野菜
- ②バーデータ：1234567
- ③部門データ：550
- ④価格：980

1

(呼出)を押します。

プリセット

発行 登録 変更

削除 ダンプ

- (登録)を押します。

2

プリセット番号を入力します。

発行プリセットNo 数

[]

2001/01/01 12:00

- 「100」を入力します。
(0)～(9)を使って、4桁以内で入力してください。
- (登録)を押します。

■プリセット番号…登録したデータ（プリセットデータ）を整理するためにつけた番号をプリセット番号と呼びます。

3 品名を確認します。

【品名】 高野菜 数

登録データが表示されます。
確認してください。

- **登録**を押します。

4 価格を確認します。

【価格】 ¥880 数

登録データが表示されます。
確認してください。
価格を変更することもできます。

- **登録**を押します。

5 印字するラベルの枚数を指定します。

【枚数】 3 数

- **「3」と入力します。**

①～⑨を使って、印字するラベルの枚数を入力してください。

- **登録**を押します。



- 3枚連続してラベルが印字されます。
- **設定**を押すと、フォーマット番号を入力する画面に戻ります。
- ラベルの作成が終わったら、電源を切ってください。

印字例



初期設定

- ラベルサイズ 25mm
- 日付：なし
- 価格の位置：上
- 価格の大きさ：標準
- ¥マーク：する
- 価格のカンマ：しない
- プリセットNo印字：する
- ガードバーの印字：普通

■初期設定で発行形態を「はくり剥離」としていると、手順5の画面は表示されません。

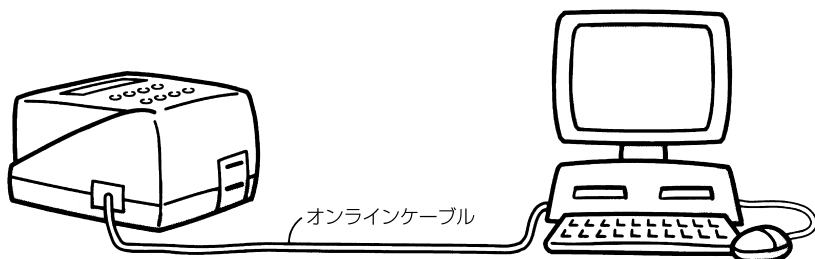
第7章

オンライン発行

本機は、ホストコンピュータと接続して、オンラインでラベルを発行することができます。

この章では、ホストコンピュータからプリンタにデータを転送するときに、どのような指定を行うかについて説明しています。

オンラインで発行する



本機とホストコンピュータ（以降ホストと表記します）をオンラインケーブルで接続し、オンライン発行ができます。

ただし、無線LANインタフェース、Bluetoothインタフェースでオンライン発行する場合には、オンラインケーブルは必要ありません。

印字するフォーマットや印字データ、発行枚数などは、ホスト側で指定します。

「コマンドについて」で説明しているコマンド内容にしたがってデータを送信してください。

本機の手操作説明



「第5章 本機の手操作説明」をご覧ください。起動画面設定をオンラインにすると、起動時にフォーマットNo入力の画面ではなく

オンラインモード

〈固定〉

の画面になります。

1

プリンタ本体の電源を切ります。

シリアルインタフェースの場合、オンラインケーブルをRS-232C用コネクタに差し込みます。

2

各インタフェースの通信条件を設定します。

「第5章 本機の手操作説明」をご覧ください。起動画面設定をオンラインにすると、起動時にフォーマットNo入力の画面ではなく

3

プリンタの電源を入れて、〈設定〉を押します。

4

フォーマットNo 数
[7 0]
固定モード

「70」を入力します。

〈登録〉を押します。

オンラインモード

〈固定〉

ここで、ホストからデータを送信してください。

コマンドについて

コマンドの表現方法

以下のような形式で「印字する文字の種類・大きさ・印字する位置」などを指定します。

〈C〉 3456

コマンド 印字する文字

上のコマンド例は、「“3456”と印字しなさい」という意味です。また、コマンドである「C」は、印字する文字ではなくホストからの指示であることを示す符号です。

「C」を送信するまえに、符号「ESC」を送信します。



「ESC」は文字コードの16進数であり、(1Bh)で指定する符号です。

このページ以降の説明では、〈C〉は「ESC・C」の2文字を送信することを示します。

コマンドの基本構成

本機に送るコマンドは「冒頭指定→フォーマット指定→印字データ指定→枚数指定→末尾指定」の順で構成します。

■コマンドの具体例

| | | | | |
|----------|-------|------------------|---|---------|
| 冒頭指定 | ．．．．． | STX | } | 印字データ数分 |
| フォーマット指定 | ．．． | フォーマット番号や発行方法など | | |
| 印字データ指定 | ．．． | コントロールコマンドと印字データ | | |
| | | | } | |
| 枚数指定 | ．．．．． | 〈L〉 | | |
| 末尾指定 | ．．．．． | ETX | | |

冒頭指定コマンド

STX [02h]

データの開始を示すコマンドです。

このコマンドを受信する前に起こった通信エラーや、送信したデータはすべて無効となります。



ホスト側の回線オープン／クローズの際に、制御できない符号を受信する場合があります。

また、エラー受信回数500回まではエラーとして表示はされません。

末尾指定コマンド

ETX [03h]

データの終了を示すコマンドです。

このコマンドを送信する前に「フォーマット指定・印字データ指定・発行枚数情報」を送信しておいてください。

フォーマット指定コマンド

〈F〉dd

オンラインで発行するフォーマットを指定するコマンドです。
F1からF8まで必ず8個のデータにより指定されます。

| | | | | | | | | | |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ESC | F | F1 | F2 | F3 | F4 | F5 | F6 | F7 | F8 |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|

| | | |
|----|---------------|--|
| F1 | JAN8桁／13桁指定 | 8桁：30h 13桁：31h |
| F2 | オンラインフォーマット番号 | 1：31h 2：32h 3：33h 4：34h 5：35h 6：36h 8：38h 9：39h 10：3Ah (* : *) 11：3Bh (* ; *) |
| F3 | ダミー | 30h／31h 指定を行う |
| F4 | 発行指定 | 連続：31h 剥離 ^{はくり} ：30h |
| F5 | チェックラベル有無指定 | チェックラベル有：31h チェックラベル無：30h |
| F6 | 価格の拡大印字指定 | 拡大印字：31h 通常印字：30h |
| F7 | 品名印字有無指定 | 品名 あり：31h 品名 なし：30h |
| F8 | JAN2段目8桁／13指定 | 8桁：30H 13桁：31H (バーコード1段のフォーマットは30h) |

F2：オンラインフォーマット番号については、147～148ページのオンラインフォーマット一覧表をご覧ください。

F6：価格拡大（31h）を指定すると、バーの天地が短くなります。

また、部門データは3桁までしか印字できませんので、4桁目を空白にしてください。

F7：品名あり（31h）を指定できるのは、25ミリか38ミリラベルを使用するときだけです。価格拡大を指定したときは、品名は印字できません。

送信データ例

例1

JAN8桁 フォーマット2 連続発行 チェックラベルなし
 価格通常印字 品名なし 発行枚数5枚

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|
| S | E | F | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | E | A | 4 | 9 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | sp | sp | sp | sp | sp |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| E | C | 1 | 2 | 3 | sp | E | P | ¥ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | E | L | 0 | 0 | 0 | 5 | E | X |
|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

例2

JAN13桁 フォーマット2 連続発行 チェックラベルあり
 価格通常印字 品名なし 発行枚数10枚

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S | E | F | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | E | A | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 1 | 2 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| E | C | 1 | 2 | 3 | 4 | E | P | sp | sp | ¥ | 1 | 9 | 8 | 0 | E | L | 0 | 0 | 1 | 0 | E | X |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

例1



例2



漢字コードのデータ送信

〈K〉 のときは、印字データとしてJIS漢字コードを送信してください。
 JIS漢字コード4桁を2桁ずつに分けて指定します。









| ケ | | 0 1 2 3 | 4 5 6 7 | 8 9 A B | C D E F |
|---|------|---------|---------|---------|---------|
| | 3760 | 劇 戟 撃 激 | 隙 桁 傑 欠 | 決 潔 穴 結 | 血 訣 月 件 |
| | 3770 | 俟 倦 健 兼 | 券 剣 喧 圈 | 堅 嫌 建 憲 | 懸 拳 捲 |
| | 3820 | 検 権 牽 | 犬 献 研 硯 | 絹 梟 肩 見 | 謙 賢 軒 遣 |
| | 3830 | 鍵 険 顕 験 | 鯀 元 原 嚴 | 幻 弦 減 源 | 玄 現 絃 絃 |
| | 3840 | 言 諺 限 | | | |

例) 「原材料」と印字したいとき

原 (3836) 材 (3A60) 料 (4E41)
 38h 36h 3Ah 60h 4Eh 41h (16進数) → b1 b2 b3 b4 b5 b6
 38h 36h 3Ah 60h 4Eh 41h
 漢字は8文字まで指定できます。

オンラインフォーマット一覧表

| オンライン フォーマット NO | 8 桁 | 13 桁 | 備 考 |
|-----------------------|---|---|--------------|
| 1 |  |  | ラベルサイズ25.4mm |
| 2 |  |  | |
| 3 |  |  | 日付印字 |
| 4 |  |  | 日付印字 |
| 5 |  |  | ラベルサイズ20.3mm |
| 6 |  |  | |

| オンライン フォーマット NO | 8 桁 | 13 桁 | 備 考 |
|-----------------------|--|--|--------------|
| 8 |  |  | ラベルサイズ38.1mm |
| 9 |  |  | |
| 10 |  |  | ラベルサイズ16mm |
| 11 |  |  | |

シリアルインタフェースについて

本機のシリアルインタフェースは、RS-232Cに準じています。また、各種受信モードについては「第5章 本機の環境を変える」を参照してください。

インタフェース仕様

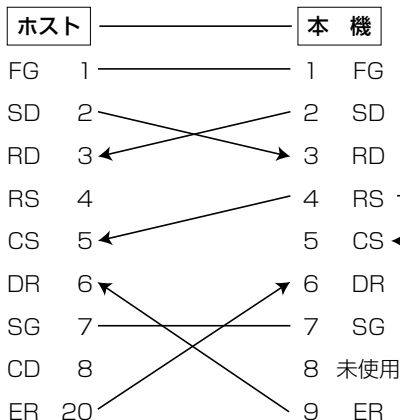
| 項 目 | 内 容 |
|--------|---|
| プロトコル | ACK/NAK制御（1アイテム受信） |
| 通信速度 | 4800/9600/19200bps（切替可能） |
| 同期式 | 調歩同期式 |
| キャラクター | 構成データビット 8ビット JISコード スタートビット 1ビット ストップビット 1ビット パリティチェック 偶数/奇数/無し（切替可能） |
| 接続コネクタ | プリンタ側 DSUB-9P（相当品） ホスト側 DSUB-25P（相当品） ケーブル長 5m以下 |
| 伝送形式 | スタート b1 b2 b3 b4 b5 b6 b7 b8 ストップ |
| 信号レベル | Highレベル : +5～+12V Lowレベル : -5～-12V |

第7章

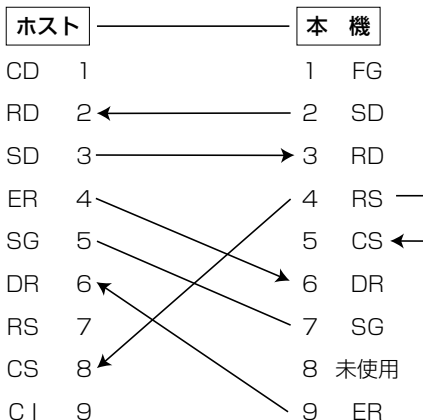
シリアルインタフェースについて

ホストコンピュータと本機の結線図

①ホストが25ピンの場合



②ホストが9ピンの場合



参考 結線図の番号は、ピン番号を表しますが、ホスト側は機種により異なることがあります。

入出力信号について

| ピン番号 | 信号名 | 方 向 | 内 容 |
|------|-----|-----|---|
| 1 | FG | — | フレームグランド |
| 2 | SD | 出力 | プリンタからホスト側に転送するデータ |
| 3 | RD | 入力 | ホスト側からプリンタに転送されるデータ |
| 4 | RS | 出力 | 常に“High”レベルとなります。 |
| 6 | DR | 入力 | 常に“High”を保持してください。 |
| 7 | SG | — | シグナルグランド |
| 9 | ER | 出力 | オンラインモードのとき、“High”となります。 通常の発行モード（オフライン）のときは、“Low”となります。 |

通信プロトコル

本機の通信プロトコルは、ACK、NAKを基本とした、ソフトウェアハンドシェイクによる方式です。

また、このプロトコルでは下記のコードを制御コードとして使用しています。

制御コード表

| 名 称 | コード | 処 理 | 仕 様 |
|---------|---------|--------------|------------|
| ENQ | 05h | 問い合わせ | ホスト → プリンタ |
| ACK | 06h | 肯定応答 | ホスト ← プリンタ |
| NAK | 15h | 否定応答 | ホスト ← プリンタ |
| STX | 02h | TEXTデータ開始 | ホスト → プリンタ |
| ETX | 03h | TEXTデータ終了 | ホスト → プリンタ |
| ESC | 1Bh | コマンド指定用 | ホスト → プリンタ |
| ESC “Q” | 1Bh 51h | 発行管理（1枚発行終了） | ホスト ← プリンタ |

エラーコード

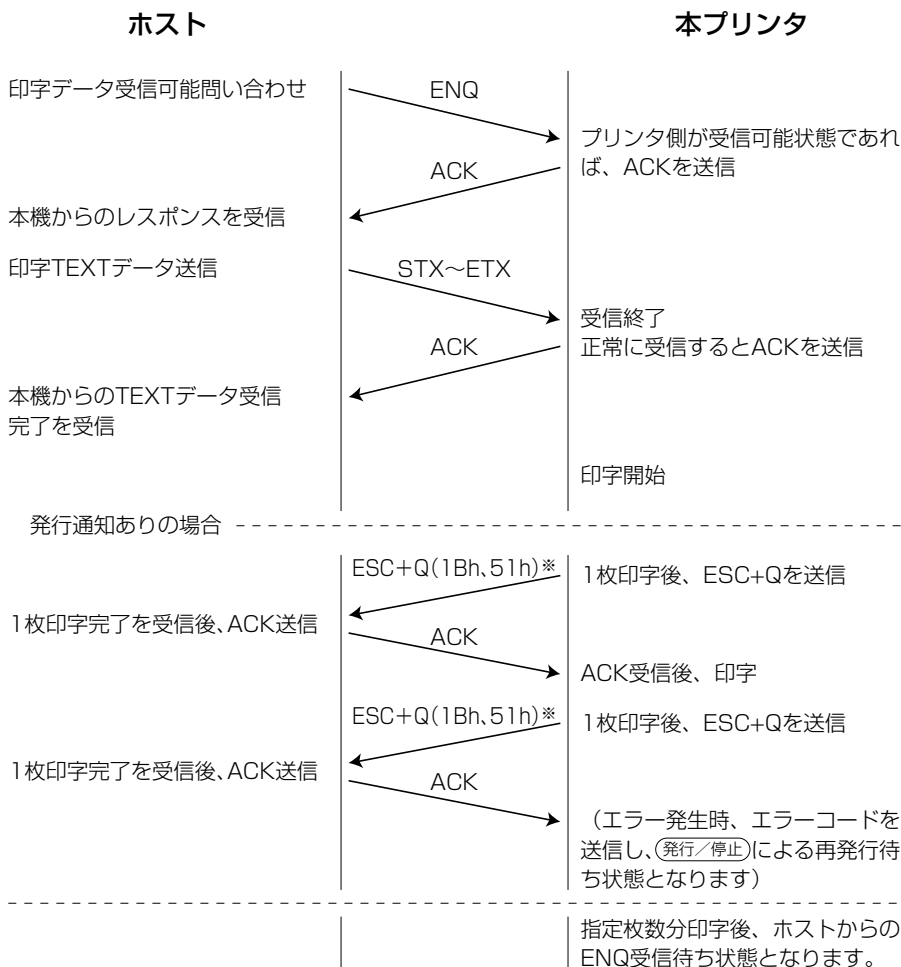
| 名 称 | コード | 処 理 | 仕 様 |
|---------|---------|---------|------------|
| ESC “L” | 1Bh 4Ch | ローバッテリー | ホスト ← プリンタ |
| ESC “P” | 1Bh 50h | ペーパーエンド | ホスト ← プリンタ |
| ESC “H” | 1Bh 48h | カバーオープン | ホスト ← プリンタ |



発行枚数とエラーコードを通知するかどうかについては、「第5章 本機の環境を変える」を参照してください。

プロトコル手順

①正常動作の場合



印字中にENQを受信すると、ホストにNAKを送信します。
また、ENQによる受信可能の問い合わせは省略可能です。

エラーコード返送制御

発行通知有りの設定になっているときは、エラーが発生した際にESC+Qのかわりにエラーコードを送信します。また、ESC+Q送信のタイミング以外では、エラーが発生してもエラーコードを送信しません。

本機は、ホストにエラーコードを送信した後、(発行/停止)を押すことで再発行待ち状態となります（エラーコード受信後のACK送信は必要ありません。）

①通常処理

[illegible]

ハード信号による制御は行わず、ソフトウェアによる制御を行います。

※ペーパーエンド、ピッチエラー発生時もER、RSはHighレベルです。

※受信・解析・情報処理中に(紙送)キーを押しても無効です。

コーディング サンプル

```

100 STX$=CHR$ (2) : ETX$=CHR$ (3) : ESC$=CHR$ (27)
110 OPEN "COM:N81NN" AS #1
120 PRINT #1,STX$;ESC$;"F11011010";
130 PRINT #1,ESC$;"A4912345678904";
140 PRINT #1,ESC$;"C1234";
150 PRINT #1,ESC$;"N4567サラダドレッシング";
160 PRINT #1,ESC$;"P      ¥490";
170 PRINT #1,ESC$;"L0005";
180 PRINT #1,ETX$;
190 A$=INPUT$ (1,#1)
200 IF A$=CHR$ (6) THEN N=5 : GOTO 210 ELSE 190
210 A$=INPUT$ (2,#1)
220 IF A$=ESC$+"Q" THEN 230 ELSE 210
230 PRINT #1,CHR$ (6) ;
240 N=N-1 : LOCATE 0,3 : PRINT USING "QTY=####";N
250 IF N=0 THEN 260 ELSE 210
260 CLOSE #1

```

印字サンプル



補足説明

(1) 行番号120

"F11011010"
"F11011010"

印字フォーマット番号1のとき
印字フォーマット番号11のとき

(2) 行番号200

IF A\$=CHR\$ (6)

: 本機へ送信したデータが正しく受信されたか?
→正しく受信されていれば「枚数=5」をセットして (3) へ
→正しく受信されていなければACK受信待ち

(3) 行番号220

IF A\$=ESC\$+"Q"

: ラベル1枚の発行は完了したか?
→正しく受信されていれば (4) へ
→正しく受信されていなければESC+Q受信待ち

(4) 行番号230

PRINT #1, CHR\$ (6) : 本機へ応答符号 (ACK) を送信
→指定枚数の印字が終わっていれば終了
→残り枚数分を印字するときは (3) へ

無線LANインタフェースについて

インタフェース仕様

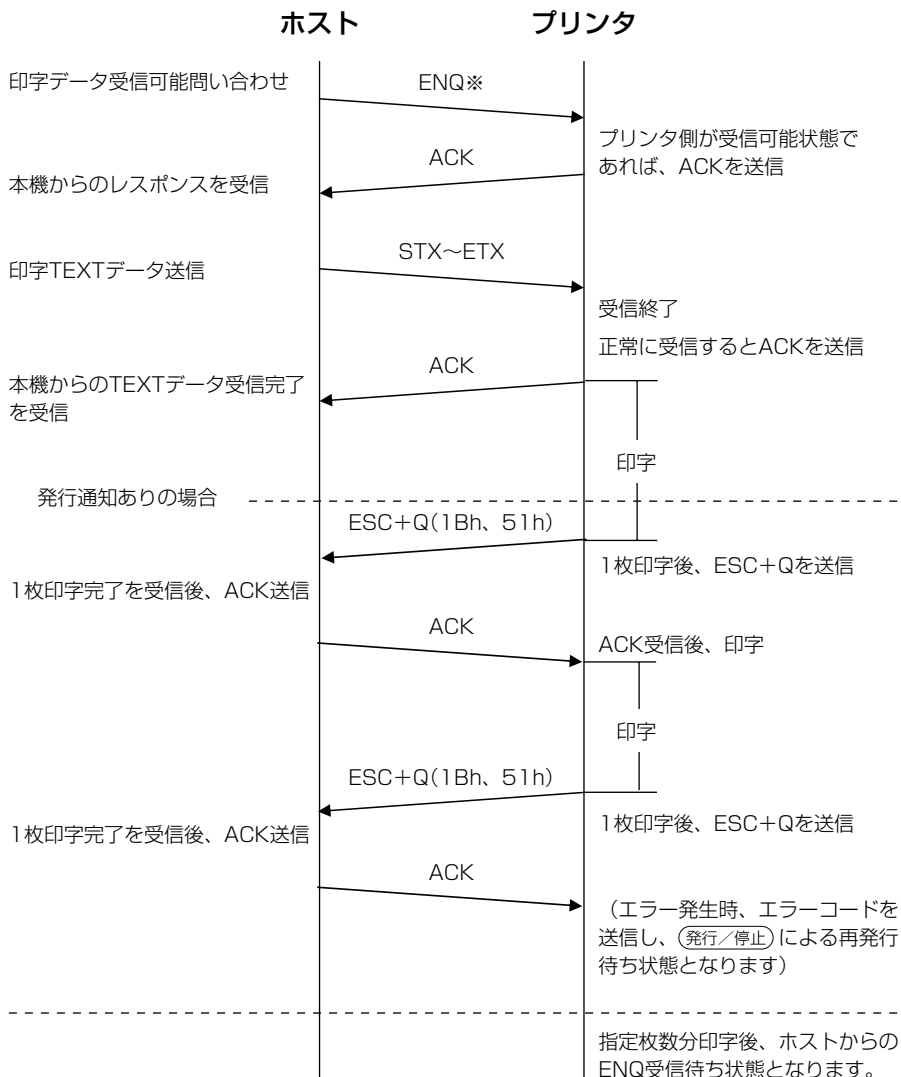
| 項 目 | 内 容 |
|-------------|---|
| 無線LAN規格 | ・ 通信規格 IEEE802.11b/g ・ 周波数帯 2.4GHz ・ 通信速度 最大54Mbps (IEEE802.11b/g) ・ チャンネル 1～14 ・ 接続モード インフラストラクチャ/アドホックモード |
| 無線LANセキュリティ | ・ (E)SSID 文字列によるグループ識別 ・ WEP 40/104ビット（最大4件を登録可） WEPキーインデックス：1～4 ・ WPA-PSK方式 TKIP、AES ・ IEEE802.1x認証 MD5、PEAP、TLS |
| 対応プロトコル | TCP/IP(ARP、IP、ICMP、UDP、TCP) |
| 対応アプリケーション | FTP(FTPサーバ機能)、Socket |
| IPアドレス設定方法 | 手動設定、DHCPによる自動設定 |
| 自動接続機能 | 指定（E）SSIDのアクセスポイントに自動接続 |
| 使用符号 | ASCII文字コード JIS漢字コード |

通信プロトコル

シリアルインタフェースの通信プロトコルと同じになります。

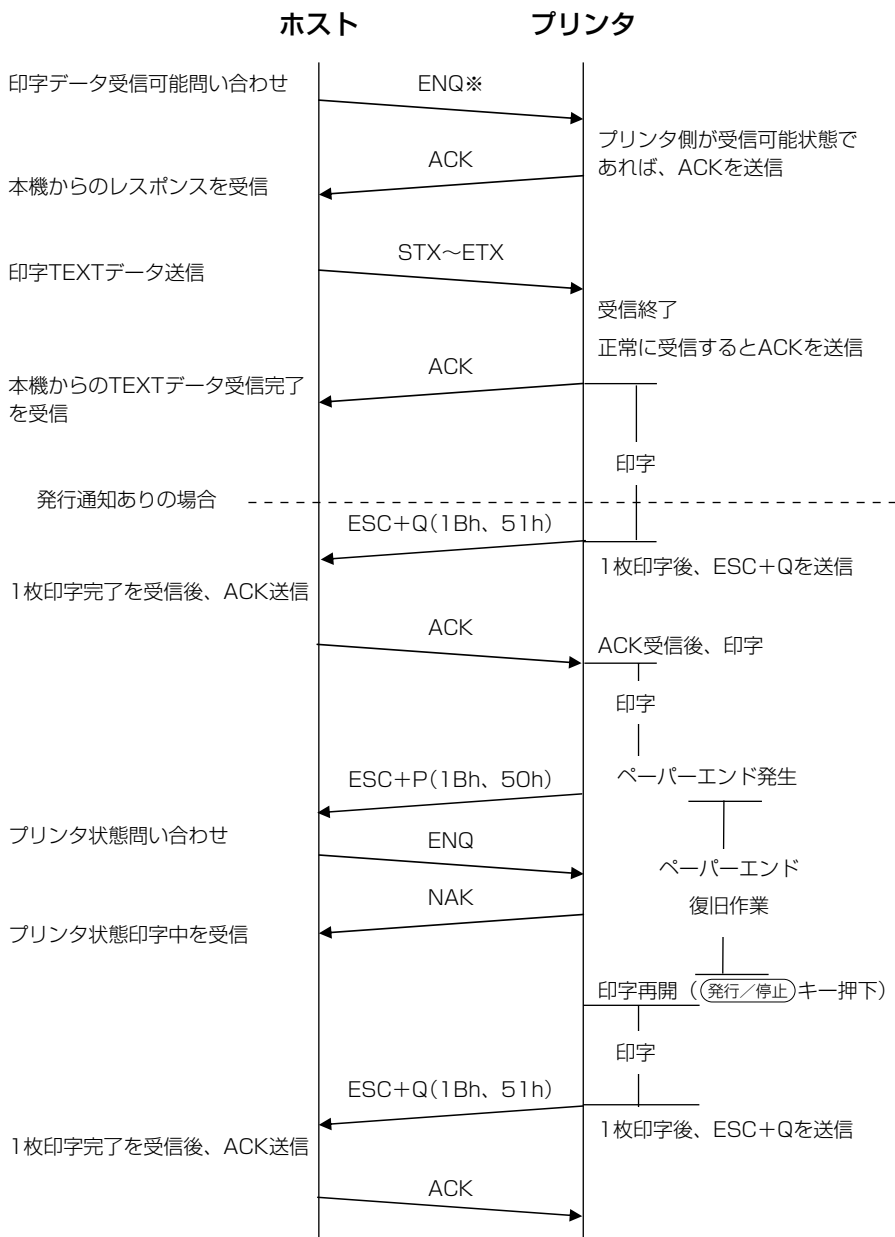
プロトコル手順

①正常動作の場合



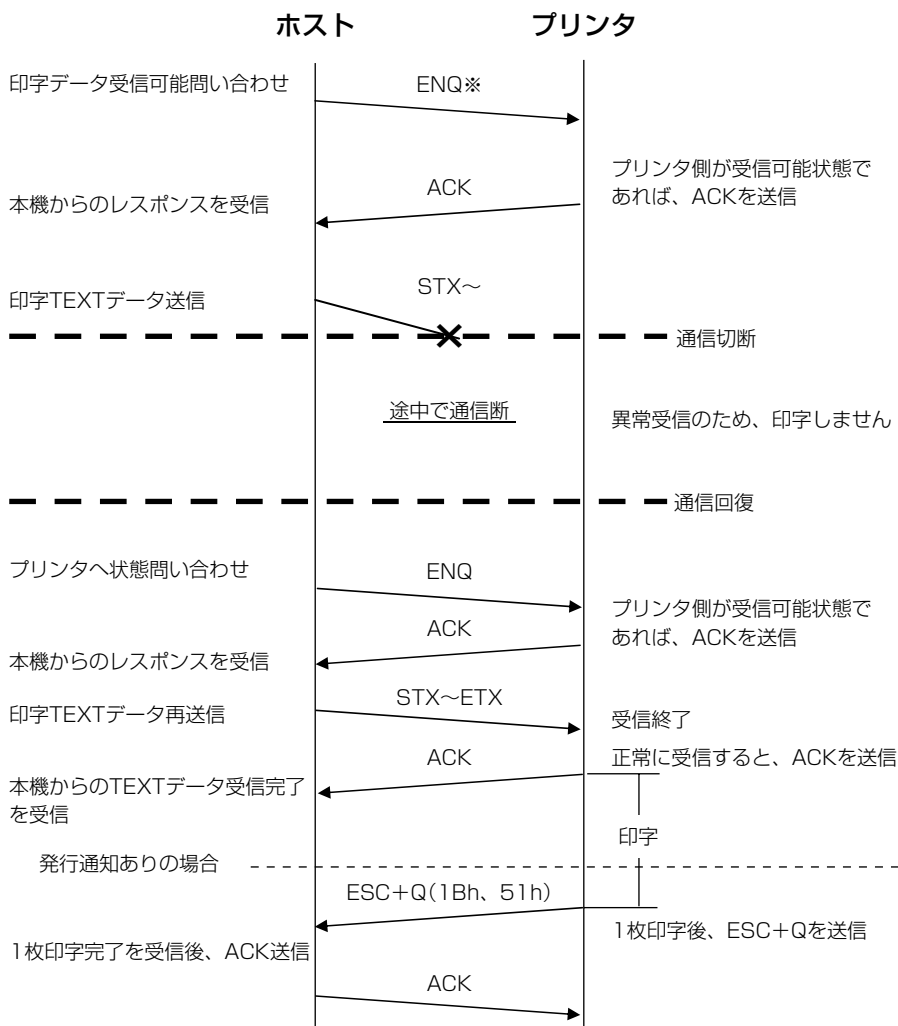
※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

②ペーパーエンド発生の場合



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

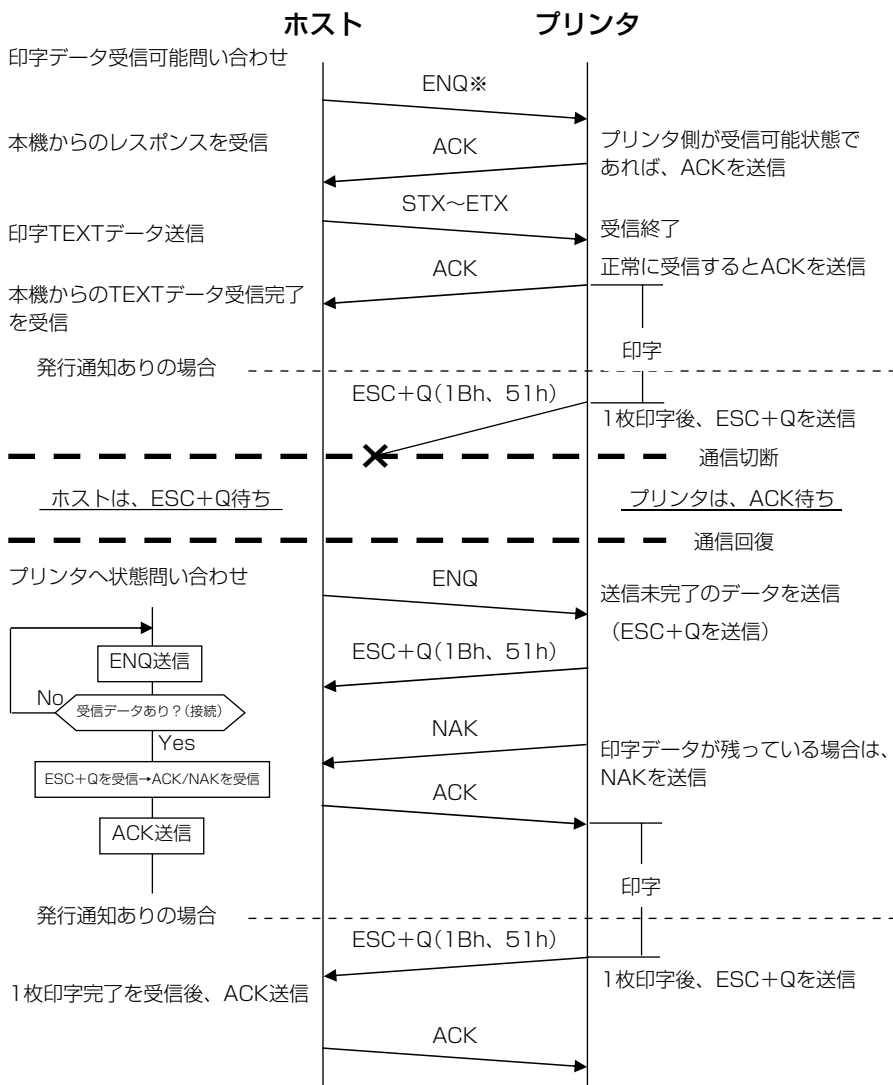
③印字データ受信中に通信の切断が発生した場合



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では、印字データ受信中に通信の切断が発生したため、STX~ETXまでの印字データを正常に受信できず、印字およびACK/NAK返送しません。ホスト側では、印字データ送信後のACK/NAKを受信できなかった場合、ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。ACK/NAKが受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

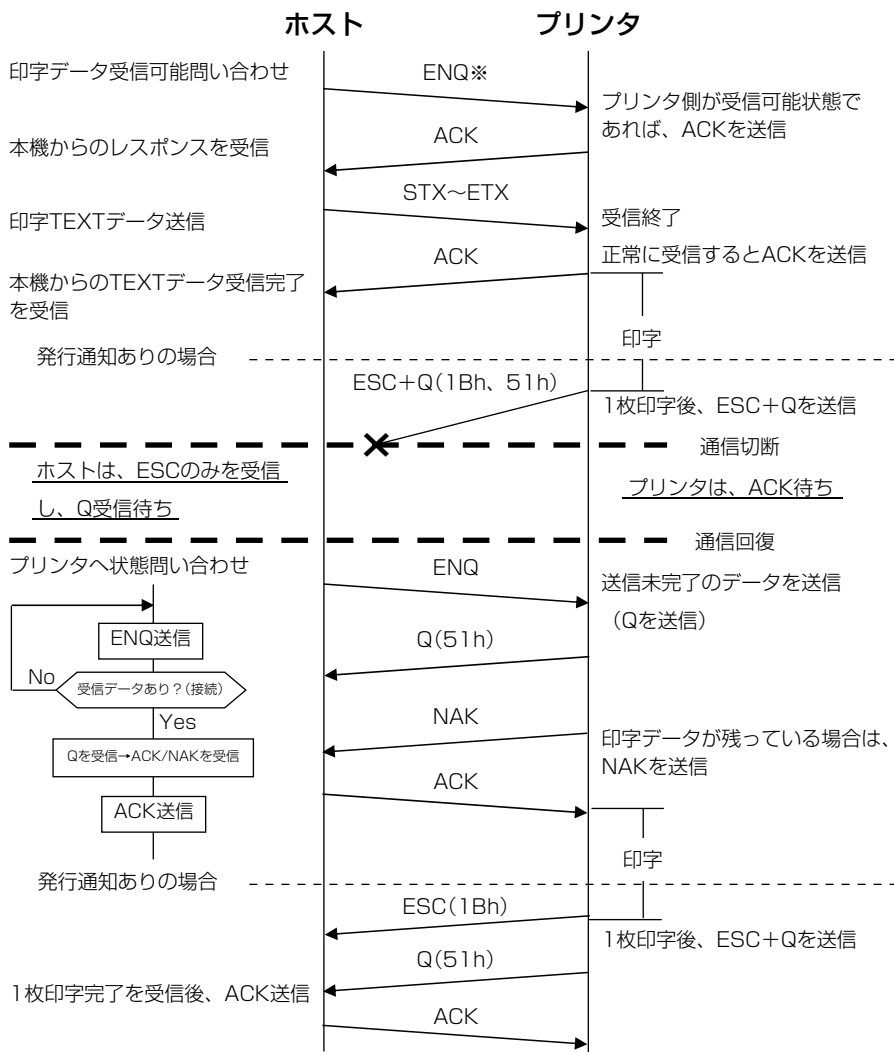
④印字中に通信の切断が発生した場合（ESC+Qが未受信のとき）



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では印字後にESC+Qを送信した状態になっていますが、ホスト側では通信の切断が発生しているため、印字後のESC+Qを受信できません。ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。ESC+Qが受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

⑤印字中に通信の切断が発生した場合（ESC受信、Qが未受信のとき）



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では印字後にESC+Qを送信した状態になっていますが、ホスト側では通信の切断が発生しているため、印字後のESCのみを受信して、Qを受信できないケースがあります。

ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。

Qが受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

Bluetoothインタフェースについて

インタフェース仕様

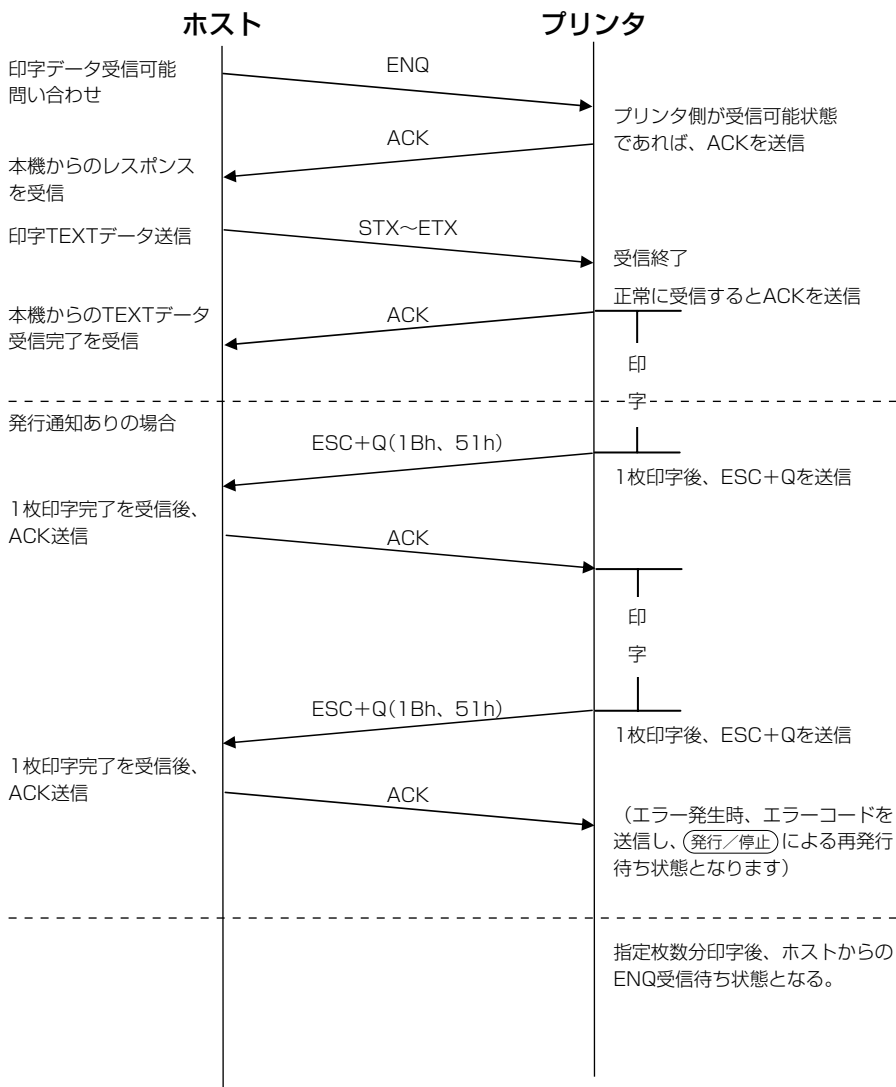
| 項 目 | 内 容 | |
|------------|------------------------------|------------------------|
| 規格 | BluetoothスペックVer.1.1 Class 2 | |
| 使用プロファイル | Serial Port Profile | |
| 動作モード | スリープモード | |
| セキュリティモード | レベル1 | 認証無し |
| | レベル2-1 | PINコード認証、サービスレベル、暗号化なし |
| | レベル2-2 | PINコード認証、サービスレベル、暗号化あり |
| | レベル3 | PINコード認証、リンクレベル |
| PINコード | 16桁のアスキーコード指定 | |
| 通信タイムアウト時間 | 10秒（固定） | |
| 通信リトライ時間 | 1秒（推奨値） | |
| 使用符号 | ASCII文字コード JIS漢字コード | |

通信プロトコル

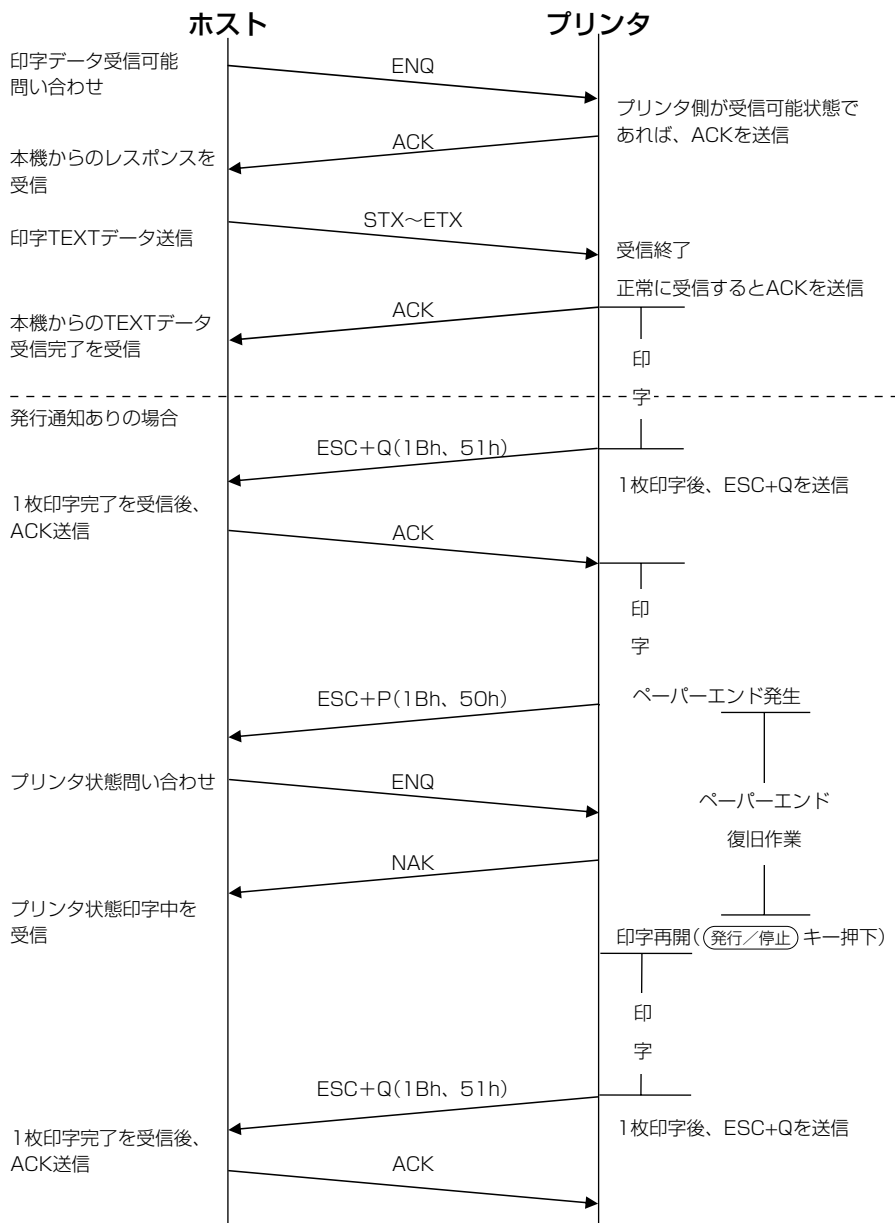
シリアルインタフェースの通信プロトコルと同じになります。

プロトコル手順

①正常動作の場合

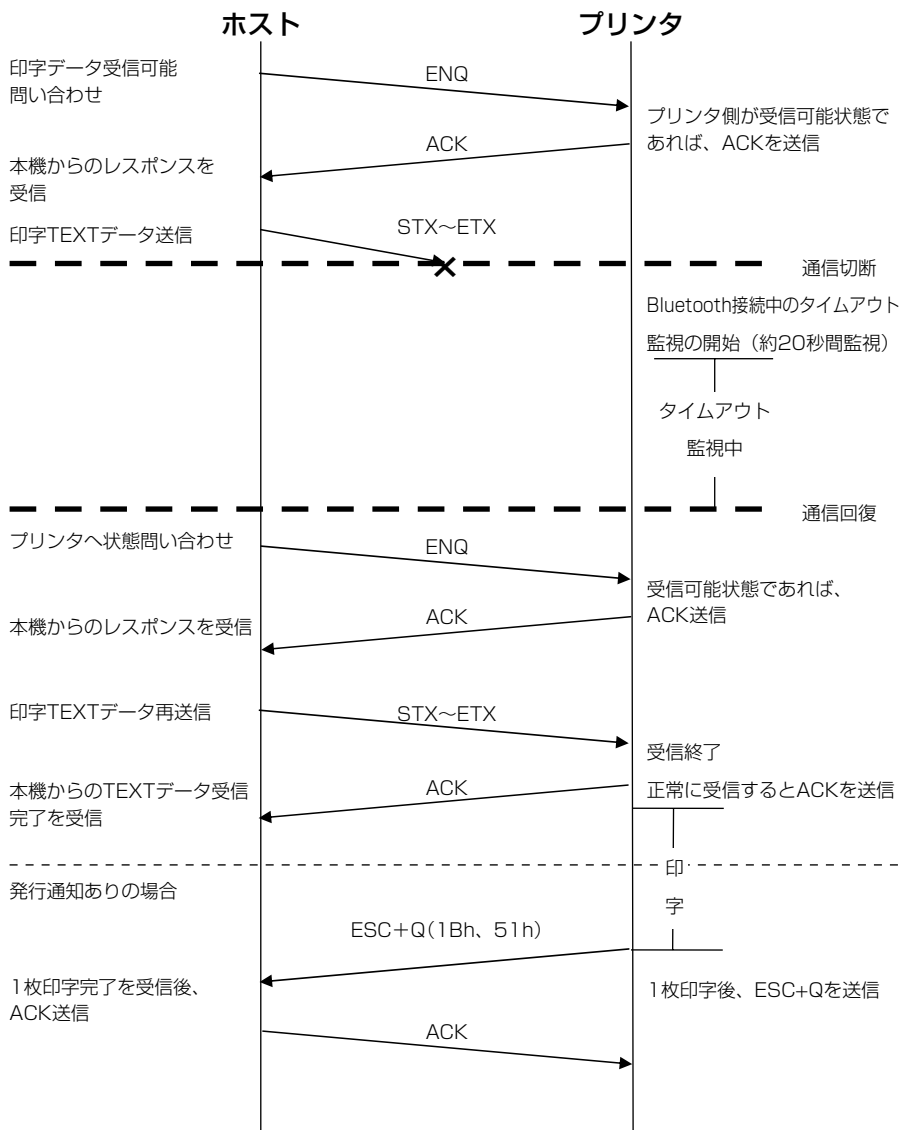


②ペーパーエンド発生の場合



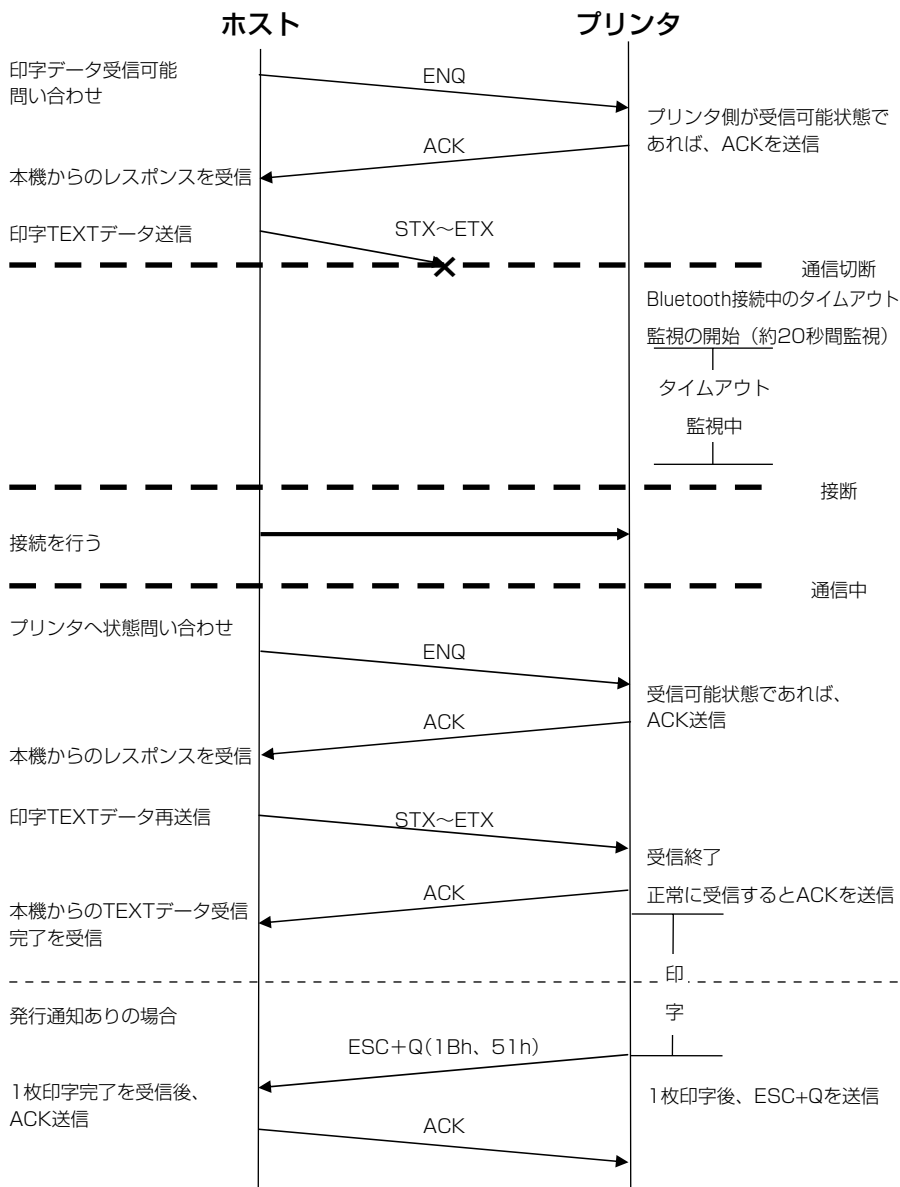
③印字データ受信中に通信の切断が発生した場合

(通信切断後、タイムアウト監視内で通信が復旧したとき)



印字TEXTデータをSTX~ETXまで正常に受信していないため、印字しません。
通信復旧後、ENQ送信にて通信接続を確認し、再度、印字データを送信してください。

④印字データ受信中に通信の切断が発生した場合
(通信切断後、タイムアウト監視外で通信が復旧したとき)




印字TEXTデータをSTX~ETXまで正常に受信していないため、印字しません。
プリンタ側の切断が確立した場合は、ホスト側からプリンタに対して再接続してください。
通信復旧後、ENQ送信にて通信接続を確認し、再度、印字データを送信してください。

第8章 付録

画面にエラー表示がでたら

エラーのときの対処方法について説明します。

エラーメッセージと対処法

| 画面のメッセージ | 原因と対処方法 |
|---------------|---|
| ラベルエンドピッチエラー | 用紙を正しくセットするか、交換してください。 →「第2章 用紙をセットする」 (発行/停止)を押すと、印字が再開されます。 |
| カバーオープン | カバートップをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。 →「第1章 各部の名称」 |
| バッテリーEMPTY | バッテリーが少なくなってきましたので充電してください。 |
| 充電してください | バッテリーがなくなりました。 充電してください。 |
| メモリ電池交換 | 電池を交換する必要がありますので、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。  電池がなくなる前にバックアップ用のカードにコピーしておくことを、おすすめします。 |
| メモリ電池エラー | 販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。 |
| カードがありません | カードスロットにPCカードをセットしてください。 |
| カードをクリアしてください | データメンテナンスモードで、カードをクリアしてください。 →「第5章 PCカードをクリアする」 |
| カード電池交換してください | もう1台のプリンタかパソコンを使って他のカードに一度コピーしてから、電池を交換してください。 |
| カード電池エラー | カード内のデータは保証できませんので、プリセットを登録した場合は、もう一度登録してください。 |
| カード書きこみ禁止 | カードのライトプロテクトを確認してください。 |
| カードクリアが違います | カードの使い方に応じた、クリアを行ってください。 (たとえば、「登録用」でクリアしたカードをバックアップ用として使おうとした場合) |
| ラベルサイズ設定エラー | フォーマット番号によって、使用できるラベルサイズが異なりますので、正しいラベルサイズを設定し直してください。 →「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」 |
| フォーマットが未登録です | フォーマット番号を確認してください。 |
| データが未登録です | 番号を確認してください。 |
| データ登録済み | 番号を確認してください。 |

| 画面のメッセージ | 原因と対処方法 |
|-------------------|---|
| 登録件数オーバー | プリセットデータの最大登録件数を超過しました。 |
| ダンプデータがありません | ダンプ発行するプリセットデータが登録されていません。 |
| データエラー | パラメータ登録において、存在しない文字種を入力した場合などに原因があります。 |
| チェックデジット照合エラー | チェックデジットを入力し直してください。 |
| 送信データがありません | 転送するプリセットデータがありません |
| 通信エラー | プリンタとホストコンピュータの通信モード（通信速度、パリティなど）を確認してください。 |
| ヘッドチェックエラー | ヘッド面の清掃を行い、電源を入れ直して、再度確認してください。それでも、メッセージが表示される場合は、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。 |
| ヘッド交換電源OFF | 一度本体の電源を切って、しばらくしてから発行してください。 |
| マシンエラー | 電源を切ってしばらくしてから、電源を入れ直してください。それでも、表示される場合は、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。 |
| データが違います | プリンタの設定とパソコン（ホスト）からの送信データ内容を確認してください。 |
| カレンダーの日付を変更してください | カレンダー日付を入力し直してください。 |
| WLANモジュールエラー | 販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。 |
| BTモジュールエラー | 販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。 |

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やサービスをお申しつけになるまえに、あらかじめご確認ください。

電源スイッチをいれても何も表示されない

- 電源ユニットは正しく取り付けられていますか？→「第2章 セッティングをはじめの前に」
- バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？→「第2章 セッティングをはじめの前に」

ラベルが印字されない

- 電源を入れ直してください。
- 用紙を正しくセットしてください。→「第2章 用紙をセットする」
- アイマークセンサやプラテンローラの「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「第8章 本機のお手入れをする」
- 画面にメッセージが表示されたときは、表示によって適切な対応を行ってください。→「第8章 画面にエラー表示がでたら」
- カバートップをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。→「第2章 用紙をセットする」
- 電源を切って、用紙を交換してください。

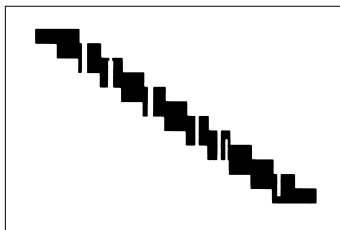
印字状態が悪い

- サーマルヘッドを掃除してください。→「第8章 本機のお手入れをする」
- プラテンローラを掃除してください。→「第8章 本機のお手入れをする」
- 電源を切って、用紙を交換してください。

正しく印字されない、または印字位置がずれる

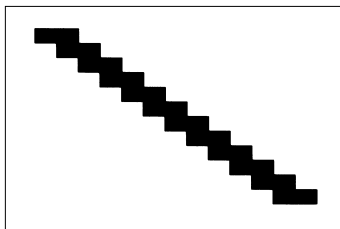
- 初期設定で、データの位置を設定し直してください。→「第3章 ラベルのスタイルを決める」
- 用紙がセットしてある箇所の「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「第8章 本機のお手入れをする」
- アイマークセンサを掃除してください。→「第8章 本機のお手入れをする」
- 用紙を正しくセットしてください。
- 無線LANインタフェース、Bluetoothインタフェースでは、電界強度によって通信できない、または通信が不完全になる場合があります。その場合は、パソコン、ハンディターミナルまたはアクセスポイントとの距離を短くしてご使用してください。

チェックラベルを発行したとき、以下のようなラベルが印字される



●サーマルヘッドを掃除してください。→「第8章 本機のお手入れをする」

サーマルヘッドがきれいなときは、このようなラベルが印字されます。



■チェックラベル

ラベル発行後、サーマルヘッドの状態をみるためのラベルを印字することができます。このラベルをチェックラベルといいます。

チェックラベルで、サーマルヘッドの汚れなどを確認して、必要に応じてサーマルヘッドを掃除してください。

チェックラベルを印字するときは、初期設定で「連続モード」を選択してください。

本機の状態をチェックする

このモードは、当社のサービスマンが、本機の状態をチェックするときに使用するモードです。これらのチェックをするときは、電源を切ってから行います。

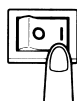
【チェックできる項目】

- テスト印字
- バッテリーの電圧
- バックアップ用電池の残量
- PCカードのバックアップ用電池の残量
- ROMの番号と漢字辞書のバージョン
- 日付チェックの設定（日付チェック機能、日付確認画面表示）

- (↑) (↓) (←) (→) を押して、目的のチェック項目を選びます。
- 各画面で (登録) を押すと、そのとき表示されている操作が始まります。

第8章

本機の状態をチェックする



テスト印字をする

テスト印字をする場合の操作方法は、次ページの「テスト印字をするときは」を参照してください。

バッテリー電圧をチェックする

バックアップ用電池の残量をチェックする

PCカード用電池の残量をチェックする

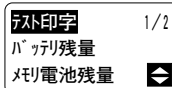
1

電源を切ります。

2

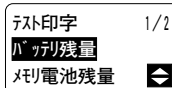
(9) を押しながら電源を入れます。

3



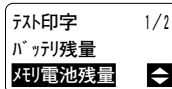
(登録) を押します。

4



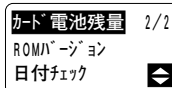
(↓) を1回押して、(登録) を押します。

5



(↓) を2回押して、(登録) を押します。

6



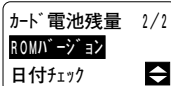
(↓) を3回押して、(登録) を押します。

ROMの番号を表示する

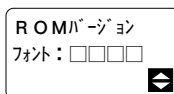
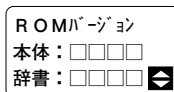
2段目の□□□□には、ROMの番号が表示されます。

3段目の□□□□には、漢字辞書のバージョンが表示されます。

7

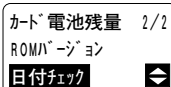


⬇️を4回押して、(登録)を押します。

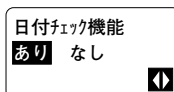


8

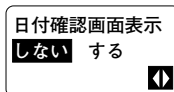
日付チェックを設定する



⬇️を5回押して、(登録)を押します。



⬅️ ➡️を押して日付チェックをするかしないかを選び、(登録)を押します。



⬅️ ➡️を押して日付の確認画面を表示するかしないかを選び、(登録)を押します。


9

日付確認画面の表示を設定する

チェックを終了するときは(前画面)を押します。

テスト印字をするときは

①前ページ手順3のときに、**登録**を押します。

② **用紙種別**  を押して、用紙種別を選び、**登録**を押します。


M32 HT/BarlabeK
M-3201-POP 

- M32 : ヒットカットラベル
- HT/BarlabeKラベル
- M-3201-POP : M-3201POPラベル

③ **用紙サイズ** **数**

縦 [00] mm
横 [00] mm

使用するラベルのサイズを入力します。

 を押して、縦・横のサイズ（mm単位）をそれぞれ入力します。

※M32、M-3201POPラベルを選択したときは、用紙サイズ（縦）を選択してください。



印字例

```

TEST MODE
HEAD/LIFE 24.1/169.6km
VR1 OFFSET -0.37mm
VR2 PITCH -1.00mm
VR3 IM L:0.3V H:3.0V
  
```

テスト印字ラベルが1枚発行されます。

繰り返し発行したいときは、**発行/停止**を押します。



- テスト印字は、縦25mm×横32mm以上のラベルを使用してください。
- 操作を終了するときや、操作を間違えたときは、一度電源を切ってください。

本機のお手入れをする

ラベルをきれいに印字するため、また故障を防ぐために、定期的に清掃を行ってください。

お手入れの時期

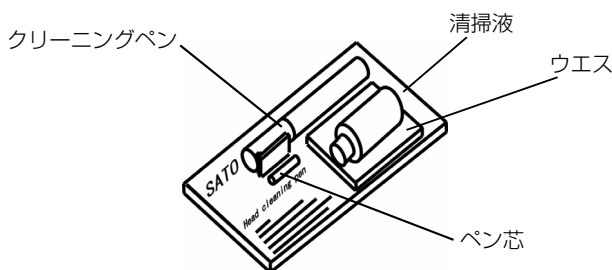
- サーマルヘッド、プラテンローラ（ゴムローラ）
→ 用紙1巻印字したあと
- ラベルガイド、アイマークセンサ
→ 用紙6巻印字したあと
- 印字がかすれたりラベルが汚れてきたときは、そのつどお手入れをしてください。



お手入れをはじめる前のご注意

- お手入れの前に、電源が切れていることを確認してください。
- お手入れには、必ず添付の清掃用具を使用してください。
また、各部の清掃には、クリーニングペンやウエスをご使用ください。
ドライバーなどの堅いものを使用すると、各部を傷つけることがあります。
特に、ヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。

プリンタクリーニングセット



ラッピングシート

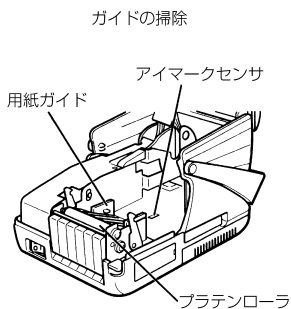
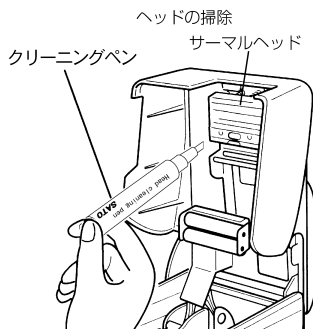
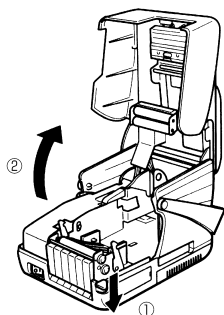


ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

清掃のしかた

第8章

本機のお手入れをする



1

カバー開閉ボタンを押し下げ、イラストのように手でカバートップを上まで開けます。

2

サーマルヘッドを清掃します。

クリーニングペンまたはウエスに清掃液を付けて、サーマルヘッドの汚れを拭き取ってください。

3

用紙ガイドと、周辺を清掃します。

用紙ガイド周辺には、ラベルの紙粉がたまりやすくなっています。

4

プラテンローラを清掃します。

5

アイマークセンサを清掃します。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。保守サービスについて、ご説明します。

サービスの種類一覧表

| | 交換部品 | 技術料 |
|-----------|------------|------------|
| 保証期間内サービス | 保証規定に基づき無償 | 保証規定に基づき無償 |
| 保守契約サービス | 契約料金に含まず | 契約料金に含まず |
| スポットサービス | そのつど有償 | そのつど有償 |

保証規定につきましては、保証書にてご確認ください。

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。
(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<http://www.sato.co.jp>でご確認ください。)

保守サービスの内容一覧表

| | | |
|-------|----------|---|
| 持込み保守 | センドバック保守 | 故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。 |
|-------|----------|---|

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理を行っております。

機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーとが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1カ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、最寄りのサポートセンター・販売店にご連絡頂き、混信回避のための処理等（例えばパーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサポートセンター・販売店へお問い合わせください。

Bluetooth 仕様

| | | |
|-----------------|----------|---------------------------|
| 2.4 FH 1 | 使用周波数帯域 | 2.4GHz |
| | 変調方式 | FH - SS 方式 |
| | 想定干渉距離 | 10m 以下 |
| | 周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能 |

無線 LAN 仕様

| | | |
|--------------------|----------|---------------------------|
| 2.4 DS/OF 4 | 使用周波数帯域 | 2.4GHz |
| | 変調方式 | DS - SS、OFDM 方式 |
| | 想定干渉距離 | 40m 以下 |
| | 周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能 |

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセット・データ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

ラベルとバーコードの種類を確認する

本機には25種類のフォーマットが用意されていますので、それを利用して簡単にラベルを作ることができます。

フォーマットは、ラベルのサイズとバーコードの種類によって選べるようになっていますので、印字する前に、使用するラベルのサイズとバーコードの種類を確認しましょう。

ラベルのサイズは？▶バーコードの桁数は？▶フォーマット番号は？

| | | |
|----------------------|-------------|-----------------------------|
| 16mm | 13桁 (JAN13) | 41 ◇◇○○○○○PPPPPC (NON-PLU) |
| | | 42 ◇◇○○○○○PPPPPPC (NON-PLU) |
| | バーコードなし | 43 バーコードなし |
| 20mm/25mm および35mm | 8桁 (JAN8) | 01 *****C (PLU) |
| | | 02 49 *****C (PLU) |
| | | 03 0 *****C (PLU) |
| | | 04 45 *****C (PLU) |
| | | 21 ◇△△PPPPC (NON-PLU) |
| | | 22 2△△PPPPC (NON-PLU) |
| | 13桁 (JAN13) | 11 *****C (PLU) |
| | | 12 49 *****C (PLU) |
| | | 13 04 *****C (PLU) |
| | | 14 45 *****C (PLU) |
| | | 31 ◇◇○○○○○%PPPPC (NON-PLU) |
| | | 32 ◇◇○○○○○PPPPPC (NON-PLU) |
| | | 33 ◇◇○○○○○PPPPPC (NON-PLU) |
| | | 34 02○○○○○%PPPPC (NON-PLU) |
| | | 35 02○○○○○PPPPPC (NON-PLU) |
| | | 36 02○○○○○PPPPPC (NON-PLU) |
| | | 38 ◇◇○○○○○PPPPPPC (NON-PLU) |
| | | 07 *****C (PLU) |
| | | 08 0 *****C (PLU) |
| | UPC-A | |
| | UPC-E | |
| | | |
| | | |
| 20mm/25mm | バーコードなし | 39 |
| 38mm | 8桁 (JAN8) | 45 *****C (PLU) |
| | | *****C (PLU) |
| | 13桁 (JAN13) | 55 *****C (PLU) |
| | | *****C (PLU) |

*.....フリー入力

◇.....フラグ

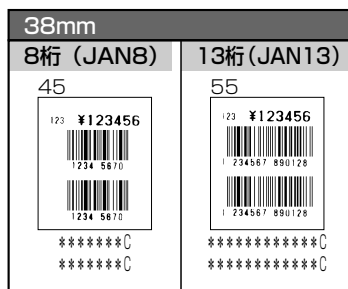
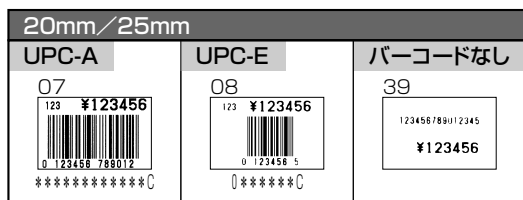
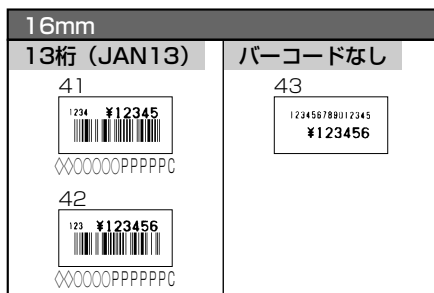
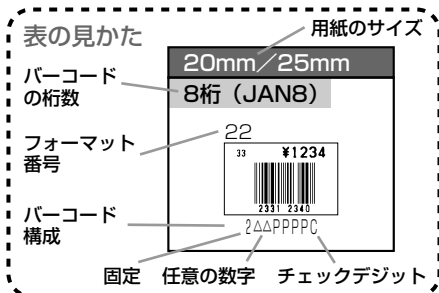
△.....コード

○.....アイテムコード

P.....価格

C.....チェックデジット

%.....プライスチェックデジット

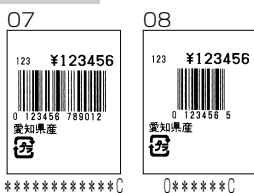


35mm

13桁 (JAN13)



UPC-A/E



PLUとは

ソースマーキングと呼ばれ、メーカーまたは発売元で商品コードをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれていないものです。

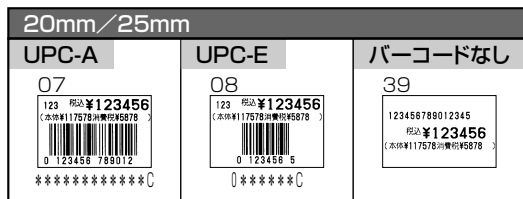
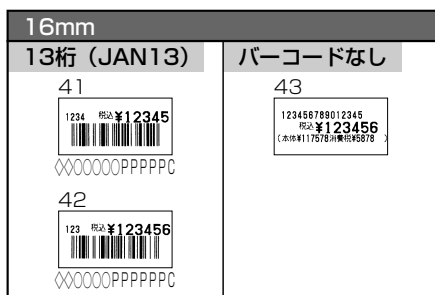
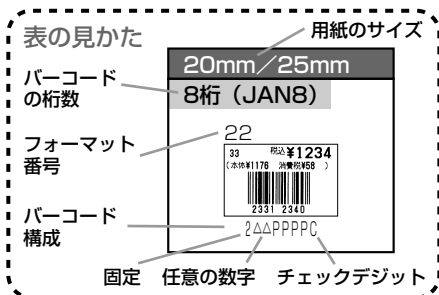
例) 49 △△△△△ ○○○○○ C (本機のフォーマット番号12)
 フラグ メーカーコード アイテムコード チェックデジット

■NON PLUとは

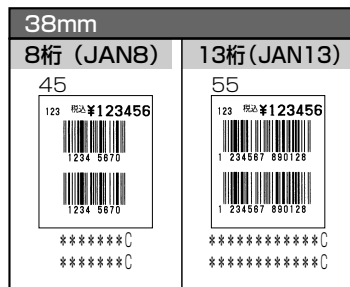
インストアマーキングと呼ばれ、生鮮品や日配品など店舗ごとに、アイテムコードや価格などをバーコード化するもので、価格がバーコードの中に含まれているものです。

例) 02 ○○○○○ PPPP C (本機のフォーマット番号36)
 フラグ アイテムコード 価格 チェックデジット

価格総額表示対応



注意：総額表示テーブル(本体価格・消費税)の印字は25mm、35mmのラベルのみ印字可能です。

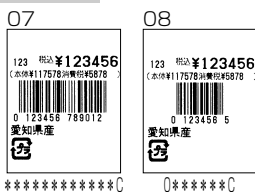


35mm

13桁 (JAN13)



UPC-A/E



対応用紙サイズと印字フォーマット

| フォーマット \ ラベルサイズ | 16mm | 20mm | 25.4mm | 35mm | 38mm |
|-----------------|------|------|--------|------|------|
| No.01 | | △ | ○ | ○ | |
| No.02 | | △ | ○ | ○ | |
| No.03 | | △ | ○ | ○ | |
| No.04 | | △ | ○ | ○ | |
| No.07 | | △ | ○ | ○ | |
| No.08 | | △ | ○ | ○ | |
| No.11 | | △ | ○ | ○ | |
| No.12 | | △ | ○ | ○ | |
| No.13 | | △ | ○ | ○ | |
| No.14 | | △ | ○ | ○ | |
| No.21 | | △ | ○ | ○ | |
| No.22 | | △ | ○ | ○ | |
| No.31 | | △ | ○ | ○ | |
| No.32 | | △ | ○ | ○ | |
| No.33 | | △ | ○ | ○ | |
| No.34 | | △ | ○ | ○ | |
| No.35 | | △ | ○ | ○ | |
| No.36 | | △ | ○ | ○ | |
| No.38 | | △ | ○ | ○ | |
| No.39 | | △ | ○ | | |
| No.41 | △ | | | | |
| No.42 | △ | | △ | | |
| No.43 | | | | | |
| No.45 | | △ | | | |
| No.46 | | | | | |
| スキャナ対応 | — | — | — | — | — |
| No.20 | △ | △ | △ | | |
| No.25 | | | | | △ |

○：固定仕様、総額表示対応しています。
△：固定仕様、総額表示対応していません。
“税込”印字のみ対応します。

基本仕様

第8章

基本仕様

| | |
|----------------------|---|
| 印字方式 | ダイレクトサーマル方式 |
| 印字密度 | 8本/mm |
| 印字有効範囲 | 最大 幅48mm×ピッチ96mm 但し、上下2mm左右1.5mmは印字不可領域 |
| 印字速度 | 60、80mm/S（2段階で切り替え可能） バッテリー使用時は60mm/S 但し、用紙の種類によっては調整が必要 |
| 用紙 | 当社製、純正用紙を必ずお使いください |
| 紙厚 | 0.14mm～0.19mm |
| 形状の種類 | ロール紙 |
| ラベルサイズ | 幅 25～55mm（台紙含み 28～58mm） ピッチ 16～100mm（台紙含み 19～103mm） 但し、使用条件によってサイズを規制する場合があります |
| 収容枚数 ロール紙 | 最大外形 φ75mm |
| ラベル発行 | 連続、剥離 |
| 外部インタフェース | オンライン受信用 RS-232C スキャナ接続用 RS-232C |
| | オプション 無線LAN（通信規格：IEEE802.11b/g） （通信プロトコル：TCP/IP） |
| | Bluetooth（Ver1.1） |
| 寸法 重量 | W132×D230×H151mm バッテリー装着時：約2.4kg 電源ユニット装着時：約2.5kg |
| 環境条件 | 動作周囲温度 5～40℃ 湿度 30～80% 但し、結露無きこと 保存周囲温度 -5～60℃ 湿度 30～90% 但し、結露無きこと 用紙環境は除く |
| 操作パネル スイッチ LCD | <div> 設定 前画面 呼出 シフト 登録 一 AC 0 ～ 9 日付 削除 </div> <div> 機能1 機能2 セット 紙送 発行/停止 ↑ ↓ ← → </div> <p> かな漢字変換機能付き 漢字表示時 8桁×3行 英数・カナ表示時 16桁×3行 バックライト付き </p> |

| | |
|----------------|--|
| 調整用ボリューム | VR1：ハクリ停止位置 VR2：印字位置調整 VR3：アイマークセンサレベル VR5：漢字LCD輝度調整 |
| 収容文字種類 | ×1文字：横20×縦50ドット（英数、記号） ×2文字：横8×縦20ドット（英数、カナ、記号） ×3文字：横13×縦21ドット（英数、カナ、記号） 価格文字：横16×縦24ドット（数字、¥） 漢字 角ゴシック 16×16ドット 22×22ドット 第一、第二水準 |
| バーコード | JAN8、JAN13（EAN）、UPC-A/E |
| ユーザーモード設定 | 1. 印字濃度 2. 印字速度 3. オートパワーオフ設定 4. 起動画面設定 5. 通信速度 6. パリティビット 7. オンライン発行通知 8. 固定フォーマット設定 9. カレンダー設定 10. カレンダー時変更 11. ヘッドチェック 12. キー入力音 13. モード設定 14. 通信種別（RS-232C、無線LAN、Bluetooth） 15. オートLCDバックライトオフ設定 |
| 自己診断機能 | カバーオープン ペーパーエンド ヘッドチェック テスト印字 バッテリーチェック メモリバックアップ電池チェック PCカード電池チェック |
| ノイズ規格 放射ノイズ | VCCI クラスA |
| オプション | バッテリー、バッテリーチャージャ、 SRAMカード、外部巻き取り機、外部供給装置、 タッチスキャナ、RS-232Cケーブル、 RS-232C延長ケーブル、無線LANインタフェース、 Bluetoothインタフェース |

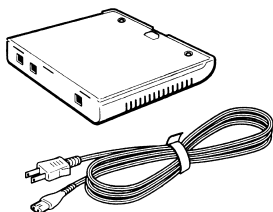
その他の機器の仕様

第8章

その他の機器の仕様

電源ユニット

プリンタの設置場所を固定して
使う場合に使用します。



主な仕様

| | |
|---------|---------------------|
| 入力電圧 | : AC100V±10% |
| 出力電圧・電流 | : DC8.4V 3.2A |
| 外観寸法 | : 130W×117D×28H(mm) |
| 重量 | : 330g |

バッテリーパック

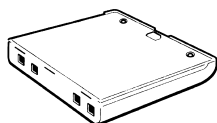
(オプション)

品名・規格: BTH200i

バッテリーユニット

商品コード: WHT205110

プリンタを持ち歩いて使う場合
に使用します。



主な仕様

| | |
|----------|--|
| 電池の種類 | : ニッケル水素 |
| 定格電圧・電流 | : DC8.4V 3400mAh |
| 連続印字可能時間 | : 30～40分 (当社規定による) |
| ラベル発行枚数 | : 縦25mm×横32mmのラベル で約12～13巻 |
| 連続待機時間 | : 11～12時間 (当社規定による) |
| 温度 | : 動作 5～40℃ 保存 30日以内 -20～50℃ 30日～90日 -20～40℃ 90日～1年以内 -20～30℃ |
| 外観寸法 | : 130W×117D×28H(mm) |
| 重量 | : 525g |
| 色 | : ライトグレー |

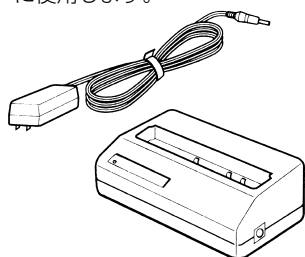
バッテリーチャージャ
(オプション)

品名・規格：BCH200i

バッテリーチャージャ
ユニット

商品コード：WHT205220

バッテリーパックを充電する場合
に使用します。



主な仕様

入力電圧 : AC100±10% (ACアダプタ)

出力電圧・電流 : DC15V 1A (ACアダプタ)

充電時間 : フル充電 約225分

リフレッシュ充電

約16.25時間

(放電時間12.5時間)

放電機能 : 有り (リフレッシュボタン)

充電表示 : 2色LED1個

外観寸法 : 160W×115D×51H(mm)

色 : ライトグレー



注意

本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

リサイクルマークテーブル

リサイクルマークテーブル番号2桁、プラマーク、紙マークともにサイズ6×6mm、リサイクルマーク14種類を標準搭載します。テーブルNo.14～19は欠番となります。

| テーブルNo. | 名 称 | 印字内容 |
|---------|--------------|---|
| 01 | プラ |  |
| 02 | プラ ラップ |  : ラップ |
| 03 | プラ 袋 |  : 袋 |
| 04 | プラ 袋・止め具 |  : 袋・止め具 |
| 05 | プラ ラップ・トレー |  : ラップ・トレー |
| 06 | プラ ラップ・吸水紙 |  : ラップ・吸水紙 |
| 07 | プラ PVC |  : PVC |
| 08 | プラ EVAC・PP |  : EVAC, PP |
| 09 | EVAC・PE |  : EVAC, PE |
| 10 | プラ PP |  : PP |
| 11 | プラ PET |  : PET |
| 12 | プラ ラップ・紙 トレー |  ラップ  トレー |
| 13 | プラ ラップ 紙 吸水 |  ラップ  吸水紙 |
| 20 | 紙 |  |

切り取り線

第8章

リサイクルマークテーブル

原産地テーブル

原産地テーブル番号3桁、漢字22ドット文字、1×1倍、原産地103件を標準搭載します。原産地テーブル番号48～50、157～175は欠番となります。

－：欠番を意味します。

| 番号 | 内 容 | 番号 | 内 容 | 番号 | 内 容 | 番号 | 内 容 | 番号 | 内 容 |
|-----|-------|-----|-------|-----|----------|-----|-----------|-----|--------|
| 001 | 愛知県産 | 026 | 東京都産 | 101 | アメリカ産 | 126 | スウェーデン産 | 151 | ベルギー産 |
| 002 | 青森県産 | 027 | 徳島県産 | 102 | アラブ産 | 127 | スペイン産 | 152 | ポルトガル産 |
| 003 | 秋田県産 | 028 | 栃木県産 | 103 | アルゼンチン産 | 128 | スリランカ産 | 153 | マレーシア産 |
| 004 | 石川県産 | 029 | 鳥取県産 | 104 | イギリス産 | 129 | セネガル産 | 154 | 南アフリカ産 |
| 005 | 茨城県産 | 030 | 富山県産 | 105 | イスラエル産 | 130 | タイ産 | 155 | メキシコ産 |
| 006 | 岩手県産 | 031 | 長崎県産 | 106 | イタリア産 | 131 | 台湾産 | 156 | ロシア産 |
| 007 | 愛媛県産 | 032 | 長野県産 | 107 | イラン産 | 132 | 中国産 | 157 | － |
| 008 | 大分県産 | 033 | 奈良県産 | 108 | インド産 | 133 | チリ産 | 158 | － |
| 009 | 大阪府産 | 034 | 新潟県産 | 109 | インドネシア産 | 134 | デンマーク産 | 159 | － |
| 010 | 岡山県産 | 035 | 兵庫県産 | 110 | エクアドル産 | 135 | ドイツ産 | 160 | － |
| 011 | 沖縄県産 | 036 | 広島県産 | 111 | エジプト産 | 136 | トルコ産 | 161 | － |
| 012 | 香川県産 | 037 | 福井県産 | 112 | オーストラリア産 | 137 | ナイジェリア産 | 162 | － |
| 013 | 鹿児島県産 | 038 | 福岡県産 | 113 | オーストラリア産 | 138 | 日本産 | 163 | － |
| 014 | 神奈川県産 | 039 | 福島県産 | 114 | オランダ産 | 139 | ニュージーランド産 | 164 | － |
| 015 | 岐阜県産 | 040 | 北海道産 | 115 | カナダ産 | 140 | ノルウェー産 | 165 | － |
| 016 | 京都府産 | 041 | 三重県産 | 116 | カリフォルニア産 | 141 | パキスタン産 | 166 | － |
| 017 | 熊本県産 | 042 | 宮城県産 | 117 | 韓国産 | 142 | フィジー産 | 167 | － |
| 018 | 群馬県産 | 043 | 宮崎県産 | 118 | 北朝鮮産 | 143 | フィリピン産 | 168 | － |
| 019 | 高知県産 | 044 | 山形県産 | 119 | グينيا産 | 144 | フィンランド産 | 169 | － |
| 020 | 埼玉県産 | 045 | 山口県産 | 120 | クウェート産 | 145 | ブラジル産 | 170 | － |
| 021 | 佐賀県産 | 046 | 山梨県産 | 121 | コロンビア産 | 146 | フランス産 | 171 | － |
| 022 | 滋賀県産 | 047 | 和歌山県産 | 122 | サウジアラビア産 | 147 | ブルガリア産 | 172 | － |
| 023 | 静岡県産 | 048 | － | 123 | シンガポール産 | 148 | フロリダ産 | 173 | － |
| 024 | 島根県産 | 049 | － | 124 | スイス産 | 149 | ベトナム産 | 174 | － |
| 025 | 千葉県産 | 050 | － | 125 | スウェーデン産 | 150 | ペルー産 | 175 | － |